

# 再 評 価 に 係 る 資 料

## 【道路事業】

令和 2 年 1 1 月 3 0 日

国土交通省中部地方整備局

## 目 次

1. 事業再評価対象事業位置図	1
2. 事業再評価を実施する事業の一覧表（道路事業）	2
3. 費用対効果分析判定表	3
4. 事業再評価対象事業再評価結果原案、B／Cバックデータ	
○一般国道1号 藤枝バイパス	9
○近畿自動車道紀勢線（一体評価）	28
○一般国道42号 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）	38
○一般国道42号 熊野道路	56
○一般国道42号 紀宝熊野道路	74
○一般国道41号 石浦バイパス	92
○一般国道158号 高山清見道路	109

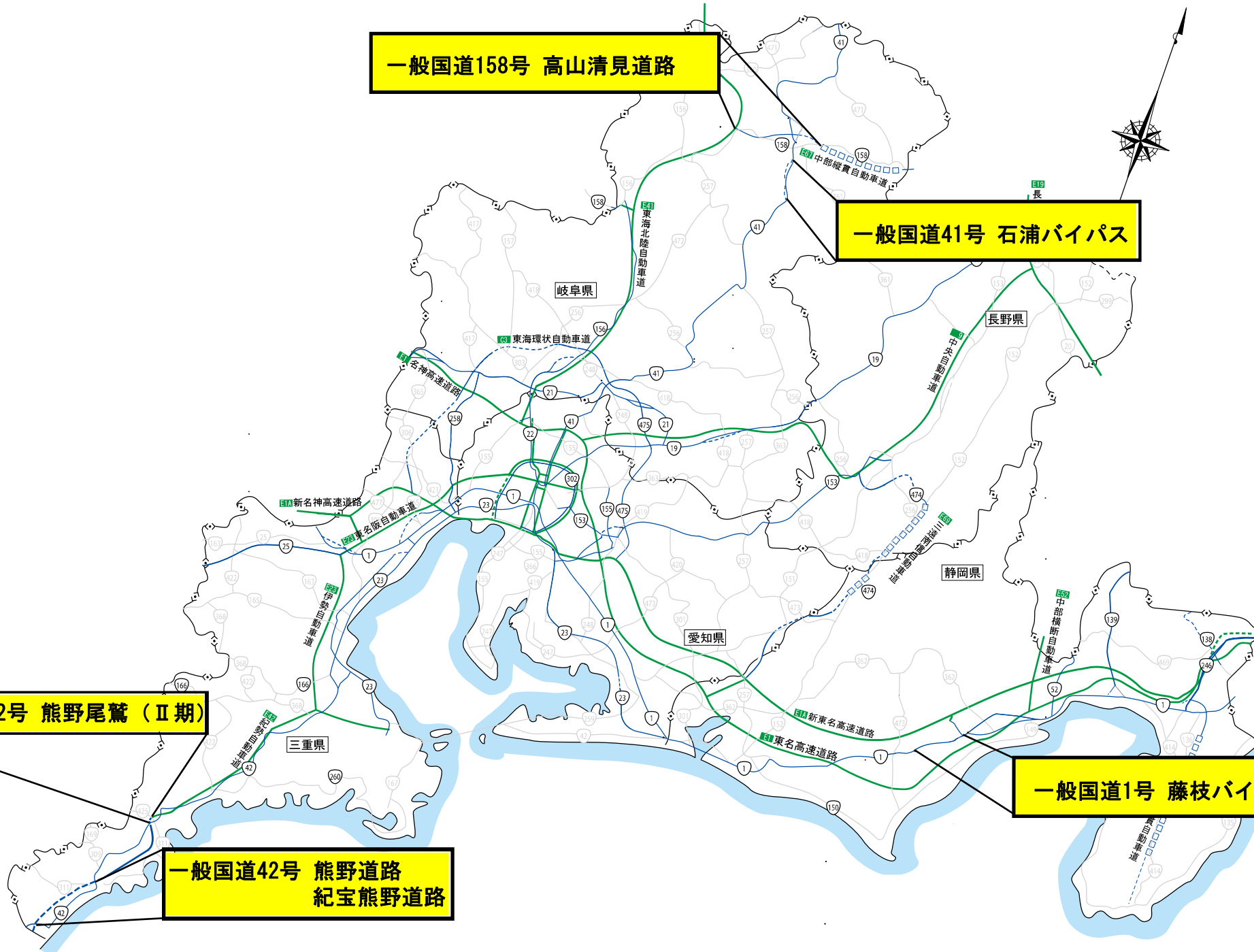
一般国道158号 高山清見道路

一般国道41号 石浦バイパス

一般国道42号 熊野尾鷲 (Ⅱ期)

一般国道42号 熊野道路  
紀宝熊野道路

一般国道1号 藤枝バイパス



事業再評価を実施する事業の一覧表(道路事業)

整理番号	事業種別※1	該当項目※2	都道府県名	路線番号	箇所名	事業の目的	事業延長(km)	事業化年度	都市計画決定又は変更年度	用地着手年度	工事着手年度	供用済み延長(km)	全体事業費(億円)	事業進捗率(%)	事業を巡る社会情勢等の変化	事業の状況及び今後の見通し	B/C	対応方針(原案)	備考
1	二次	⑤	静岡	1	一般国道1号 藤枝バイパス	・一般国道1号藤枝バイパスは、静岡県藤枝市仮宿から島田市野田に至る延長10.7kmのバイパス道路。 国道1号の交通渋滞の改善により、下記の2点を主な目的として事業を推進。 ・企業活動の支援 ・交通安全の確保	10.7	H28	S48	R1	R1	-	358	約6	・藤枝バイパス沿線には多くの工業団地が立地しており、藤枝市の製造品出荷額は増加傾向。高田地区工業用地や宮原北地区工業用地の整備により、さらなる産業活性化が期待。藤枝バイパスの全線4車線化により、さらなる企業活動の活発化に伴う民間投資拡大に寄与。 ・藤枝市には第3次医療施設に位置づけられる藤枝市立総合病院が位置しており、藤枝バイパスの全線4車線化により救急医療圏が拡大し、救急医療活動を支援。	・平成28年度より事業着手しており、早期開通に向けて調査・用地買収・工事を推進していく。	事業全体 (2.8) 残事業 (3.0)	事業継続	
2	高	⑤	三重	42	一般国道42号 熊野尾鷲(Ⅱ期)	・一般国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)は、近畿自動車道紀勢線と一体となり高速道路ネットワークを形成する、尾鷲市坂場西町から尾鷲市南浦に至る5.4kmの道路。 下記の2点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の確保 ・救急医療活動の支援	5.4	H24	H11	H26	H26	-	380	約81	・当事業区間に隣接する熊野尾鷲道路の尾鷲南IC～三木里IC間が平成20年度に開通し、また、三木里IC～熊野大泊IC間が平成25年度に開通したことにより、熊野尾鷲道路が全線開通。 ・当事業区間に隣接する紀勢自動車道の海山IC～尾鷲北IC間が平成23年度に開通し、また、紀伊長島IC～海山IC間が平成25年度に開通したことにより、紀勢自動車道が全線開通。 ・令和元年度には紀勢線全線事業化。	・令和3年夏頃の開通予定に向けて工事を推進していく。	事業全体 (1.01) 残事業 (5.2)	事業継続	
3	高	⑤	三重	42	一般国道23号 熊野道路	・一般国道42号熊野道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となり高速道路ネットワークを形成する、三重県熊野市大泊町から熊野市久生屋町に至る6.7kmの道路。 下記の2点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の確保 ・救急医療活動の支援	6.7	H26	-	H28	H1	-	350	約13	・高速道路ネットワークの整備により、愛知県や関東方面からの観光客が増加。 ・平成28年度は、「熊野トレイルランニングレース」が世界選手権代表選考大会に指定されたことで東海・近畿地域からの参加者が増加傾向。 ・令和元年度には紀勢線が全線事業化。	・平成26年度より事業着手しており、早期開通に向けて用地買収および工事を推進していく。	事業全体 (1.01) 残事業 (1.2)	事業継続	
4	高	⑤	三重	42	一般国道23号 紀宝熊野道路	・一般国道42号紀宝熊野道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となり高速道路ネットワークを形成する、熊野市久生屋町から南牟婁郡紀宝町神内に至る15.6kmの道路。 下記の2点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の確保 ・救急医療活動の支援	15.6	R1	-	R2	-	-	849	約1	・令和元年度に紀勢線が全線事業化。	・令和元年度より事業着手しており、早期開通に向けて道路設計及び用地買収を推進します。	事業全体 (0.97) 残事業 (0.97)	事業継続	
5	二次	②	岐阜	41	一般国道41号 石浦バイパス	・一般国道41号石浦バイパスは、地域高規格道路高山下呂連絡道路の一部を構成し、岐阜県高山市久々野町久々野から同市千島町に至る延長9.2kmの道路。 下記の3点を主な目的として事業を推進。 ・冬期交通の安全性・信頼性の向上 ・交通事故の削減 ・救急医療活動の支援	9.2	H12 H15	H12	H16	H27	-	425	約42	・国道41号現道は、平面・縦断ともに道路線形が厳しいため、積雪時には大型車のスタックの危険性が高い。 ・国道41号現道は、急勾配・急カーブが連続しており、特にヘアピンカーブを中心に事故が多発。 ・一之宮地区から高山市街地への主要幹線道路は、国道41号しか無く、国道361号へ迂回する場合、約8分の遅れが発生する。	・高山市久々野町久々野～同市一之宮町間(延長4.7km)は、令和2年度開通予定である。 ・高山市一之宮町～同市千島町間(延長4.5km)は、令和2年度より工事に着手し、早期開通に向け、用地取得や改良工事、関係機関協議を推進する。	事業全体 (1.3) 残事業 (2.4)	事業継続	
6	高	⑤	岐阜	158	一般国道158号 高山清見道路	・一般国道158号中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点とし、岐阜県高山市の主要都市を経て、福井県福井市に至る延長約160kmの高規格幹線道路で、一般国道158号中部縦貫自動車道高山清見道路は、岐阜県高山市清見町夏殿から同市丹生川町坊方に至る延長24.7kmの道路。 下記の3点を主な目的として事業を推進。 ・高速アクセス性の向上(観光の周遊性向上) ・交通渋滞の緩和 ・救急医療活動の支援	24.7	H4	H3	H6	H8	15.2	2,298	約59	・高山清見道路は、休日交通量が経年的に増加傾向で主に距離の長い交通が利用している。 ・高山市街地の国道158号は主要渋滞箇所が3箇所存在し、観光期には慢性的な渋滞が発生している。 ・高齢化社会の進展により、救急搬送人員が増加している。	・高山IC～丹生川IC(仮称)間(延長9.5km)について、早期暫定2車線供用を目指し、橋梁上下部工や改良工等の工事を推進する。	事業全体 (1.3) 残事業 (2.0)	事業継続	

※1.(事業種別) 高規格:高 地域高規格:地高 一般1次改築:1次 一般2次改築:2次

※2.(再評価該当項目)

①事業採択後3年間を経過した時点で未着工の事業

②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業

③準備・計画段階で3年間を経過している事業

④再評価実施後5年間を経過している事業

⑤社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

※印は国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の改定による期間

# 再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 令和2年度

事業名： 一般国道1号 藤枝バイパス

担当課： 道路計画課

担当課長名： 大西 宵平

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
		増加無し	10%以内増加
事業費の増加	事業費の増加は10%以上 (前回:300億円→今回:358億円 約19%の増額)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業期間の増加	事業期間の延長は10%以上 (前回:10年間→今回:19年間 約90%の延長)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→今回:費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	<input type="checkbox"/>	
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の増加が10%以内 (前回:7,375,377 TE/日→今回:7,694,318 TE/日 約4%増加)	■	
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化なし	■	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (全体事業) 交通量 B/C=3.2 事業費 B/C=3.3 事業期間 B/C=3.3	■	
前回評価で資料の作成を省略していない		■	
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)	-	

以上より、審議区分：**重点** 資料：**作成**<sub>3</sub> 費用対効果分析：**実施** とする。

# 再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 令和2年度 事業名： 一般国道42号 熊野尾鷲道路Ⅱ期  
 担当課： 道路計画課 担当課長名： 大西 宵平

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	平成31年度 紀宝熊野道路・新宮道路 新規事業化	<input type="checkbox"/>
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
事業費の増加	事業費の増加は10%以上(前回340億円→今回380億円 約11.8%増加)	<input type="checkbox"/>
事業期間の増加	事業期間の増加はない	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	—	<input checked="" type="checkbox"/>
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量の減少が10%以内 (前回:103,324TE/日→今回:103,324TE/日 変化なし)	<input checked="" type="checkbox"/>
周辺ネットワークで新規事業化がない	紀宝熊野道路、新宮道路、紀勢自動車道大宮大台IC～紀勢大内山IC4車線化	<input type="checkbox"/>
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。  (事業全体) 交通量 B/C=1.1 事業費 B/C=1.02 事業期間 B/C=1.03 (残事業) 交通量 B/C=3.1 事業費 B/C=2.9 事業期間 B/C=3.1	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で資料の作成を省略していない		<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で費用対効果分析を省略していない		<input checked="" type="checkbox"/>
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	—	—

以上より、審議区分：**重点** 資料：**作成** 費用対効果分析：**実施** とする。

# 再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度: 令和2年度 事業名: 一般国道42号 熊野道路  
 担当課: 道路計画課 担当課長名: 大西 宵平

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	平成31年度 紀宝熊野道路・新宮道路 新規事業化	<input type="checkbox"/>
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
事業費の増加	事業費の増加は10%以上(前回270億円→今回350億円 約29.6%増加)	<input type="checkbox"/>
事業期間の増加	事業期間の増加はない	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	—	<input checked="" type="checkbox"/>
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量の減少が10%以内 (前回:89,473TE/日→今回:89,473TE/日 変化なし)	<input checked="" type="checkbox"/>
周辺ネットワークで新規事業化がない	紀宝熊野道路、新宮道路、紀勢自動車道大宮大台IC～紀勢大内山IC4車線化	<input type="checkbox"/>
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。  (事業全体) 交通量 B/C=1.1 事業費 B/C=1.03 事業期間 B/C=1.1 (残事業) 交通量 B/C=1.1 事業費 B/C=1.1 事業期間 B/C=1.2	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で資料の作成を省略していない		<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で費用対効果分析を省略していない		<input checked="" type="checkbox"/>
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	—	—

以上より、審議区分 : **重点** 資料 : **作成**<sub>5</sub> 費用対効果分析 : **実施** とする。

# 再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 令和2年度 事業名： 一般国道42号 紀宝熊野道路  
 担当課： 道路計画課 担当課長名： 大西 宵平

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
	増加無し 10%以内増加	
事業費の増加	事業費の増加は10%以内(前回850億円→今回849億円 0.1%減少)	■ □
事業期間の増加	事業期間の増加はない	■ □
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	—	■
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量の減少が10%以内 (前回:125,591TE/日→今回:125,591TE/日 変化なし)	■
周辺ネットワークで新規事業化がない	新宮道路、紀勢自動車道大宮大台IC～紀勢大内山IC4車線化	□
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を下回っている。  (残事業) 交通量 — 事業費 — 事業期間 — (残事業) 交通量 — 事業費 — 事業期間 —	□
前回評価で資料の作成を省略していない		—
前回評価で費用対効果分析を省略していない		—
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路を含めた和歌山JCT～勢和多気JCTでの一体評価を実施するものであり、前回からの事業費の増加が10%以上となる事業が存在するため	—

以上より、審議区分：**重点** 資料：**作成** 費用対効果分析：**実施** とする。



# 再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度: 令和2年度                      事業名: 一般国道41号 石浦バイパス

担当課: 道路計画課                      担当課長名: 大西 宵平

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
事業費の増加	事業費の増加なし	■      □
事業期間の増加	事業期間の増加なし	■      □
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→今回:費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	□
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量の減少が10%以内 (前回:333,651TE/日→今回:412,324TE/日 約24%増加)	■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。  (事業全体)                                      (残事業) 交通量 B/C=1.2                                      交通量 B/C=1.3 事業費 B/C=1.2                                      事業費 B/C=1.4 事業期間 B/C=1.0                                      事業期間 B/C=1.1	■
前回評価で資料の作成を省略していない		■
前回評価で費用対効果分析を省略していない		□
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	—	—

以上より、審議区分 : **一括**      資料 : **省略**      費用対効果分析 : **実施**      とする。

# 再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度: 令和2年度 事業名: 一般国道158号 高山清見道路  
 担当課: 道路計画課 担当課長名: 大西 宵平

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
事業費の増加	事業費の増加が10%以内 (前回:2,203億円→今回:2,298億円 95億円増額(約4.3%の増額))	□ ■
事業期間の増加	事業期間の増加なし	■ □
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→今回:費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	□
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量の減少が10%以内 (前回:5,197,000TE/日→今回:5,698,722TE/日 約10%増加)	■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。  (事業全体) 交通量 B/C=1.3 事業費 B/C=1.3 事業期間 B/C=1.1 (残事業) 交通量 B/C=1.1 事業費 B/C=1.1 事業期間 B/C=1.1	■
前回評価で資料の作成を省略していない		■
前回評価で費用対効果分析を省略していない		□
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	—	—

以上より、審議区分 : **一括** 資料 : **省略** 費用対効果分析 : **実施** とする。

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課：

担当課長名：

事業名	一般国道1号 <small>ふじえだ</small> 藤枝バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県藤枝市 <small>ふじえだ かりやど</small> 仮宿 至：静岡県島田市 <small>しまだ の だ</small> 野田	延長	10.7km		
事業概要					
一般国道1号藤枝バイパスは、静岡県藤枝市仮宿から島田市野田に至る延長10.7kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、市街地部の交通安全の確保、企業活動の支援及び救急医療活動の支援を目的に計画された道路である。					
H28年度事業化		S48年度都市計画決定		H31年度用地着手	
H31年度工事着手		H31年度用地着手		H31年度工事着手	
全体事業費	358億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	約6%	供用済延長	0.0km
計画交通量	55,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.8  (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 259/282億円 事業費：236/258億円 維持管理費：23/23億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 783/783億円 走行時間短縮便益：705/705億円 走行経費減少便益：59/59億円 交通事故減少便益：19/19億円	基準年 令和2年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=2.5~3.1 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.7~3.3 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=2.6~3.0 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.8~3.3 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.5~2.9 (事業期間 ±20%) 事業期間：B/C=2.8~3.1 (事業期間 ±20%)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。					
②個性ある地域の形成 ・地域連携プロジェクト「ふじのくに」のフロンティアを拓く取組の『新東名藤枝岡部IC周辺推進区域』を支援する。					
③安全で安心できるくらしの確保 ・第三次救急医療施設(藤枝市立総合病院)へのアクセス向上が期待される。					
④災害への備え ・第一次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路(一般県道島田岡部線(旧国道1号)内谷IC~大津通り交差点)が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。					
⑤地球環境の保全 ・対象道路の整備により自動車からのCO2排出量の削減が見込まれる。					
⑥生活環境の改善・保全 ・並行区間等における自動車からのNO2排出量の削減が見込まれる。 ・並行区間等における自動車からのSPM排出量の削減が見込まれる。					

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・ 国道1号藤枝バイパス整備促進委員会が全線4車線化の早期完成を要望
- ・ 国道1号バイパス（静岡藤枝間）建設促進期成同盟会、高規格道路整備促進静岡藤枝地域議員連盟、国道1号バイパス整備促進委員会が4車線化推進を要望

静岡県知事の意見

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について、異存ありません。

本事業は、藤枝市仮宿から島田市野田に至る区間のバイパスの4車線化事業であり、慢性的な交通渋滞の緩和、交通事故の削減や、企業活動の支援や救急医療圏の拡大などのストック効果が期待されております。さらに、本道路沿線の工業団地と広域防災拠点である富士山静岡空港とのアクセス道路としても重要な事業です。

今後も、効果の早期発現が図られるよう、引き続き必要な予算の確保とコスト削減の徹底に努め、施工ステップに応じた段階的な供用の検討もしながら事業を推進するようお願いいたします。

また、各年度の事業実施に当たっては、引き続き本県と十分な調整をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 藤枝バイパス沿線には多くの工業団地が立地しており、藤枝市の製造品出荷額は増加傾向。高田地区工業用地や宮原北地区工業用地の整備により、さらなる産業活性化が期待。藤枝バイパスの全線4車線化により、さらなる企業活動の活発化に伴う民間投資拡大に寄与。
- ・ 藤枝市には第3次医療施設に位置づけられる藤枝市立総合病院が位置しており、藤枝バイパスの全線4車線化により救急医療圏が拡大し、救急医療活動を支援。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 事業進捗率は約6%。用地取得率は約96%。（令和2年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 平成28年度より事業着手しており、早期開通に向けて調査・用地買収・工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進する。

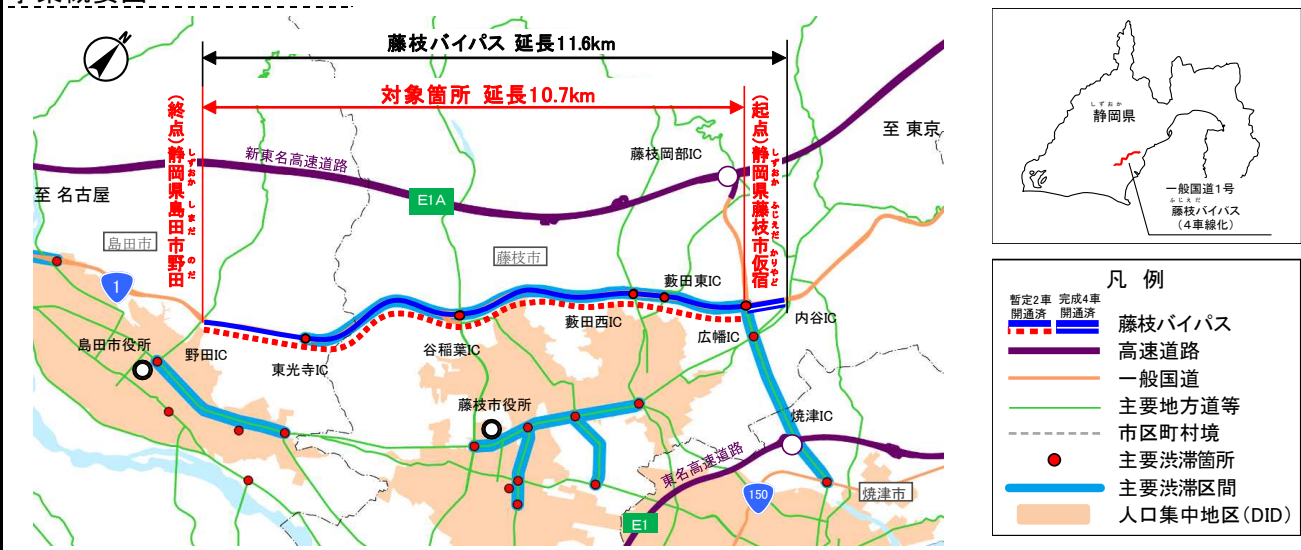
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道1号 藤枝バイパス
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(B/C) = 2.8 (経済的純現在価値(B-C) = 501億円 経済的内部収益率(EIRR) = 9.2%) 残事業:費用便益比(B/C) = 3.0 (経済的純現在価値(B-C) = 524億円 経済的内部収益率(EIRR) = 9.9%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率  <input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される  <input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される  <input type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する  <input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる  <input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況): 428万人・時間/年 渋滞損失削減時間: 133万人・時間/年(428万人・時間/年⇒295万人・時間/年) 区間b(当該区間)について: 一般国道1号 藤枝バイパス区間(広幡IC~野田IC) 当該区間の渋滞損失時間(現況): 133万人・時間/年(藤枝バイパス: 広幡IC~野田IC) 当該区間の渋滞損失削減率: 約4割削減(藤枝バイパス: 広幡IC~野田IC)
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる  <input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上  <input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
	<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	「ふじのくに」のフロンティアを拓く取組の「新東名藤枝岡部IC周辺推進区域」を支援
	<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	

2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 第三次救急医療施設へのアクセス向上が見込まれる	藤枝市立総合病院へのアクセシビリティ向上（島田市役所→藤枝市立総合病院：約25分⇒約16分）	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	静岡県地域防災計画において第一次緊急輸送路に位置づけ
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	一般県道島田岡部線（旧国道1号）内容10～大津通り交差点（第一次緊急輸送路）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			

4. 環境	地球環境の保全	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2 排出削減量：24.9千t/年（5601.1千t/年⇒5576.2千t/年）
	生活環境の改善・保全	■ 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 （推計結果） 評価対象区間（並行区間：島田岡部線・上青島焼津線・島田吉田線・藤枝広幡線） 排出削減量：11.8t/年、排出削減率：約1割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出削減量：31.1t/年
		■ 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 （推計結果） 評価対象区間（並行区間：島田岡部線・上青島焼津線・島田吉田線・藤枝広幡線） 排出削減量：0.8t/年、排出削減率：約1割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出削減量：1.9t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のアジェンダとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	



## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道1号	藤枝バイパス	L=10.7km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
55,300	4	中部地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	326億円	95億円	420億円
うち残事業分	304億円	95億円	398億円
基準年における 現在価値（C）	258億円	23億円	282億円
うち残事業分	236億円	23億円	259億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和17年度			
単年便益 (初年便益)	63億円	5.4億円	1.7億円	70億円
基準年における 現在価値（B）	705億円	59億円	19億円	783億円
うち残事業分	705億円	59億円	19億円	783億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	2.8
経済的純現在価値(B-C)	501億円
経済的内部収益率(EIRR)	9.2%
費用便益比(残事業)	3.0
経済的純現在価値(残事業)	524億円
経済的内部収益率(残事業)	9.9%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	55,300台/日	±10%	2.5 ~ 3.1
事業費	326億円	±10%	2.6 ~ 3.0
事業期間	19年	±20%	2.5 ~ 2.9

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	55,300台/日	±10%	2.7 ~ 3.3
事業費	304億円	±10%	2.8 ~ 3.3
事業期間	14年	±20%	2.8 ~ 3.1

## 交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道1号 藤枝バイパス（事業全体、残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間：10.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	44,300	55,300	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	26	16	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	240.09	184.64	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	(一) 島田岡部線： 13.8km	交通量	[台/日]	11,500	10,600
		走行時間	[分]	58	48
		走行時間費用	[億円/年]	142.22	107.66
	(一) 上青島焼津線： 8.3km	交通量	[台/日]	16,400	16,200
		走行時間	[分]	31	31
		走行時間費用	[億円/年]	95.84	93.86
	(主) 島田吉田線： 6.7km	交通量	[台/日]	14,700	12,700
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	35.38	29.74
	(市) 藤枝駅広幡線： 4.3km	交通量	[台/日]	10,600	9,300
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	44.14	35.34
	新東名（島田金谷～藤枝 岡部）：15.0km	交通量	[台/日]	83,300	81,300
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	180.08	174.93
	東名（焼津～大井川藤枝 スマート）：8.0km	交通量	[台/日]	32,500	31,000
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	40.43	38.43
③その他の道路合計 3198.3km	走行時間費用	[億円/年]	19,613.17	19,662.46	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3265.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	20,391.35	20,327.06	64.29

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

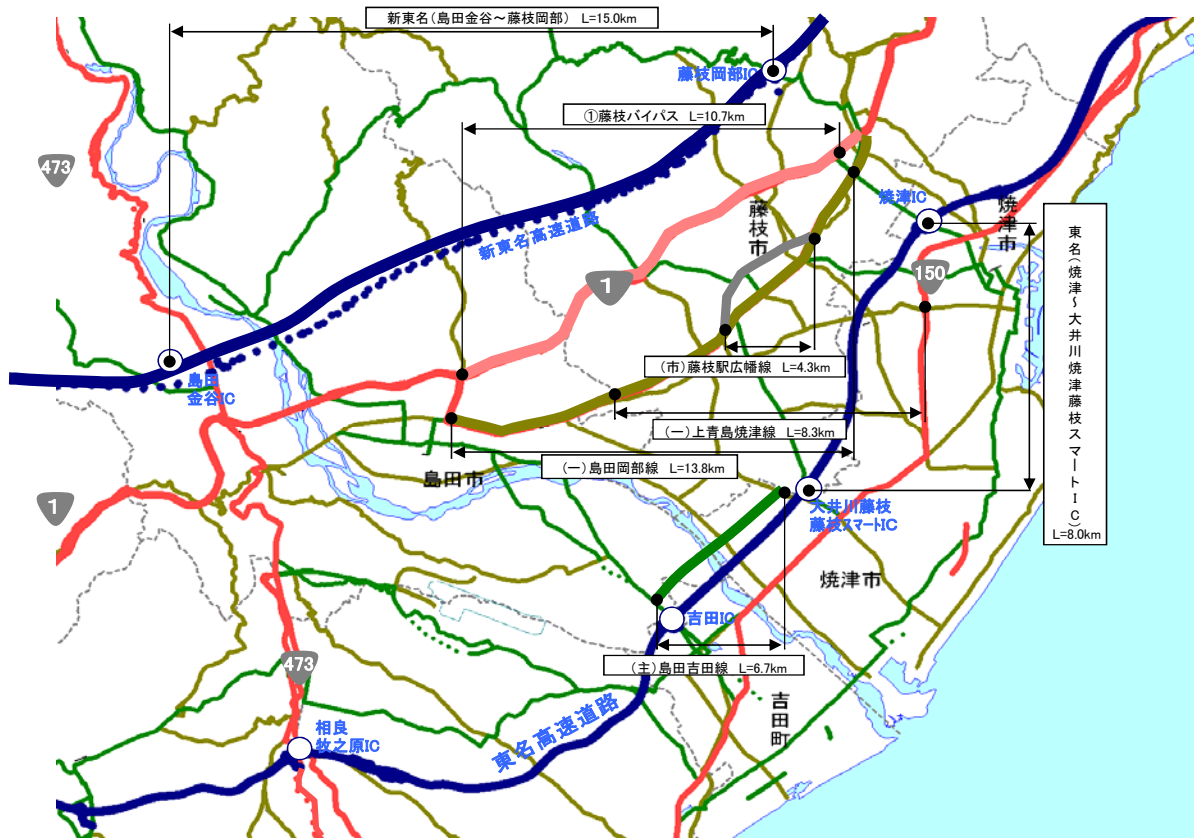
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

【図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道1号 藤枝バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他( )		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他(各回の配分開始時の速度を交通量でウェイト付け )		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

事業名:一般国道1号 藤枝バイパス

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他( )	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				

## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道1号 藤枝バイパス（事業全体）		維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)					
		単価(億円)		延長(km)		単価(億円)	
		0.19		10.7		2.08	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-19年目	H 28	1.1699	102.8	0.46	0.54		
-18年目	H 29	1.1249	102.9	1.39	1.56		
-17年目	H 30	1.0816	102.8	2.50	2.70		
-16年目	R 1	1.0400	102.8	10.73	11.16		
基準年	R 2	1.0000	102.8	6.75	6.75		
-14年目	R 3	0.9615	102.8	14.29	13.74		
-13年目	R 4	0.9246	102.8	25.93	23.97		
-12年目	R 5	0.8890	102.8	46.35	41.20		
-11年目	R 6	0.8548	102.8	27.99	23.93		
-10年目	R 7	0.8219	102.8	26.70	21.95		
-9年目	R 8	0.7903	102.8	36.77	29.06		
-8年目	R 9	0.7599	102.8	14.17	10.77		
-7年目	R 10	0.7307	102.8	3.73	2.72		
-6年目	R 11	0.7026	102.8	12.08	8.49		
-5年目	R 12	0.6756	102.8	10.41	7.03		
-4年目	R 13	0.6496	102.8	17.75	11.53		
-3年目	R 14	0.6246	102.8	35.41	22.12		
-2年目	R 15	0.6006	102.8	23.92	14.36		
-1年目	R 16	0.5775	102.8	8.35	4.82		
供用開始年次	R 17	0.5553	102.8			1.89	1.05
1年目	R 18	0.5339	102.8			1.89	1.01
2年目	R 19	0.5134	102.8			1.89	0.97
3年目	R 20	0.4936	102.8			1.89	0.93
4年目	R 21	0.4746	102.8			1.89	0.90
5年目	R 22	0.4564	102.8			1.89	0.86
6年目	R 23	0.4388	102.8			1.89	0.83
7年目	R 24	0.4220	102.8			1.89	0.80
8年目	R 25	0.4057	102.8			1.89	0.77
9年目	R 26	0.3901	102.8			1.89	0.74
10年目	R 27	0.3751	102.8			1.89	0.71
11年目	R 28	0.3607	102.8			1.89	0.68
12年目	R 29	0.3468	102.8			1.89	0.66
13年目	R 30	0.3335	102.8			1.89	0.63
14年目	R 31	0.3207	102.8			1.89	0.61
15年目	R 32	0.3083	102.8			1.89	0.58
16年目	R 33	0.2965	102.8			1.89	0.56
17年目	R 34	0.2851	102.8			1.89	0.54
18年目	R 35	0.2741	102.8			1.89	0.52
19年目	R 36	0.2636	102.8			1.89	0.50
20年目	R 37	0.2534	102.8			1.89	0.48
21年目	R 38	0.2437	102.8			1.89	0.46
22年目	R 39	0.2343	102.8			1.89	0.44
23年目	R 40	0.2253	102.8			1.89	0.43
24年目	R 41	0.2166	102.8			1.89	0.41
25年目	R 42	0.2083	102.8			1.89	0.39
26年目	R 43	0.2003	102.8			1.89	0.38
27年目	R 44	0.1926	102.8			1.89	0.36
28年目	R 45	0.1852	102.8			1.89	0.35
29年目	R 46	0.1780	102.8			1.89	0.34
30年目	R 47	0.1712	102.8			1.89	0.32
31年目	R 48	0.1646	102.8			1.89	0.31
32年目	R 49	0.1583	102.8			1.89	0.30
33年目	R 50	0.1522	102.8			1.89	0.29
34年目	R 51	0.1463	102.8			1.89	0.28
35年目	R 52	0.1407	102.8			1.89	0.27
36年目	R 53	0.1353	102.8			1.89	0.26
37年目	R 54	0.1301	102.8			1.89	0.25
38年目	R 55	0.1251	102.8			1.89	0.24
39年目	R 56	0.1203	102.8			1.89	0.23
40年目	R 57	0.1157	102.8			1.89	0.22
41年目	R 58	0.1112	102.8			1.89	0.21
42年目	R 59	0.1069	102.8			1.89	0.20
43年目	R 60	0.1028	102.8			1.89	0.19
44年目	R 61	0.0989	102.8			1.89	0.19
45年目	R 62	0.0951	102.8			1.89	0.18
46年目	R 63	0.0914	102.8			1.89	0.17
47年目	R 64	0.0879	102.8			1.89	0.17
48年目	R 65	0.0845	102.8			1.89	0.16
49年目	R 66	0.0813	102.8	-1.46	-0.12	1.89	0.15
合計				324.21	258.28	94.55	23.48
単純事業費計				325.67		94.55	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。



費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道1号 藤枝バイパス（残事業）				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価（億円）		延長（km）	
				0.19		10.7	
				2.08			
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-19年目	H 28	1.1699	102.8				
-18年目	H 29	1.1249	102.9				
-17年目	H 30	1.0816	102.8				
-16年目	R 1	1.0400	102.8				
基準年	R 2	1.0000	102.8				
-14年目	R 3	0.9615	102.8	14.29	13.74		
-13年目	R 4	0.9246	102.8	25.93	23.97		
-12年目	R 5	0.8890	102.8	46.35	41.20		
-11年目	R 6	0.8548	102.8	27.99	23.93		
-10年目	R 7	0.8219	102.8	26.70	21.95		
-9年目	R 8	0.7903	102.8	36.77	29.06		
-8年目	R 9	0.7599	102.8	14.17	10.77		
-7年目	R 10	0.7307	102.8	3.73	2.72		
-6年目	R 11	0.7026	102.8	12.08	8.49		
-5年目	R 12	0.6756	102.8	10.41	7.03		
-4年目	R 13	0.6496	102.8	17.75	11.53		
-3年目	R 14	0.6246	102.8	35.41	22.12		
-2年目	R 15	0.6006	102.8	23.92	14.36		
-1年目	R 16	0.5775	102.8	8.35	4.82		
供用開始年次	R 17	0.5553	102.8			1.89	1.05
1年目	R 18	0.5339	102.8			1.89	1.01
2年目	R 19	0.5134	102.8			1.89	0.97
3年目	R 20	0.4936	102.8			1.89	0.93
4年目	R 21	0.4746	102.8			1.89	0.90
5年目	R 22	0.4564	102.8			1.89	0.86
6年目	R 23	0.4388	102.8			1.89	0.83
7年目	R 24	0.4220	102.8			1.89	0.80
8年目	R 25	0.4057	102.8			1.89	0.77
9年目	R 26	0.3901	102.8			1.89	0.74
10年目	R 27	0.3751	102.8			1.89	0.71
11年目	R 28	0.3607	102.8			1.89	0.68
12年目	R 29	0.3468	102.8			1.89	0.66
13年目	R 30	0.3335	102.8			1.89	0.63
14年目	R 31	0.3207	102.8			1.89	0.61
15年目	R 32	0.3083	102.8			1.89	0.58
16年目	R 33	0.2965	102.8			1.89	0.56
17年目	R 34	0.2851	102.8			1.89	0.54
18年目	R 35	0.2741	102.8			1.89	0.52
19年目	R 36	0.2636	102.8			1.89	0.50
20年目	R 37	0.2534	102.8			1.89	0.48
21年目	R 38	0.2437	102.8			1.89	0.46
22年目	R 39	0.2343	102.8			1.89	0.44
23年目	R 40	0.2253	102.8			1.89	0.43
24年目	R 41	0.2166	102.8			1.89	0.41
25年目	R 42	0.2083	102.8			1.89	0.39
26年目	R 43	0.2003	102.8			1.89	0.38
27年目	R 44	0.1926	102.8			1.89	0.36
28年目	R 45	0.1852	102.8			1.89	0.35
29年目	R 46	0.1780	102.8			1.89	0.34
30年目	R 47	0.1712	102.8			1.89	0.32
31年目	R 48	0.1646	102.8			1.89	0.31
32年目	R 49	0.1583	102.8			1.89	0.30
33年目	R 50	0.1522	102.8			1.89	0.29
34年目	R 51	0.1463	102.8			1.89	0.28
35年目	R 52	0.1407	102.8			1.89	0.27
36年目	R 53	0.1353	102.8			1.89	0.26
37年目	R 54	0.1301	102.8			1.89	0.25
38年目	R 55	0.1251	102.8			1.89	0.24
39年目	R 56	0.1203	102.8			1.89	0.23
40年目	R 57	0.1157	102.8			1.89	0.22
41年目	R 58	0.1112	102.8			1.89	0.21
42年目	R 59	0.1069	102.8			1.89	0.20
43年目	R 60	0.1028	102.8			1.89	0.19
44年目	R 61	0.0989	102.8			1.89	0.19
45年目	R 62	0.0951	102.8			1.89	0.18
46年目	R 62	0.0914	102.8			1.89	0.17
47年目	R 63	0.0879	102.8			1.89	0.17
48年目	R 65	0.0845	102.8			1.89	0.16
49年目	R 66	0.0813	102.8	-1.24	-0.10	1.89	0.15
合計				302.60	235.59	94.55	23.48
単純事業費計				303.84		94.55	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。  
 注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道1号 藤枝バイパス（事業全体、残事業）

年次	年度	総走行台数の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	現在価値		乗用車	小型貨物	普通貨物	現在価値		③	③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
											① 計	①×(A)				② 計	(A)×②				
供用開始年次	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5553	102.8	32.26	5.99	24.31	62.56	34.74	3.89	0.70	0.80	5.39	2.99	1.72	0.96	69.67	38.69
1年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5339	102.8	32.02	5.93	24.27	62.21	33.22	3.86	0.69	0.80	5.35	2.86	1.71	0.91	69.28	36.99
2年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5134	102.8	31.77	5.87	24.23	61.87	31.76	3.83	0.68	0.80	5.32	2.73	1.70	0.87	68.88	35.36
3年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4936	102.8	31.52	5.80	24.19	61.52	30.37	3.80	0.68	0.80	5.28	2.61	1.69	0.83	68.49	33.81
4年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4746	102.8	31.28	5.74	24.15	61.18	29.04	3.77	0.67	0.80	5.24	2.49	1.68	0.80	68.09	32.32
5年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4564	102.8	31.03	5.68	24.12	60.83	27.76	3.74	0.66	0.80	5.20	2.37	1.66	0.76	67.70	30.90
6年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4388	102.8	30.79	5.62	24.08	60.49	26.54	3.71	0.65	0.80	5.16	2.27	1.65	0.72	67.30	29.53
7年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4220	102.8	30.54	5.56	24.04	60.14	25.38	3.68	0.65	0.80	5.13	2.16	1.64	0.69	66.91	28.23
8年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4057	102.8	30.29	5.50	24.00	59.79	24.26	3.65	0.64	0.79	5.09	2.06	1.63	0.66	66.51	26.98
9年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3901	102.8	30.05	5.44	23.96	59.45	23.19	3.62	0.63	0.79	5.05	1.97	1.62	0.63	66.11	25.79
10年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3751	102.8	29.80	5.38	23.92	59.10	22.17	3.59	0.63	0.79	5.01	1.88	1.60	0.60	65.72	24.65
11年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3607	102.8	29.55	5.32	23.89	58.76	21.19	3.56	0.62	0.79	4.97	1.79	1.59	0.57	65.32	23.56
12年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3468	102.8	29.31	5.26	23.85	58.41	20.26	3.53	0.61	0.79	4.94	1.71	1.58	0.55	64.93	22.52
13年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3335	102.8	29.06	5.20	23.81	58.07	19.36	3.50	0.60	0.79	4.90	1.63	1.57	0.52	64.53	21.52
14年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3207	102.8	28.81	5.14	23.77	57.72	18.51	3.47	0.60	0.79	4.86	1.56	1.56	0.50	64.14	20.57
15年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.3083	102.8	28.57	5.08	23.73	57.38	17.69	3.44	0.59	0.79	4.82	1.49	1.54	0.48	63.74	19.65
16年目	R 33	0.99132	0.98796	0.99838	0.99221	0.2965	102.8	28.32	5.02	23.69	57.03	16.91	3.41	0.58	0.78	4.78	1.42	1.53	0.45	63.35	18.78
17年目	R 34	0.99126	0.98785	0.99838	0.99216	0.2851	102.8	28.08	4.96	23.66	56.69	16.16	3.39	0.58	0.78	4.75	1.35	1.52	0.43	62.95	17.94
18年目	R 35	0.99120	0.98773	0.99837	0.99211	0.2741	102.8	27.83	4.90	23.62	56.34	15.44	3.36	0.57	0.78	4.71	1.29	1.51	0.41	62.56	17.15
19年目	R 36	0.99114	0.98762	0.99837	0.99207	0.2636	102.8	27.59	4.84	23.58	56.00	14.76	3.33	0.56	0.78	4.67	1.23	1.50	0.39	62.16	16.38
20年目	R 37	0.99108	0.98751	0.99837	0.99202	0.2534	102.8	27.34	4.78	23.54	55.66	14.10	3.30	0.56	0.78	4.63	1.17	1.48	0.38	61.77	15.65
21年目	R 38	0.99102	0.98739	0.99837	0.99197	0.2437	102.8	27.10	4.72	23.50	55.31	13.48	3.27	0.55	0.78	4.59	1.12	1.47	0.36	61.38	14.96
22年目	R 39	0.99096	0.98728	0.99837	0.99192	0.2343	102.8	26.85	4.66	23.46	54.97	12.88	3.24	0.54	0.78	4.56	1.07	1.46	0.34	60.99	14.29
23年目	R 40	0.99090	0.98717	0.99836	0.99187	0.2253	102.8	26.61	4.60	23.43	54.63	12.31	3.21	0.53	0.78	4.52	1.02	1.45	0.33	60.60	13.65
24年目	R 41	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2166	102.8	26.37	4.54	23.39	54.29	11.76	3.18	0.53	0.77	4.48	0.97	1.44	0.31	60.21	13.04
25年目	R 42	0.99077	0.98694	0.99836	0.99177	0.2083	102.8	26.13	4.48	23.35	53.95	11.24	3.15	0.52	0.77	4.44	0.93	1.43	0.30	59.82	12.46
26年目	R 43	0.99071	0.98683	0.99836	0.99172	0.2003	102.8	25.89	4.42	23.31	53.62	10.74	3.12	0.51	0.77	4.41	0.88	1.41	0.28	59.44	11.90
27年目	R 44	0.99065	0.98671	0.99835	0.99167	0.1926	102.8	25.65	4.36	23.27	53.28	10.26	3.09	0.51	0.77	4.37	0.84	1.40	0.27	59.05	11.37
28年目	R 45	0.99059	0.98660	0.99835	0.99162	0.1852	102.8	25.41	4.30	23.23	52.94	9.80	3.06	0.50	0.77	4.33	0.80	1.39	0.26	58.67	10.86
29年目	R 46	0.99053	0.98649	0.99835	0.99157	0.1780	102.8	25.17	4.25	23.20	52.61	9.37	3.03	0.49	0.77	4.30	0.77	1.38	0.25	58.28	10.38
30年目	R 47	0.99047	0.98637	0.99835	0.99152	0.1712	102.8	24.93	4.19	23.16	52.27	8.95	3.01	0.49	0.77	4.26	0.73	1.37	0.23	57.90	9.91
31年目	R 48	0.99041	0.98626	0.99834	0.99147	0.1646	102.8	24.69	4.13	23.12	51.94	8.55	2.98	0.48	0.77	4.22	0.70	1.36	0.22	57.52	9.47
32年目	R 49	0.99035	0.98615	0.99834	0.99142	0.1583	102.8	24.45	4.08	23.08	51.61	8.17	2.95	0.47	0.76	4.19	0.66	1.34	0.21	57.14	9.04
33年目	R 50	0.99028	0.98603	0.99834	0.99137	0.1522	102.8	24.22	4.02	23.04	51.28	7.80	2.92	0.47	0.76	4.15	0.63	1.33	0.20	56.76	8.64
34年目	R 51	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1463	102.8	23.98	3.96	23.00	50.95	7.46	2.89	0.46	0.76	4.11	0.60	1.32	0.19	56.38	8.25
35年目	R 52	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1407	102.8	23.75	3.91	22.97	50.62	7.12	2.86	0.45	0.76	4.08	0.57	1.31	0.18	56.01	7.88
36年目	R 53	0.99010	0.98569	0.99833	0.99122	0.1353	102.8	23.51	3.85	22.93	50.29	6.80	2.84	0.45	0.76	4.04	0.55	1.30	0.18	55.63	7.53
37年目	R 54	0.99004	0.98558	0.99833	0.99117	0.1301	102.8	23.28	3.80	22.89	49.97	6.50	2.81	0.44	0.76	4.01	0.52	1.29	0.17	55.26	7.19
38年目	R 55	0.98998	0.98546	0.99833	0.99112	0.1251	102.8	23.05	3.74	22.85	49.64	6.21	2.78	0.44	0.76	3.97	0.50	1.27	0.16	54.89	6.87
39年目	R 56	0.98992	0.98535	0.99833	0.99107	0.1203	102.8	22.82	3.69	22.81	49.32	5.93	2.75	0.43	0.76	3.94	0.47	1.26	0.15	54.52	6.56
40年目	R 57	0.98986	0.98524	0.99832	0.99102	0.1157	102.8	22.59	3.63	22.77	49.00	5.67	2.72	0.42	0.75	3.90	0.45	1.25	0.14	54.15	6.26
41年目	R 58	0.98980	0.98512	0.99832	0.99097	0.1112	102.8	22.36	3.58	22.74	48.68	5.41	2.70	0.42	0.75	3.87	0.43	1.24	0.14	53.78	5.98
42年目	R 59	0.98973	0.98501	0.99832	0.99092	0.1069	102.8	22.13	3.53	22.70	48.36	5.17	2.67	0.41	0.75	3.83	0.41	1.23	0.13	53.42	5.71
43年目	R 60	0.98967	0.98490	0.99832	0.99087	0.1028	102.8	21.90	3.47	22.66	48.04	4.94	2.64	0.40	0.75	3.80	0.39	1.22	0.13	53.05	5.45
44年目	R 61	0.98961	0.98478	0.99831	0.99082	0.0989	102.8	21.68	3.42	22.62	47.72	4.72	2.61	0.40	0.75	3.76	0.37	1.21	0.12	52.69	5.21
45年目	R 62	0.98955	0.98467	0.99831	0.99077	0.0951	102.8	21.45	3.37	22.58	47.41	4.51	2.59	0.39	0.75	3.73	0.35	1.20	0.11	52.33	4.97
46年目	R 63	0.98949	0.98456	0.99831	0.99072	0.0914	102.8	21.23	3.32	22.55	47.09	4.30	2.56	0.39	0.75	3.69	0.34	1.19	0.11	51.97	4.75
47年目	R 64	0.98943	0.98444	0.99831	0.99067	0.0879	102.8	21.01	3.27	22.51	46.78	4.11	2.53	0.38	0.75	3.66	0.32	1.17	0.10	5	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	藤枝バイパス	4	10.7km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					31,252		
	改良費					2,713	
		土工		m <sup>3</sup>	150,317	358	
		法面工		m <sup>2</sup>	29,040	1,309	
		擁壁工		式	1	635	
		函渠工		m	13	6	
		排水工		m	7,154	335	
		連絡等施設工		m	3,925	10	
		中央分離帯工		m	11,392	59	
	橋梁費					7,068	
		100m以上		m	1,431	5,150	
		100m未満		m	214	1,918	
	トンネル費					16,491	
		NATM		m	3,432	16,491	
	IC費					3,929	
		IC		箇所		3,929	
	舗装費					400	
車道舗装			m <sup>2</sup>	55,757	400		
付帯施設費					651		
	交通管理施設工		式	1	651		
②用地及補償費					206		
用地費			m <sup>2</sup>	23,667	146		
	宅地		m <sup>2</sup>	428	10		
	田畑		m <sup>2</sup>	8,089	125		
	山林・原野		m <sup>2</sup>	15,150	11		
	その他		m <sup>2</sup>				
補償費			式		60		
③間接経費			式	1	4,342	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					35,800		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	藤枝バイパス	4	10.7km

## ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				30,200	
	改良費				2,623	
		土工	m <sup>3</sup>	150,317	268	
		法面工	m <sup>2</sup>	29,040	1,309	
		擁壁工	式	1	635	
		函渠工	m	13	6	
		排水工	m	7,154	335	
		連絡等施設工	m	3,925	10	
		中央分離帯工	m	11,392	59	
	橋梁費				6,106	
		100m以上	m	1,431	4,188	
		100m未満	m	214	1,918	
	トンネル費				16,491	
		NATM	m	3,432	16,491	
	IC費				3,929	
		IC	箇所		3,929	
	舗装費				400	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	55,757	400	
	付帯施設費				651	
		交通管理施設工	式	1	651	
②	用地及補償費				182	
	用地費		m <sup>2</sup>	23,667	124	
		宅地	m <sup>2</sup>	428	10	
		田畑	m <sup>2</sup>	8,089	103	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	15,150	11	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式		58	
③	間接経費		式	1	3,028	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				33,410	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	藤枝バイパス	4	10.7km

■維持管理費内訳(事業全体、残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	10.7	2,800	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,600	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			10,400	

【単価等について】

- 維持管理費は実績経費に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他の別
近畿自動車道 紀勢線	和歌山JCT ～勢和多気JCT	L = 278km	高規格道路	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
13,900	2、4	中部地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	4,670億円	1,089億円	5,759億円
うち残事業分	3,097億円	1,089億円	4,186億円
基準年における 現在価値 (C)	4,263億円	364億円	4,627億円
うち残事業分	2,579億円	364億円	2,943億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和4年度、令和6年度、令和7年度 令和10年度、令和11年度、令和17年度			
単年便益 (初年便益)	85億円	3.6億円	0.93億円	89億円
基準年における 現在価値 (B)	4,666億円	400億円	123億円	5,189億円
うち残事業分	4,666億円	400億円	123億円	5,189億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	563億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.7%
費用便益比（残事業）	1.8
経済的純現在価値（残事業）	2,246億円
経済的内部収益率（残事業）	9.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	13,900台/日	±10%	0.9~1.4
事業費	4,670億円	±10%	1.1~1.2
事業期間	23年	±20%	1.03~1.3

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	13,900台/日	±10%	1.4~2.2
事業費	3,097億円	±10%	1.6~1.9
事業期間	14年	±20%	1.6~2.0

## 交通状況の変化

様式-3①

事業名：近畿自動車道紀勢線和歌山JCT～勢和多気JCT（事業全体、残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 改築区間：119.1km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	17,800	13,900
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	60	94
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	208.05	236.48
②主な周辺道路 <sup>※4</sup> 一般国道42号 :143.5km	交通量	[台/日]	10,400	5,500
	走行時間	[分]	270	233
	走行時間費用	[億円/年]	504.90	251.03
③その他道路合計 28,739.9km	走行時間費用	[億円/年]	104,473.24	104,415.19

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：29,002.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	105,186.19	104,902.70	283.49

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。



(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 費用便益分析の条件

事業名：近畿自動車道紀勢線 和歌山JCT～勢和多気JCT

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他( BPR関数と転換率式の併用による配分 )	<input checked="" type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	( ) %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	( 2 ) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
過去10年間の当該区間での通行止め実績20日間から年間の通行止め日数を算定				
とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>			
とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載				
通行止め区間以外で代替となる道路が存在するため、とり止め交通を考慮しない				
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	( ) 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他( )	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 既存の路線の実績を参考に設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が 行われない場合 の費用	考慮する	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する 場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:近畿自動車道紀勢線 和歌山JCT~勢和多気JCT(事業全体)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.20	119.1	23.96	
-23年目	H 24	1.3686	99.0	0.95	1.35		
-22年目	H 25	1.3159	99.0	7.42	10.14		
-21年目	H 26	1.2653	101.5	43.56	55.82		
-20年目	H 27	1.2167	103.0	73.25	88.95		
-19年目	H 28	1.1699	102.8	88.53	103.58		
-18年目	H 29	1.1249	102.9	207.36	233.03		
-17年目	H 30	1.0816	102.8	284.35	307.55		
-16年目	R 1	1.0400	102.8	478.87	498.02		
基準年	R 2	1.0000	102.8	388.71	388.71		
-14年目	R 3	0.9615	102.8	513.45	493.69		
部分供用開始	R 4	0.9246	102.8	496.61	459.16	2.69	2.49
部分1年目	R 5	0.8890	102.8	397.84	353.68	2.71	2.41
部分供用開始	R 6	0.8548	102.8	330.83	282.79	4.95	4.23
部分供用開始	R 7	0.8219	102.8	309.22	254.14	9.64	7.92
部分4年目	R 8	0.7903	102.8	273.21	215.92	9.60	7.59
部分5年目	R 9	0.7599	102.8	199.90	151.90	9.57	7.27
部分供用開始	R 10	0.7307	102.8	71.00	51.88	15.85	11.58
部分供用開始	R 11	0.7026	102.8	80.31	56.43	17.14	12.05
部分8年目	R 12	0.6756	102.8	92.73	62.65	17.11	11.56
部分9年目	R 13	0.6496	102.8	99.55	64.66	17.10	11.11
部分10年目	R 14	0.6246	102.8	85.45	53.37	17.10	10.68
部分11年目	R 15	0.6006	102.8	78.18	46.96	17.09	10.26
部分12年目	R 16	0.5775	102.8	68.51	39.57	17.08	9.86
供用開始年次	R 17	0.5553	102.8			21.88	12.15
1年目	R 18	0.5339	102.8			21.88	11.68
2年目	R 19	0.5134	102.8			21.87	11.23
3年目	R 20	0.4936	102.8			21.86	10.79
4年目	R 21	0.4746	102.8			21.85	10.37
5年目	R 22	0.4564	102.8			21.85	9.97
6年目	R 23	0.4388	102.8			21.84	9.58
7年目	R 24	0.4220	102.8			21.83	9.21
8年目	R 25	0.4057	102.8			21.82	8.85
9年目	R 26	0.3901	102.8			21.82	8.51
10年目	R 27	0.3751	102.8			21.81	8.18
11年目	R 28	0.3607	102.8			21.80	7.86
12年目	R 29	0.3468	102.8			21.79	7.56
13年目	R 30	0.3335	102.8			21.79	7.27
14年目	R 31	0.3207	102.8			21.78	6.98
15年目	R 32	0.3083	102.8			21.77	6.71
16年目	R 33	0.2965	102.8			21.76	6.45
17年目	R 34	0.2851	102.8			21.76	6.20
18年目	R 35	0.2741	102.8			21.75	5.96
19年目	R 36	0.2636	102.8			21.74	5.73
20年目	R 37	0.2534	102.8			21.73	5.51
21年目	R 38	0.2437	102.8			21.73	5.29
22年目	R 39	0.2343	102.8			21.72	5.09
23年目	R 40	0.2253	102.8			21.71	4.89
24年目	R 41	0.2166	102.8			21.70	4.70
25年目	R 42	0.2083	102.8			21.70	4.52
26年目	R 43	0.2003	102.8			21.69	4.34
27年目	R 44	0.1926	102.8			21.68	4.18
28年目	R 45	0.1852	102.8			21.67	4.01
29年目	R 46	0.1780	102.8			21.67	3.86
30年目	R 47	0.1712	102.8			21.66	3.71
31年目	R 48	0.1646	102.8			21.65	3.56
32年目	R 49	0.1583	102.8			21.64	3.43
33年目	R 50	0.1522	102.8			21.63	3.29
34年目	R 51	0.1463	102.8			21.63	3.16
35年目	R 52	0.1407	102.8			21.62	3.04
36年目	R 53	0.1353	102.8	-3.78	-0.51	21.61	2.92
37年目	R 54	0.1301	102.8			18.62	2.42
38年目	R 55	0.1251	102.8	-17.93	-2.24	18.61	2.33
39年目	R 56	0.1203	102.8	-14.03	-1.69	17.16	2.06
40年目	R 57	0.1157	102.8			12.45	1.44
41年目	R 58	0.1112	102.8			12.45	1.38
42年目	R 59	0.1069	102.8	-28.86	-3.09	12.45	1.33
43年目	R 60	0.1028	102.8	-9.00	-0.93	6.14	0.63
44年目	R 61	0.0989	102.8			4.81	0.48
45年目	R 62	0.0951	102.8			4.81	0.46
46年目	R 63	0.0914	102.8			4.81	0.44
47年目	R 64	0.0879	102.8			4.81	0.42
48年目	R 65	0.0845	102.8			4.81	0.41
49年目	R 66	0.0813	102.8	-33.61	-2.73	4.81	0.39
合計				4562.58	4262.76	1089.02	363.94
単純事業費計				4669.79		1,089.02	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

# 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:近畿自動車道紀勢線 和歌山JCT~勢和多気JCT(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.21	119.1	24.56

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	R 3	0.9615	102.8	513.45	493.69		
部分供用開始	R 4	0.9246	102.8	496.61	459.16	2.69	2.49
部分1年目	R 5	0.8890	102.8	397.84	353.68	2.71	2.41
部分供用開始	R 6	0.8548	102.8	330.83	282.79	4.95	4.23
部分供用開始	R 7	0.8219	102.8	309.22	254.14	9.64	7.92
部分4年目	R 8	0.7903	102.8	273.21	215.92	9.60	7.59
部分5年目	R 9	0.7599	102.8	199.90	151.90	9.57	7.27
部分供用開始	R 10	0.7307	102.8	71.00	51.88	15.85	11.58
部分供用開始	R 11	0.7026	102.8	80.31	56.43	17.14	12.05
部分8年目	R 12	0.6756	102.8	92.73	62.65	17.11	11.56
部分9年目	R 13	0.6496	102.8	99.55	64.66	17.10	11.11
部分10年目	R 14	0.6246	102.8	85.45	53.37	17.10	10.68
部分11年目	R 15	0.6006	102.8	78.18	46.96	17.09	10.26
部分12年目	R 16	0.5775	102.8	68.51	39.57	17.08	9.86
供用開始年次	R 17	0.5553	102.8			21.88	12.15
1年目	R 18	0.5339	102.8			21.88	11.68
2年目	R 19	0.5134	102.8			21.87	11.23
3年目	R 20	0.4936	102.8			21.86	10.79
4年目	R 21	0.4746	102.8			21.85	10.37
5年目	R 22	0.4564	102.8			21.85	9.97
6年目	R 23	0.4388	102.8			21.84	9.58
7年目	R 24	0.4220	102.8			21.83	9.21
8年目	R 25	0.4057	102.8			21.82	8.85
9年目	R 26	0.3901	102.8			21.82	8.51
10年目	R 27	0.3751	102.8			21.81	8.18
11年目	R 28	0.3607	102.8			21.80	7.86
12年目	R 29	0.3468	102.8			21.79	7.56
13年目	R 30	0.3335	102.8			21.79	7.27
14年目	R 31	0.3207	102.8			21.78	6.98
15年目	R 32	0.3083	102.8			21.77	6.71
16年目	R 33	0.2965	102.8			21.76	6.45
17年目	R 34	0.2851	102.8			21.76	6.20
18年目	R 35	0.2741	102.8			21.75	5.96
19年目	R 36	0.2636	102.8			21.74	5.73
20年目	R 37	0.2534	102.8			21.73	5.51
21年目	R 38	0.2437	102.8			21.73	5.29
22年目	R 39	0.2343	102.8			21.72	5.09
23年目	R 40	0.2253	102.8			21.71	4.89
24年目	R 41	0.2166	102.8			21.70	4.70
25年目	R 42	0.2083	102.8			21.70	4.52
26年目	R 43	0.2003	102.8			21.69	4.34
27年目	R 44	0.1926	102.8			21.68	4.18
28年目	R 45	0.1852	102.8			21.67	4.01
29年目	R 46	0.1780	102.8			21.67	3.86
30年目	R 47	0.1712	102.8			21.66	3.71
31年目	R 48	0.1646	102.8			21.65	3.56
32年目	R 49	0.1583	102.8			21.64	3.43
33年目	R 50	0.1522	102.8			21.63	3.29
34年目	R 51	0.1463	102.8			21.63	3.16
35年目	R 52	0.1407	102.8			21.62	3.04
36年目	R 53	0.1353	102.8			21.61	2.92
37年目	R 54	0.1301	102.8			18.62	2.42
38年目	R 55	0.1251	102.8	-6.40	-0.80	18.61	2.33
39年目	R 56	0.1203	102.8	-4.48	-0.54	17.16	2.06
40年目	R 57	0.1157	102.8			12.45	1.44
41年目	R 58	0.1112	102.8			12.45	1.38
42年目	R 59	0.1069	102.8	-22.88	-2.45	12.45	1.33
43年目	R 60	0.1028	102.8	-9.00	-0.93	6.14	0.63
44年目	R 61	0.0989	102.8			4.81	0.48
45年目	R 62	0.0951	102.8			4.81	0.46
46年目	R 63	0.0914	102.8			4.81	0.44
47年目	R 64	0.0879	102.8			4.81	0.42
48年目	R 65	0.0845	102.8			4.81	0.41
49年目	R 66	0.0813	102.8	-33.61	-2.73	4.81	0.39
合計				3020.42	2579.35	1089.02	363.94
単純事業費計				3096.79		1,089.02	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名： 近畿自動車道紀勢線 和歌山JCT～勢和多気JCT(事業全体、残事業)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
		R 2						乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (2)×(A)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)-(3)	現在価値 割引率4%
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車																
部分供用開始	R 4	0.99869	0.98510	1.00538	0.99728	0.9246	102.8	53.63	11.83	19.19	84.66	78.28	1.80	0.42	1.40	3.62	3.35	0.93	0.86	89.21	82.49
部分1年目	R 5	0.99869	0.98488	1.00535	0.99728	0.8890	102.8	53.56	11.66	19.30	84.52	75.14	1.80	0.41	1.41	3.62	3.22	0.93	0.83	87.07	79.18
部分供用開始	R 6	0.99868	0.98464	1.00532	0.99727	0.8548	102.8	100.31	22.91	32.86	156.07	133.41	5.49	0.94	2.24	8.67	7.41	2.34	2.00	169.09	142.82
部分供用開始	R 7	0.99868	0.98440	1.00529	0.99726	0.8219	102.8	128.14	30.11	38.54	196.79	161.74	10.14	1.69	3.02	14.85	12.21	3.90	3.20	215.57	177.15
部分4年目	R 8	0.99868	0.98416	1.00526	0.99725	0.7903	102.8	127.97	29.64	38.74	196.35	155.18	10.13	1.67	3.04	14.83	11.72	3.88	3.07	215.03	169.97
部分5年目	R 9	0.99868	0.98390	1.00523	0.99725	0.7599	102.8	127.80	29.17	38.95	195.92	148.88	10.11	1.64	3.05	14.81	11.25	3.97	2.94	214.60	163.07
部分供用開始	R 10	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.7307	102.8	156.08	35.74	46.05	237.88	173.82	14.44	2.30	3.62	20.36	14.88	5.59	4.06	263.82	192.77
部分供用開始	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.7026	102.8	163.08	37.27	47.20	247.55	173.93	15.17	2.32	3.69	21.18	14.88	6.07	4.26	274.80	193.08
部分8年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.6756	102.8	162.86	36.65	47.44	246.96	166.84	15.15	2.29	3.71	21.14	14.29	6.05	4.09	274.15	185.22
部分9年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6496	102.8	161.55	36.30	47.37	245.22	159.30	15.03	2.26	3.70	20.99	13.64	6.01	3.90	272.23	176.84
部分10年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6246	102.8	160.25	35.95	47.29	243.49	152.08	14.91	2.24	3.70	20.85	13.02	5.97	3.73	270.30	168.83
部分11年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.6006	102.8	158.94	35.60	47.21	241.75	145.20	14.79	2.22	3.69	20.70	12.43	5.92	3.56	268.37	161.19
部分12年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.5775	102.8	157.63	35.25	47.14	240.02	138.61	14.67	2.20	3.68	20.55	11.87	5.88	3.40	266.45	153.87
供用開始年次	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5553	102.8	177.30	42.23	53.98	273.52	151.88	17.59	2.79	4.41	24.78	13.76	8.00	4.44	306.31	170.09
1年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5339	102.8	175.82	41.81	53.89	271.52	144.97	17.44	2.76	4.40	24.60	13.14	7.94	4.24	304.07	162.34
2年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.5134	102.8	174.34	41.38	53.81	269.53	138.38	17.29	2.73	4.40	24.42	12.54	7.88	4.05	301.83	154.96
3年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.4936	102.8	172.86	40.96	53.72	267.53	132.05	17.15	2.70	4.39	24.24	11.96	7.83	3.86	299.60	147.88
4年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4746	102.8	171.37	40.54	53.63	265.54	126.03	17.00	2.68	4.38	24.06	11.42	7.77	3.69	297.36	141.13
5年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4564	102.8	169.89	40.11	53.54	263.54	120.28	16.85	2.65	4.37	23.87	10.90	7.71	3.52	295.13	134.70
6年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4388	102.8	168.41	39.69	53.45	261.55	114.77	16.71	2.62	4.37	23.69	10.40	7.65	3.36	292.89	128.52
7年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4220	102.8	166.93	39.26	53.37	259.56	109.53	16.56	2.59	4.36	23.51	9.92	7.59	3.20	290.65	122.66
8年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.4057	102.8	165.45	38.84	53.28	257.56	104.49	16.41	2.56	4.35	23.33	9.46	7.53	3.05	288.42	117.01
9年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.3901	102.8	163.97	38.41	53.19	255.57	99.70	16.26	2.54	4.34	23.14	9.03	7.47	2.91	286.18	111.64
10年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3751	102.8	162.48	37.99	53.10	253.57	95.12	16.12	2.51	4.34	22.96	8.61	7.41	2.78	283.95	106.51
11年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3607	102.8	161.00	37.56	53.01	251.58	90.74	15.97	2.48	4.33	22.78	8.22	7.35	2.65	281.71	101.61
12年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3468	102.8	159.52	37.14	52.93	249.58	86.56	15.82	2.45	4.32	22.60	7.84	7.29	2.53	279.47	96.92
13年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3335	102.8	158.04	36.71	52.84	247.59	82.57	15.68	2.42	4.32	22.42	7.48	7.23	2.41	277.24	92.46
14年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3207	102.8	156.56	36.29	52.75	245.59	78.76	15.53	2.40	4.31	22.23	7.13	7.17	2.30	275.00	88.19
15年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.3083	102.8	155.07	35.86	52.66	243.60	75.10	15.38	2.37	4.30	22.05	6.80	7.12	2.19	272.77	84.09
16年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.2965	102.8	153.59	35.44	52.57	241.61	71.64	15.24	2.34	4.29	21.87	6.48	7.06	2.09	270.53	80.21
17年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2851	102.8	152.11	35.01	52.49	239.61	68.31	15.09	2.31	4.29	21.69	6.18	7.00	1.99	268.29	76.49
18年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2741	102.8	150.63	34.59	52.40	237.62	65.13	14.94	2.28	4.28	21.50	5.89	6.94	1.90	266.06	72.93
19年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2636	102.8	149.15	34.16	52.31	235.62	62.11	14.79	2.26	4.27	21.32	5.62	6.88	1.81	263.82	69.54
20年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2534	102.8	147.66	33.74	52.22	233.63	59.20	14.65	2.23	4.27	21.14	5.36	6.82	1.73	261.59	66.29
21年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2437	102.8	146.18	33.31	52.14	231.63	56.45	14.50	2.20	4.26	20.96	5.11	6.76	1.65	259.35	63.20
22年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2343	102.8	144.70	32.89	52.05	229.64	53.80	14.35	2.17	4.25	20.78	4.87	6.70	1.57	257.12	60.24
23年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2253	102.8	143.22	32.47	51.96	227.64	51.29	14.21	2.14	4.24	20.59	4.64	6.64	1.50	254.88	57.42
24年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2166	102.8	141.74	32.04	51.87	225.65	48.88	14.06	2.12	4.24	20.41	4.42	6.58	1.43	252.64	54.72
25年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2083	102.8	140.26	31.62	51.78	223.66	46.59	13.91	2.09	4.23	20.23	4.21	6.52	1.36	250.41	52.16
26年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.2003	102.8	138.77	31.19	51.70	221.66	44.40	13.77	2.06	4.22	20.05	4.02	6.46	1.29	248.17	49.71
27年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.1926	102.8	137.29	30.77	51.61	219.67	42.31	13.62	2.03	4.22	19.87	3.83	6.40	1.23	245.94	47.37
28年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1852	102.8	135.81	30.34	51.52	217.67	40.31	13.47	2.00	4.21	19.68	3.65	6.35	1.18	243.70	45.13
29年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1780	102.8	134.33	29.92	51.43	215.68	38.39	13.32	1.97	4.20	19.50	3.47	6.29	1.12	241.46	42.98
30年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1712	102.8	132.85	29.49	51.34	213.68	36.58	13.18	1.95	4.19	19.32	3.31	6.23	1.07	239.23	40.96
31年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1646	102.8	131.36	29.07	51.26	211.69	34.84	13.03	1.92	4.19	19.14	3.15	6.17	1.02	236.99	39.01
32年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1583	102.8	129.88	28.64	51.17	209.69	33.19	12.88	1.89	4.18	18.95	3.00	6.11	0.97	234.76	37.16
33年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1522	102.8	128.40	28.22	51.08	207.70	31.61	12.74	1.86	4.17	18.77	2.86	6.05	0.92	232.52	35.39
34年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1463	102.8	126.92	27.79	50.99	205.70	30.09	12.59	1.83	4.17	18.59	2.72	5.99	0.88	230.28	33.69
35年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1407	102.8	125.44	27.37	50.91	203.71	28.66	12.44	1.81	4.16	18.41	2.59	5.93	0.83	228.05	32.09
36年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1353	102.8	123.95	26.94	50.82	201.72	27.29	12.30	1.78	4.15	18.23	2.47	5.87	0.79	225.81	30.55
37年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1301	102.8	122.48	26.52	50.73	199.73	25.97	12.17	1.76	4.15	18.05	2.34	5.80	0.74	223.57	29.01
38年目	R 55	0.98775	0.98372	0.9																	

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道42号（近畿自動車道紀勢線） 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：三重県尾鷲市坂場西町 至：三重県尾鷲市南浦	延長	5.4 km		
<b>事業概要</b>					
<p>一般国道42号熊野尾鷲道路（Ⅱ期）は、近畿自動車道紀勢線と一体となり高速道路ネットワークを形成する道路であり、尾鷲市坂場西町から尾鷲市南浦に至る延長5.4kmの区間である。</p> <p>並行する一般国道42号では、南海トラフ巨大地震等の大規模地震における緊急輸送道路の確保、高次救急医療施設へのアクセス等に課題があり、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援等を目的に整備を進めている。</p>					
H24年度事業化	H11年度都市計画決定	H26年度用地着手	H26年度工事着手		
全体事業費	380億円	事業進捗率（令和2年3月末時点）	約81%	供用済延長	0.0km
計画交通量	6,600台/日				
費用対効果	B/C	総費用	（残事業）/（事業全体）	総便益	（残事業）/（事業全体）
分析結果	（事業全体） 1.1 （1.01）	2,943/4,627 億円 事業費：2,579/4,263 億円 維持管理費：364/364 億円		5,189/5,189 億円 走行時間短縮便益：4,666/4,666 億円 走行経費減少便益：400/400 億円 交通事故減少便益：123/123 億円	基準年 令和2年
	（残事業） 1.8 （5.2）				
<b>感度分析の結果</b>					
（事業全体） 交通量		：B/C= 0.9~1.4（交通量 ±10%）		（残事業） 交通量	
事業費		：B/C= 1.1~1.2（事業費 ±10%）		事業費	
事業期間		：B/C= 1.03~1.3（事業期間±20%）		事業期間	
		：B/C= 1.4~2.2（交通量 ±10%）		：B/C= 1.6~1.9（事業費 ±10%）	
				：B/C= 1.6~2.0（事業期間±20%）	
<b>事業の効果等</b>					
①円滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。</li> <li>・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（三重交通名古屋南紀高速線等）が存在する</li> </ul>					
②物流効率化の支援					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる。</li> </ul>					
③国土・地域ネットワークの構築					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り。</li> </ul>					
④個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点開発プロジェクト（防災公園（球場等））、大規模イベント（第76回国民体育大会）を支援する。</li> <li>・主要な観光地（世界遺産熊野古道）へのアクセス向上が期待される。</li> </ul>					
⑤安全で安心できるくらしの確保。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（伊勢赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul>					
⑥災害への備え					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次緊急輸送道路として位置付けられている</li> <li>・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間（坂場～尾鷲南IC入口交差点間）の代替路線を形成する。</li> <li>・高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り。</li> </ul>					
⑦地球環境の保全					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減が見込まれる。</li> </ul>					
⑧生活環境の改善・保全					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NO2排出量の削減が見込まれる。</li> <li>・SPM排出量の削減が見込まれる。</li> </ul>					
⑨他のプロジェクトとの関係					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する大規模道路事業（近畿自動車道紀勢線）と一体的に整備する必要あり。</li> </ul>					



関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会、近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）建設促進規制同盟会等より近畿自動車道紀勢線の全線早期完成の要望を受けている。

知事の意見：

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

一般国道42号熊野尾鷲道路（Ⅱ期）は、広域的な交流・連携の促進を支えるとともに、近年頻発化・激甚化する台風・豪雨災害や、発生が危惧される南海トラフ地震による津波発生時において、現道（国道42号）とのダブルネットワークを形成し、災害時の救助・救急、医療活動を支える「命の道」となる重要な道路です。

また、令和3年に開催される「三重とわか国体・三重とわか大会」において、東紀州地域の会場へのアクセスルートとして活用されることが期待されています。

よって、対応方針（原案）のとおり事業継続し、開通見通しである令和3年夏頃までに確実に供用されることを求めます。

なお、事業実施にあたっては、全体事業費が大幅に増となっていることから、さらなるコスト縮減に努められたい。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・当事業区間に隣接する熊野尾鷲道路の尾鷲南IC～三木里IC間が平成20年度に開通し、また、三木里IC～熊野大泊IC間が平成25年度に開通したことにより、熊野尾鷲道路が全線開通。
- ・当事業区間に隣接する紀勢自動車道の海山IC～尾鷲北IC間が平成23年度に開通し、また、紀伊長島IC～海山IC間が平成25年度に開通したことにより、紀勢自動車道が全線開通。
- ・また、平成31年度には紀勢線が全線事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は約81%。用地取得率は100%（令和2年3月末時点）
- ・令和3年夏頃の全線開通に向けて工事を推進。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・令和3年夏頃の全線開通に向けて工事を推進。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)=1.01(経済的純現在価値(B-C)=3.1億円、経済的內部収益率(EIRR)=4.0%) 残事業：費用便益比(B/C)=5.2(経済的純現在価値(B-C)=336億円、経済的內部収益率(EIRR)=38.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
i.活力	円滑なモビリティの確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象エリア)について 渋滞損失時間(現況):532.8万人・時間/年 渋滞損失削減時間:60.6万人・時間/年(532.8万人・時間/年⇒472.2万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:(国道42号) 並行区間の渋滞損失時間:36.1万人・時間/年(坂場～尾鷲南IC入口交差点間) 並行区間の渋滞損失削減率:約7割削減(坂場～尾鷲南IC入口交差点間)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	三重交通：島勝線・尾鷲長島線・南紀特急線 三重交通：名古屋南紀高速線 三重交通・西武バス：高速南紀大宮線(南紀勝浦線)
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	近畿自動車道紀勢線との一体整備により農林水産物の大都市への輸送時間短縮、みかん：中京市場へ60%、県内へ21%、大阪市場へ7%出荷	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1.活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	並行する高速道路路線:近畿自動車道紀勢線
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	第76回 国民体育大会(令和3年三重県開催 熊野市:ソフトボール(成年女子)、ラグビー、尾鷲市:水泳、紀北町:ソフトボール(少年女子)) スポーツ交流施設を兼ねた防災公園(令和2年度までに整備)
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	世界遺産熊野古道(H31・R1 年間観光客入り込み数 約38万人/年)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	

2.暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される		
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する		
	安全で安心できる暮らしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	伊勢赤十字病院(第3次救急医療施設)へのアクセスが向上(熊野市役所、89分 ⇒ 86分)	
3.安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量が100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される		
		災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input checked="" type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A路線としての位置づけがある場合)	三重県緊急輸送道路ネットワーク計画: 第一次緊急輸送道路 国道42号が通行止め時の代替路(坂場~尾鷲南IC入口交差点間) 並行する高速道路路線: 近畿自動車道紀勢線
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する		
	4.環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 2.1千t-CO2/年 (83.7千t-CO2/年 ⇒ 81.7千t-CO2/年)
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	自動車NOx・PM法対策地域指定の別: 対象地域を含まない(推計結果) 評価対象区間(並行区間): 国道42号(坂場~尾鷲南IC入口交差点間) 排出削減量: 約12.9t/年、排出削減率: 約7割削減 熊野道尾鷲道路Ⅱ期区間 Nox排出増加量: 8.3t/年	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	自動車NOx・PM法対策地域指定の別: 対象地域を含まない(推計結果) 評価対象区間(並行区間): 国道42号(坂場~尾鷲南IC入口交差点間) 排出削減量: 約0.7t/年、排出削減率: 約7割削減 熊野道尾鷲道路Ⅱ期区間 Nox排出増加量: 約0.4t/年	
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある		
<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される				
5.その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	近畿自動車道紀勢線	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる		

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	熊野尾鷲道路(Ⅱ期)	L=5.4km	高規格A'	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,600	2	中部地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	350億円	67億円	417億円
うち残事業分	55億円	67億円	122億円
基準年における 現在価値(C)	385億円	28億円	413億円
うち残事業分	52億円	28億円	80億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和4年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	1.8億円	0.41億円	21億円
基準年における 現在価値(B)	372億円	36億円	7.9億円	416億円
うち残事業分	372億円	36億円	7.9億円	416億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.01
経済的純現在価値(B-C)	3.1億円
経済的内部収益率(EIRR)	4.0%
費用便益比(残事業)	5.2
経済的純現在価値(残事業)	336億円
経済的内部収益率(残事業)	38.6%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,600台/日	±10%	0.9~1.1
事業費	350億円	±10%	0.99~1.03
事業期間	11年	±20%	0.9~1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,600台/日	±10%	4.7~5.7
事業費	55億円	±10%	4.8~5.5
事業期間	2年	±20%	4.9~5.6

## 交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道42号 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）（事業全体、残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間：5.4km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	-	6,600	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	-	5	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	-	5.96	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道42号 ：5.0km	交通量	[台/日]	12,100	
		走行時間	[分]	13	
		走行時間費用	[億円/年]	28.50	
	国道425号 ：18.2km	交通量	[台/日]	400	200
		走行時間	[分]	50	50
		走行時間費用	[億円/年]	3.56	1.98
③その他の道路合計 250.2km	走行時間費用	[億円/年]	150.77	144.47	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：278.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	182.83	163.70	19.13

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

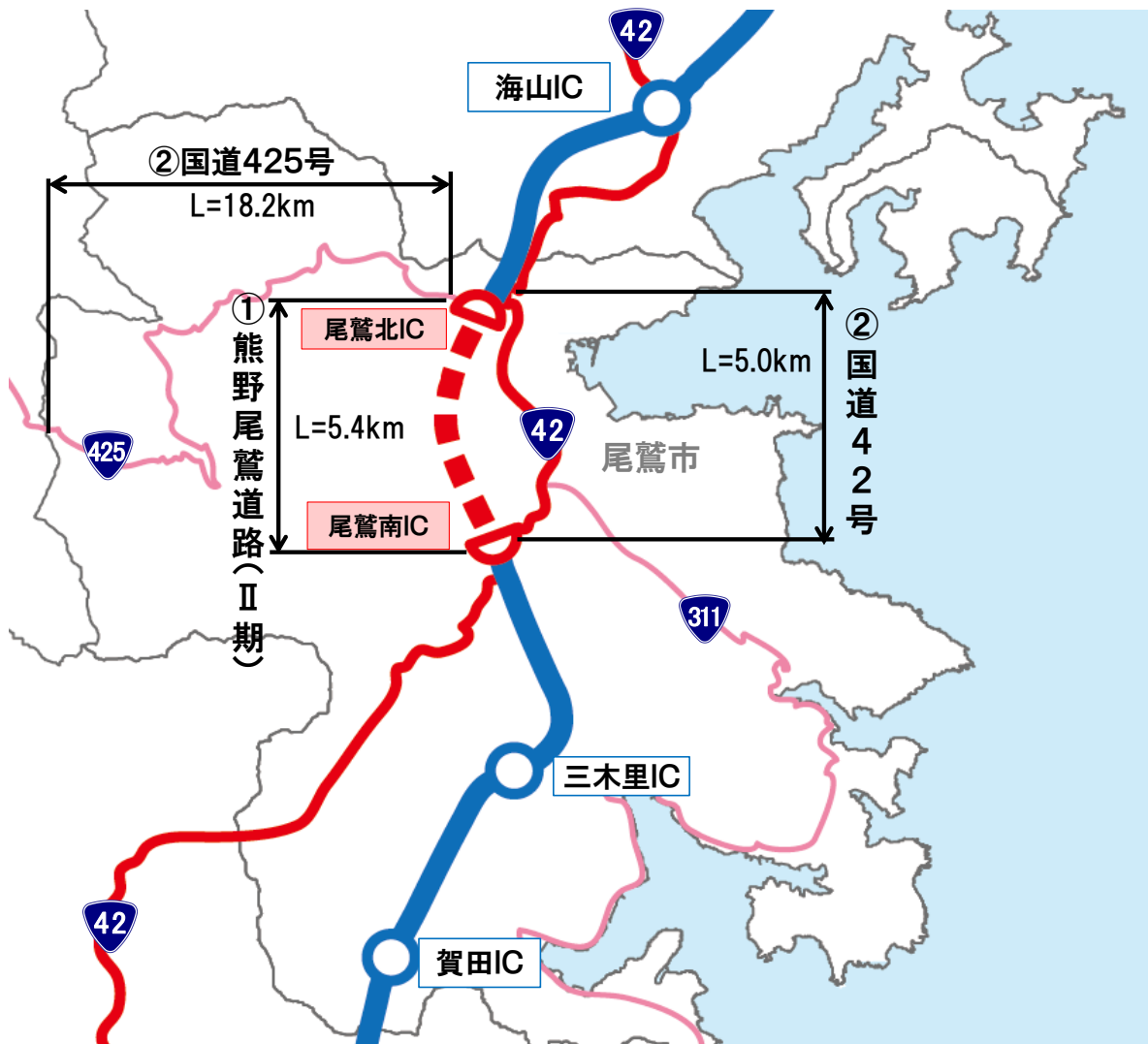
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

【図面（①、②に該当する道路を明示すること）】





## 費用便益分析の条件

事業名：一般国道42号 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の 考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在 した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を 用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年の実績値より算出	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:一般国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				

## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）  
（事業全体）

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.27		5.4	1.48
-10年目	H 24	1.3686	99.0	0.95	1.35		
-9年目	H 25	1.3159	99.0	5.79	7.91		
-8年目	H 26	1.2653	101.5	33.69	43.17		
-7年目	H 27	1.2167	103.0	39.23	47.63		
-6年目	H 28	1.1699	102.8	43.94	51.40		
-5年目	H 29	1.1249	102.9	42.41	47.66		
-4年目	H 30	1.0816	102.8	40.00	43.26		
-3年目	R 1	1.0400	102.8	47.09	48.97		
基準年	R 2	1.0000	102.8	41.55	41.55		
-1年目	R 3	0.9615	102.8	43.64	41.96		
供用開始年次	R 4	0.9246	102.8	11.38	10.52	1.35	1.24
1年目	R 5	0.8890	102.8			1.35	1.20
2年目	R 6	0.8548	102.8			1.35	1.15
3年目	R 7	0.8219	102.8			1.35	1.11
4年目	R 8	0.7903	102.8			1.35	1.06
5年目	R 9	0.7599	102.8			1.35	1.02
6年目	R 10	0.7307	102.8			1.35	0.98
7年目	R 11	0.7026	102.8			1.35	0.95
8年目	R 12	0.6756	102.8			1.35	0.91
9年目	R 13	0.6496	102.8			1.35	0.87
10年目	R 14	0.6246	102.8			1.35	0.84
11年目	R 15	0.6006	102.8			1.35	0.81
12年目	R 16	0.5775	102.8			1.35	0.78
13年目	R 17	0.5553	102.8			1.35	0.75
14年目	R 18	0.5339	102.8			1.35	0.72
15年目	R 19	0.5134	102.8			1.35	0.69
16年目	R 20	0.4936	102.8			1.35	0.66
17年目	R 21	0.4746	102.8			1.35	0.64
18年目	R 22	0.4564	102.8			1.35	0.61
19年目	R 23	0.4388	102.8			1.35	0.59
20年目	R 24	0.4220	102.8			1.35	0.57
21年目	R 25	0.4057	102.8			1.35	0.55
22年目	R 26	0.3901	102.8			1.35	0.52
23年目	R 27	0.3751	102.8			1.35	0.50
24年目	R 28	0.3607	102.8			1.35	0.49
25年目	R 29	0.3468	102.8			1.35	0.47
26年目	R 30	0.3335	102.8			1.35	0.45
27年目	R 31	0.3207	102.8			1.35	0.43
28年目	R 32	0.3083	102.8			1.35	0.41
29年目	R 33	0.2965	102.8			1.35	0.40
30年目	R 34	0.2851	102.8			1.35	0.38
31年目	R 35	0.2741	102.8			1.35	0.37
32年目	R 36	0.2636	102.8			1.35	0.35
33年目	R 37	0.2534	102.8			1.35	0.34
34年目	R 38	0.2437	102.8			1.35	0.33
35年目	R 39	0.2343	102.8			1.35	0.32
36年目	R 40	0.2253	102.8			1.35	0.30
37年目	R 41	0.2166	102.8			1.35	0.29
38年目	R 42	0.2083	102.8			1.35	0.28
39年目	R 43	0.2003	102.8			1.35	0.27
40年目	R 44	0.1926	102.8			1.35	0.26
41年目	R 45	0.1852	102.8			1.35	0.25
42年目	R 46	0.1780	102.8			1.35	0.24
43年目	R 47	0.1712	102.8			1.35	0.23
44年目	R 48	0.1646	102.8			1.35	0.22
45年目	R 49	0.1583	102.8			1.35	0.21
46年目	R 50	0.1522	102.8			1.35	0.20
47年目	R 51	0.1463	102.8			1.35	0.20
48年目	R 52	0.1407	102.8			1.35	0.19
49年目	R 53	0.1353	102.8	-3.78	-0.51	1.35	0.18
合計				345.88	384.88	67.27	27.78
単純事業費計				349.66		67.27	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道42号 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）  
（残事業）

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

単価（億円）	延長（km）	単価単価（億円）
0.27	5.4	1.48

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
基準年	R 2	1.0000	102.8				
-1年目	R 3	0.9615	102.8	43.64	41.96		
供用開始年次	R 4	0.9246	102.8	11.38	10.52	1.35	1.24
1年目	R 5	0.8890	102.8			1.35	1.20
2年目	R 6	0.8548	102.8			1.35	1.15
3年目	R 7	0.8219	102.8			1.35	1.11
4年目	R 8	0.7903	102.8			1.35	1.06
5年目	R 9	0.7599	102.8			1.35	1.02
6年目	R 10	0.7307	102.8			1.35	0.98
7年目	R 11	0.7026	102.8			1.35	0.95
8年目	R 12	0.6756	102.8			1.35	0.91
9年目	R 13	0.6496	102.8			1.35	0.87
10年目	R 14	0.6246	102.8			1.35	0.84
11年目	R 15	0.6006	102.8			1.35	0.81
12年目	R 16	0.5775	102.8			1.35	0.78
13年目	R 17	0.5553	102.8			1.35	0.75
14年目	R 18	0.5339	102.8			1.35	0.72
15年目	R 19	0.5134	102.8			1.35	0.69
16年目	R 20	0.4936	102.8			1.35	0.66
17年目	R 21	0.4746	102.8			1.35	0.64
18年目	R 22	0.4564	102.8			1.35	0.61
19年目	R 23	0.4388	102.8			1.35	0.59
20年目	R 24	0.4220	102.8			1.35	0.57
21年目	R 25	0.4057	102.8			1.35	0.55
22年目	R 26	0.3901	102.8			1.35	0.52
23年目	R 27	0.3751	102.8			1.35	0.50
24年目	R 28	0.3607	102.8			1.35	0.49
25年目	R 29	0.3468	102.8			1.35	0.47
26年目	R 30	0.3335	102.8			1.35	0.45
27年目	R 31	0.3207	102.8			1.35	0.43
28年目	R 32	0.3083	102.8			1.35	0.41
29年目	R 33	0.2965	102.8			1.35	0.40
30年目	R 34	0.2851	102.8			1.35	0.38
31年目	R 35	0.2741	102.8			1.35	0.37
32年目	R 36	0.2636	102.8			1.35	0.35
33年目	R 37	0.2534	102.8			1.35	0.34
34年目	R 38	0.2437	102.8			1.35	0.33
35年目	R 39	0.2343	102.8			1.35	0.32
36年目	R 40	0.2253	102.8			1.35	0.30
37年目	R 41	0.2166	102.8			1.35	0.29
38年目	R 42	0.2083	102.8			1.35	0.28
39年目	R 43	0.2003	102.8			1.35	0.27
40年目	R 44	0.1926	102.8			1.35	0.26
41年目	R 45	0.1852	102.8			1.35	0.25
42年目	R 46	0.1780	102.8			1.35	0.24
43年目	R 47	0.1712	102.8			1.35	0.23
44年目	R 48	0.1646	102.8			1.35	0.22
45年目	R 49	0.1583	102.8			1.35	0.21
46年目	R 50	0.1522	102.8			1.35	0.20
47年目	R 51	0.1463	102.8			1.35	0.20
48年目	R 52	0.1407	102.8			1.35	0.19
49年目	R 53	0.1353	102.8			1.35	0.18
合計				55.02	52.48	67.27	27.78
単純事業費計				55.02		67.27	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道42号 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）（事業全体、残事業）

年次	年度	総走行台数の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 4	0.99967	0.98639	1.00847	0.99911	0.9246	102.8	9.46	3.51	6.15	19.12	17.68	0.95	0.27	0.62	1.84	1.70	0.41	0.38	21.38	19.76
1年目	R 5	0.99967	0.98620	1.00840	0.99911	0.8890	102.8	9.46	3.46	6.20	19.12	17.00	0.95	0.27	0.62	1.85	1.64	0.41	0.37	21.38	19.01
2年目	R 6	0.99967	0.98601	1.00833	0.99911	0.8548	102.8	9.46	3.41	6.25	19.12	16.35	0.95	0.26	0.63	1.85	1.58	0.41	0.35	21.38	18.28
3年目	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.8219	102.8	9.45	3.36	6.31	19.12	15.72	0.95	0.26	0.63	1.85	1.52	0.41	0.34	21.38	17.58
4年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7903	102.8	9.45	3.32	6.36	19.12	15.11	0.95	0.26	0.64	1.85	1.46	0.41	0.33	21.39	16.90
5年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7599	102.8	9.45	3.27	6.41	19.13	14.53	0.95	0.25	0.65	1.85	1.41	0.41	0.31	21.39	16.25
6年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7307	102.8	9.45	3.22	6.46	19.13	13.98	0.95	0.25	0.65	1.85	1.35	0.41	0.30	21.39	15.63
7年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.7026	102.8	9.44	3.17	6.51	19.13	13.44	0.95	0.25	0.66	1.85	1.30	0.41	0.29	21.39	15.03
8年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6756	102.8	9.44	3.12	6.57	19.13	12.92	0.95	0.24	0.66	1.85	1.25	0.41	0.28	21.39	14.45
9年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6496	102.8	9.37	3.09	6.56	19.02	12.36	0.94	0.24	0.66	1.84	1.20	0.41	0.26	21.27	13.82
10年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6246	102.8	9.30	3.06	6.55	18.91	11.81	0.94	0.24	0.66	1.83	1.14	0.40	0.25	21.15	13.21
11年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.6006	102.8	9.23	3.03	6.54	18.80	11.29	0.93	0.24	0.66	1.82	1.09	0.40	0.24	21.02	12.63
12年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5775	102.8	9.16	3.00	6.53	18.69	10.79	0.92	0.23	0.66	1.81	1.05	0.40	0.23	20.90	12.07
13年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5553	102.8	9.09	2.97	6.52	18.58	10.32	0.92	0.23	0.66	1.80	1.00	0.40	0.22	20.78	11.54
14年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5339	102.8	9.02	2.94	6.50	18.47	9.86	0.91	0.23	0.66	1.79	0.96	0.39	0.21	20.66	11.03
15年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5134	102.8	8.95	2.91	6.49	18.36	9.43	0.90	0.23	0.65	1.78	0.91	0.39	0.20	20.53	10.54
16年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4936	102.8	8.88	2.88	6.48	18.25	9.01	0.89	0.22	0.65	1.77	0.87	0.39	0.19	20.41	10.07
17年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4746	102.8	8.81	2.85	6.47	18.14	8.61	0.89	0.22	0.65	1.76	0.84	0.39	0.18	20.29	9.63
18年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4564	102.8	8.74	2.82	6.46	18.03	8.23	0.88	0.22	0.65	1.75	0.80	0.38	0.17	20.16	9.20
19年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4388	102.8	8.67	2.79	6.45	17.92	7.86	0.87	0.22	0.65	1.74	0.76	0.38	0.17	20.04	8.79
20年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4220	102.8	8.61	2.76	6.44	17.81	7.52	0.87	0.21	0.65	1.73	0.73	0.38	0.16	19.92	8.40
21年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4057	102.8	8.54	2.73	6.43	17.70	7.18	0.86	0.21	0.65	1.72	0.70	0.37	0.15	19.79	8.03
22年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3901	102.8	8.47	2.70	6.42	17.59	6.86	0.85	0.21	0.65	1.71	0.67	0.37	0.14	19.67	7.67
23年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3751	102.8	8.40	2.67	6.41	17.48	6.56	0.85	0.21	0.65	1.70	0.64	0.37	0.14	19.55	7.33
24年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3607	102.8	8.33	2.64	6.40	17.37	6.27	0.84	0.21	0.64	1.69	0.61	0.37	0.13	19.43	7.01
25年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3468	102.8	8.26	2.61	6.39	17.26	5.99	0.83	0.20	0.64	1.68	0.58	0.36	0.13	19.30	6.69
26年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3335	102.8	8.19	2.58	6.38	17.15	5.72	0.82	0.20	0.64	1.67	0.56	0.36	0.12	19.18	6.40
27年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3207	102.8	8.12	2.55	6.37	17.04	5.46	0.82	0.20	0.64	1.66	0.53	0.36	0.11	19.06	6.11
28年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.3083	102.8	8.05	2.52	6.36	16.93	5.22	0.81	0.20	0.64	1.65	0.51	0.36	0.11	18.93	5.84
29年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2965	102.8	7.98	2.49	6.35	16.82	4.99	0.80	0.19	0.64	1.64	0.49	0.35	0.10	18.81	5.58
30年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2851	102.8	7.91	2.46	6.34	16.71	4.76	0.80	0.19	0.64	1.63	0.46	0.35	0.10	18.69	5.33
31年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2741	102.8	7.84	2.43	6.33	16.60	4.55	0.79	0.19	0.64	1.62	0.44	0.35	0.10	18.57	5.09
32年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2636	102.8	7.77	2.40	6.32	16.49	4.35	0.78	0.19	0.64	1.61	0.42	0.34	0.09	18.44	4.86
33年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2534	102.8	7.70	2.37	6.31	16.38	4.15	0.78	0.18	0.64	1.59	0.40	0.34	0.09	18.32	4.64
34年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2437	102.8	7.63	2.34	6.30	16.28	3.97	0.77	0.18	0.63	1.58	0.39	0.34	0.08	18.20	4.43
35年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2343	102.8	7.57	2.31	6.29	16.17	3.79	0.76	0.18	0.63	1.57	0.37	0.34	0.08	18.08	4.24
36年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2253	102.8	7.50	2.28	6.28	16.06	3.62	0.75	0.18	0.63	1.56	0.35	0.33	0.08	17.96	4.05
37年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2166	102.8	7.43	2.25	6.27	15.95	3.46	0.75	0.17	0.63	1.55	0.34	0.33	0.07	17.83	3.86
38年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2083	102.8	7.36	2.22	6.26	15.84	3.30	0.74	0.17	0.63	1.54	0.32	0.33	0.07	17.71	3.69
39年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.2003	102.8	7.29	2.19	6.25	15.73	3.15	0.73	0.17	0.63	1.53	0.31	0.32	0.07	17.59	3.52
40年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1926	102.8	7.22	2.17	6.24	15.63	3.01	0.73	0.17	0.63	1.52	0.29	0.32	0.06	17.47	3.36
41年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1852	102.8	7.16	2.14	6.23	15.52	2.87	0.72	0.17	0.63	1.51	0.28	0.32	0.06	17.35	3.21
42年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1780	102.8	7.09	2.11	6.22	15.41	2.74	0.71	0.16	0.63	1.50	0.27	0.32	0.06	17.23	3.07
43年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1712	102.8	7.02	2.08	6.21	15.30	2.62	0.71	0.16	0.62	1.49	0.26	0.31	0.05	17.11	2.93
44年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1646	102.8	6.95	2.05	6.20	15.20	2.50	0.70	0.16	0.62	1.48	0.24	0.31	0.05	16.99	2.80
45年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1583	102.8	6.88	2.02	6.19	15.09	2.39	0.69	0.16	0.62	1.47	0.23	0.31	0.05	16.87	2.67
46年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1522	102.8	6.82	1.99	6.18	14.99	2.28	0.69	0.15	0.62	1.46	0.22	0.31	0.05	16.75	2.55
47年目	R 51	0.99009	0.98569	0.99833	0.99121	0.1463	102.8	6.75	1.96	6.17	14.88	2.18	0.68	0.15	0.62	1.45	0.21	0.30	0.04	16.64	2.43
48年目	R 52	0.99003	0.98556	0.99833	0.99116	0.1407	102.8	6.68	1.94	6.16	14.77	2.08	0.67	0.15	0.62	1.44	0.20	0.30	0.04	16.52	2.32
49年目	R 53	0.98996	0.98543	0.99833	0.99110	0.1353	102.8	6.62	1.91	6.14	14.67	1.98	0.67	0.15	0.62	1.43	0.19	0.30	0.04	16.40	2.22
合 計								412.43	132.12	317.60	862.15	371.81	41.51	10.26	31.98	83.75	36.06	18.15	7.90	964.05	415.76

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	熊野尾鷲道路(Ⅱ期)	2	5.4km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					32,413		
	改良費					6,567	
		土工	m <sup>3</sup>	584,000	1,915		
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>				
		法面工	m <sup>2</sup>	45,000	251	切土法面、盛土法面	
		擁壁工	式	1	720	補強土壁、大型ブロック擁壁等	
		管渠工	m	37	1		
		函渠工	m		170		
		排水工	m	7,163	110		
		中央分離帯工	m	1,110	100		
	雑工	式	1	3,300	工事用道路		
	橋梁費					4,510	
		100m以上	m	546	4,035	4橋	
		100m未満	m	87	475	2橋	
	トンネル費					20,027	
		NATM	m	3,842	20,027	4本	
		シールド	m				
	IC・JCT費					510	
		IC	箇所	2	510		
		JCT	箇所				
	舗装費					564	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	14,300	564		
		歩道舗装	m <sup>2</sup>				
付帯施設費					235		
	交通管理施設工	式	1	235	防護柵工等		
	遮音壁	m					
②用地及補償費					1,614		
用地費					378		
	宅地	m <sup>2</sup>	106,491	135			
	田畑	m <sup>2</sup>	1,580	23			
	山林・原野	m <sup>2</sup>	62,648	42			
	その他	m <sup>2</sup>	34,896	178			
補償費	式	1	1,236				
③間接経費	式	1	3,973	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費			
全体事業費					38,000		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	熊野尾鷲道路(Ⅱ期)	2	5.4km

## ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				5,578	
	改良費				1,225	
		土工	m <sup>3</sup>	67,800	576	
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	8,400	171	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1		補強土壁、大型ブロック擁壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	1,170	18	
		中央分離帯工	m	1,110	100	
		雑工	式	1	360	工事用道路
	橋梁費				44	
		100m以上	m			4橋
		100m未満	m	37	44	2橋
	トンネル費				3,635	
		NATM	m	3,842	3,635	4本
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所	2		
		JCT	箇所			
	舗装費				439	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	14,300	439	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費				235	
		交通管理施設工	式	1	235	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費					
	用地費		m <sup>2</sup>			
		宅地	m <sup>2</sup>			
		田畑	m <sup>2</sup>			
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式			
③	間接経費		式		474	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				6,052	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	熊野尾鷲道路(Ⅱ期)	2	5.4km

■維持管理費内訳(事業全体、残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.4	1,550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,400	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道42号（近畿自動車道紀勢線） 熊野道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：三重県熊野市大泊町 至：三重県熊野市久生屋町	延長	6.7 km		
<b>事業概要</b>					
<p>一般国道42号熊野道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となり高速道路ネットワークを形成する道路であり、三重県熊野市大泊町から熊野市久生屋町に至る延長6.7kmの区間である。</p> <p>並行する一般国道42号では、南海トラフ巨大地震等の大規模地震における緊急輸送道路の確保、高次救急医療施設へのアクセス等に課題があり、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援等を目的に整備を進めている。</p>					
H26年度事業化	H28年度用地着手	令和元年度工事着手			
全体事業費	350億円	事業進捗率（令和2年3月末時点）	約13%	供用済延長	0.0km
計画交通量	9,400台/日				
費用対効果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)
分析結果	(事業全体) 1.1 (1.01) (残事業) 1.8 (1.2)	2,943/4,627億円 事業費：2,579/4,263億円 維持管理費：364/364億円		5,189/5,189億円 走行時間短縮便益：4,666/4,666億円 走行経費減少便益：400/400億円 交通事故減少便益：123/123億円	基準年 令和2年
<b>感度分析の結果</b>					
(事業全体) 交通量	：B/C=0.9~1.4（交通量±10%）		(残事業) 交通量	：B/C=1.4~2.2（交通量±10%）	
事業費	：B/C=1.1~1.2（事業費±10%）		事業費	：B/C=1.6~1.9（事業費±10%）	
事業期間	：B/C=1.03~1.3（事業期間±20%）		事業期間	：B/C=1.6~2.0（事業期間±20%）	
<b>事業の効果等</b>					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（三重交通名古屋南紀高速線等）が存在する ②物流効率化の支援 ・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り。 ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト（防災公園（球場等））、大規模イベント（第76回国民体育大会）を支援する。 ・主要な観光地（世界遺産熊野古道）へのアクセス向上が期待される。 ⑤安全で安心できるくらしの確保。 ・三次医療施設（伊勢赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。 ⑥災害への備え ・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する。 ・第一次緊急輸送道路として位置付けられている。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間（立石南~熊野大泊IC交差点間）の代替路線を形成する。 ・高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 ⑨他のプロジェクトとの関係 ・関連する大規模道路事業（近畿自動車道紀勢線）と一体的に整備する必要あり。					

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会、近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）建設促進規制同盟会等より近畿自動車道紀勢線の全線早期完成の要望を受けている。

知事の意見：

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

一般国道42号熊野道路は、広域的な交流・連携の促進を支えるとともに、近年頻発化・激甚化する台風・豪雨災害や、発生が危惧される南海トラフ地震による津波発生時において、現道(国道42号)とのダブルネットワークを形成し、災害時の救助・救急、医療活動を支える「命の道」となる重要な道路です。

特に、第二次救急医療施設である尾鷲総合病院への搬送時間短縮により救急医療活動を支える極めて重要な道路となります。

また、当県では、平成29年度から熊野道路の用地取得業務を担う組織を設置して用地所得に精力的に取り組み、円滑な事業環境の確保を図っているところです。

よって、対応方針（原案）のとおり事業継続し、一日も早く供用されることを求めます。

なお、事業実施にあたっては、全体事業費が大幅に増となっていることから、さらなるコスト縮減に努められたい。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 高速道路ネットワークの整備により、愛知県や関東方面からの観光客が増加。
- ・ 平成28年度は、「熊野トレイルランニングレース」が世界選手権代表選考大会に指定されたことで東海・近畿地域からの参加者が増加傾向。
- ・ また、平成31年度には紀勢線が全線事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 事業進捗率は約13%。用地取得率は約85%（令和2年3月末時点）
- ・ 調査設計、設計協議、用地買収、工事を推進。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 平成26年度より事業着手しており、早期開通に向けて用地買収および工事を推進。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道42号 熊野道路
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)=1.01(経済的純現在価値(B-C)=2.2億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.0%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.2(経済的純現在価値(B-C)=55億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.2%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
i.活力	円滑なモビリティの確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):355.9万人・時間/年 渋滞損失削減時間:53.6万人・時間/年(355.9万人・時間/年⇒302.3万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:(国道42号) 並行区間の渋滞損失時間:40.1万人・時間/年(立石南～熊野大泊IC交差点間) 並行区間の渋滞損失削減率:約4割削減(立石南～熊野大泊IC交差点間)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	三重交通：熊野新宮線 三重交通：名古屋南紀高速線 三重交通・西武バス：高速南紀大宮線(南紀勝浦線)
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	近畿自動車道紀勢線との一体整備により農林水産物の大都市への輸送時間短縮、みかん:中京市場へ60%、県内へ21%、大阪市場へ7%出荷
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1.活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	並行する高速道路路線:近畿自動車道紀勢線
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	第76回 国民体育大会(令和3年三重県開催 熊野市:ソフトボール(成年女子)、ラグビー、尾鷲市:水泳、紀北町:ソフトボール(少年女子)) スポーツ交流施設を兼ねた防災公園(令和2年度までに整備)
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	世界遺産熊野古道(H31・R1 年間観光客入り込み数 約38万人/年)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	

2.暮らし	歩行者・自転車 のための生活空間 の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できる くらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	伊勢赤十字病院(第3次救急医療施設)へのアクセスが向上(御浜町役場、100分 ⇒98分)
3.安全	安全な生活環境 の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量が100人/日以上(当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input checked="" type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	鬼ヶ城トンネル
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	三重県緊急輸送道路ネットワーク計画:第一次緊急輸送道路
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道42号(鬼ヶ城トンネル区間)が通行止め時の代替路(立石南~熊野大泊IC交差点間)
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A路線としての位置づけがある場合)	並行する高速道路路線:近畿自動車道紀勢線
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4.環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:3.2千t-CO2/年(39.5千t-CO2/年 ⇒ 36.3千t-CO2/年)
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	自動車NOx・PM法対策地域指定の別:対象地域を含まない (推計結果) 評価対象区間(並行区間):国道42号(立石南~熊野大泊IC交差点間) 排出削減量:約12.3t/年、排出削減率:約7割削減 熊野道路区間 Nox排出増加量:9.8t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	自動車NOx・PM法対策地域指定の別:対象地域を含まない (推計結果) 評価対象区間(並行区間):国道42号(立石南~熊野大泊IC交差点間) 排出削減量:約0.7t/年、排出削減率:約7割削減 熊野道路区間 Nox排出増加量:約0.5t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5.その他	他のプロジェクトとの 関係	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	近畿自動車道紀勢線
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	熊野道路	L=6.7km	高規格A'	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,400	2	中部地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	320億円	75億円	395億円
うち残事業分	269億円	75億円	344億円
基準年における 現在価値(C)	278億円	24億円	303億円
うち残事業分	225億円	24億円	250億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和10年度			
単年便益 (初年便益)	18億円	2.1億円	0.53億円	21億円
基準年における 現在価値(B)	266億円	32億円	7.8億円	305億円
うち残事業分	266億円	32億円	7.8億円	305億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.01
経済的純現在価値(B-C)	2.2 億円
経済的内部収益率(EIRR)	4.0%
費用便益比(残事業)	1.2
経済的純現在価値(残事業)	55億円
経済的内部収益率(残事業)	5.2%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	9,400台/日	±10%	0.9~1.1
事業費	320億円	±10%	0.9~1.1
事業期間	14年	±20%	0.9~1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	9,400台/日	±10%	1.1~1.3
事業費	269億円	±10%	1.1~1.3
事業期間	7年	±20%	1.1~1.3



## 交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道42号 熊野道路（事業全体、残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間：5.3km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	-	9,400	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	-	4	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	-	7.28	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道42号 :5.0km	交通量	[台/日]	15,500	8,100
		走行時間	[分]	10	7
		走行時間費用	[億円/年]	29.32	10.73
	(一) 鵜殿熊野線 :2.2km	交通量	[台/日]	7,200	3,200
		走行時間	[分]	5	4
		走行時間費用	[億円/年]	6.06	2.53
③その他の道路合計 247.1km	走行時間費用	[億円/年]	113.89	110.74	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 259.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	149.27	131.28	17.99

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

【図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



## 費用便益分析の条件

事業名：一般国道42号 熊野道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の 考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在 した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を 用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:一般国道42号 熊野道路

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				

## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道42号 熊野道路（事業全体）				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）	
				0.31	5.3	1.65	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H 26	1.2653	101.5	0.93	1.19		
-13年目	H 27	1.2167	103.0	0.93	1.12		
-12年目	H 28	1.1699	102.8	0.93	1.09		
-11年目	H 29	1.1249	102.9	2.41	2.71		
-10年目	H 30	1.0816	102.8	6.53	7.07		
-9年目	R 1	1.0400	102.8	21.58	22.45		
基準年	R 2	1.0000	102.8	17.94	17.94		
-7年目	R 3	0.9615	102.8	25.81	24.81		
-6年目	R 4	0.9246	102.8	33.89	31.33		
-5年目	R 5	0.8890	102.8	31.97	28.43		
-4年目	R 6	0.8548	102.8	34.54	29.53		
-3年目	R 7	0.8219	102.8	40.91	33.62		
-2年目	R 8	0.7903	102.8	55.45	43.83		
-1年目	R 9	0.7599	102.8	45.95	34.92		
供用開始年次	R 10	0.7307	102.8			1.50	1.10
1年目	R 11	0.7026	102.8			1.50	1.05
2年目	R 12	0.6756	102.8			1.50	1.01
3年目	R 13	0.6496	102.8			1.50	0.97
4年目	R 14	0.6246	102.8			1.50	0.94
5年目	R 15	0.6006	102.8			1.50	0.90
6年目	R 16	0.5775	102.8			1.50	0.87
7年目	R 17	0.5553	102.8			1.50	0.83
8年目	R 18	0.5339	102.8			1.50	0.80
9年目	R 19	0.5134	102.8			1.50	0.77
10年目	R 20	0.4936	102.8			1.50	0.74
11年目	R 21	0.4746	102.8			1.50	0.71
12年目	R 22	0.4564	102.8			1.50	0.68
13年目	R 23	0.4388	102.8			1.50	0.66
14年目	R 24	0.4220	102.8			1.50	0.63
15年目	R 25	0.4057	102.8			1.50	0.61
16年目	R 26	0.3901	102.8			1.50	0.59
17年目	R 27	0.3751	102.8			1.50	0.56
18年目	R 28	0.3607	102.8			1.50	0.54
19年目	R 29	0.3468	102.8			1.50	0.52
20年目	R 30	0.3335	102.8			1.50	0.50
21年目	R 31	0.3207	102.8			1.50	0.48
22年目	R 32	0.3083	102.8			1.50	0.46
23年目	R 33	0.2965	102.8			1.50	0.44
24年目	R 34	0.2851	102.8			1.50	0.43
25年目	R 35	0.2741	102.8			1.50	0.41
26年目	R 36	0.2636	102.8			1.50	0.40
27年目	R 37	0.2534	102.8			1.50	0.38
28年目	R 38	0.2437	102.8			1.50	0.37
29年目	R 39	0.2343	102.8			1.50	0.35
30年目	R 40	0.2253	102.8			1.50	0.34
31年目	R 41	0.2166	102.8			1.50	0.32
32年目	R 42	0.2083	102.8			1.50	0.31
33年目	R 43	0.2003	102.8			1.50	0.30
34年目	R 44	0.1926	102.8			1.50	0.29
35年目	R 45	0.1852	102.8			1.50	0.28
36年目	R 46	0.1780	102.8			1.50	0.27
37年目	R 47	0.1712	102.8			1.50	0.26
38年目	R 48	0.1646	102.8			1.50	0.25
39年目	R 49	0.1583	102.8			1.50	0.24
40年目	R 50	0.1522	102.8			1.50	0.23
41年目	R 51	0.1463	102.8			1.50	0.22
42年目	R 52	0.1407	102.8			1.50	0.21
43年目	R 53	0.1353	102.8			1.50	0.20
44年目	R 54	0.1301	102.8			1.50	0.20
45年目	R 55	0.1251	102.8			1.50	0.19
46年目	R 56	0.1203	102.8			1.50	0.18
47年目	R 57	0.1157	102.8			1.50	0.17
48年目	R 58	0.1112	102.8			1.50	0.17
49年目	R 59	0.1069	102.8	-15.37	-1.64	1.50	0.16
合計				304.41	278.39	75.00	24.49
単純事業費計				319.78		75.00	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名：一般国道42号 熊野道路（残事業）				単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）	
				0.31	5.3	1.65	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
基準年	R 2	1.0000	102.8				
-7年目	R 3	0.9615	102.8	25.81	24.81		
-6年目	R 4	0.9246	102.8	33.89	31.33		
-5年目	R 5	0.8890	102.8	31.97	28.43		
-4年目	R 6	0.8548	102.8	34.54	29.53		
-3年目	R 7	0.8219	102.8	40.91	33.62		
-2年目	R 8	0.7903	102.8	55.45	43.83		
-1年目	R 9	0.7599	102.8	45.95	34.92		
供用開始年次	R 10	0.7307	102.8			1.50	1.10
1年目	R 11	0.7026	102.8			1.50	1.05
2年目	R 12	0.6756	102.8			1.50	1.01
3年目	R 13	0.6496	102.8			1.50	0.97
4年目	R 14	0.6246	102.8			1.50	0.94
5年目	R 15	0.6006	102.8			1.50	0.90
6年目	R 16	0.5775	102.8			1.50	0.87
7年目	R 17	0.5553	102.8			1.50	0.83
8年目	R 18	0.5339	102.8			1.50	0.80
9年目	R 19	0.5134	102.8			1.50	0.77
10年目	R 20	0.4936	102.8			1.50	0.74
11年目	R 21	0.4746	102.8			1.50	0.71
12年目	R 22	0.4564	102.8			1.50	0.68
13年目	R 23	0.4388	102.8			1.50	0.66
14年目	R 24	0.4220	102.8			1.50	0.63
15年目	R 25	0.4057	102.8			1.50	0.61
16年目	R 26	0.3901	102.8			1.50	0.59
17年目	R 27	0.3751	102.8			1.50	0.56
18年目	R 28	0.3607	102.8			1.50	0.54
19年目	R 29	0.3468	102.8			1.50	0.52
20年目	R 30	0.3335	102.8			1.50	0.50
21年目	R 31	0.3207	102.8			1.50	0.48
22年目	R 32	0.3083	102.8			1.50	0.46
23年目	R 33	0.2965	102.8			1.50	0.44
24年目	R 34	0.2851	102.8			1.50	0.43
25年目	R 35	0.2741	102.8			1.50	0.41
26年目	R 36	0.2636	102.8			1.50	0.40
27年目	R 37	0.2534	102.8			1.50	0.38
28年目	R 38	0.2437	102.8			1.50	0.37
29年目	R 39	0.2343	102.8			1.50	0.35
30年目	R 40	0.2253	102.8			1.50	0.34
31年目	R 41	0.2166	102.8			1.50	0.32
32年目	R 42	0.2083	102.8			1.50	0.31
33年目	R 43	0.2003	102.8			1.50	0.30
34年目	R 44	0.1926	102.8			1.50	0.29
35年目	R 45	0.1852	102.8			1.50	0.28
36年目	R 46	0.1780	102.8			1.50	0.27
37年目	R 47	0.1712	102.8			1.50	0.26
38年目	R 48	0.1646	102.8			1.50	0.25
39年目	R 49	0.1583	102.8			1.50	0.24
40年目	R 50	0.1522	102.8			1.50	0.23
41年目	R 51	0.1463	102.8			1.50	0.22
42年目	R 52	0.1407	102.8			1.50	0.21
43年目	R 53	0.1353	102.8			1.50	0.20
44年目	R 54	0.1301	102.8			1.50	0.20
45年目	R 55	0.1251	102.8			1.50	0.19
46年目	R 56	0.1203	102.8			1.50	0.18
47年目	R 57	0.1157	102.8			1.50	0.17
48年目	R 58	0.1112	102.8			1.50	0.17
49年目	R 59	0.1069	102.8	-9.39	-1.00	1.50	0.16
合計				259.15	225.47	75.00	24.49
単純事業費計				268.54		75.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道42号 熊野道路（事業全体、残事業）

年次	年度	総走行台数の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7307	102.8	10.45	3.42	4.16	18.03	13.17	1.30	0.29	0.54	2.13	1.56	0.53	0.39	20.70	15.12
1年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.7026	102.8	10.45	3.37	4.20	18.01	12.65	1.30	0.29	0.55	2.13	1.50	0.53	0.37	20.67	14.53
2年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6756	102.8	10.44	3.32	4.23	17.99	12.15	1.30	0.29	0.55	2.13	1.44	0.53	0.36	20.65	13.95
3年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6496	102.8	10.37	3.28	4.22	17.87	11.61	1.29	0.28	0.55	2.12	1.38	0.53	0.34	20.52	13.33
4年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6246	102.8	10.29	3.25	4.22	17.76	11.09	1.28	0.28	0.55	2.11	1.32	0.52	0.33	20.39	12.73
5年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.6006	102.8	10.21	3.22	4.21	17.64	10.60	1.27	0.28	0.55	2.09	1.26	0.52	0.31	20.26	12.17
6年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5775	102.8	10.14	3.19	4.20	17.53	10.12	1.26	0.27	0.55	2.08	1.20	0.52	0.30	20.12	11.62
7年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5553	102.8	10.06	3.16	4.20	17.41	9.67	1.25	0.27	0.55	2.07	1.15	0.51	0.29	19.99	11.10
8年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5339	102.8	9.98	3.12	4.19	17.30	9.23	1.24	0.27	0.55	2.06	1.10	0.51	0.27	19.86	10.60
9年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5134	102.8	9.91	3.09	4.18	17.18	8.82	1.23	0.27	0.55	2.04	1.05	0.51	0.26	19.73	10.13
10年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4936	102.8	9.83	3.06	4.18	17.06	8.42	1.22	0.26	0.55	2.03	1.00	0.50	0.25	19.60	9.67
11年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4746	102.8	9.75	3.03	4.17	16.95	8.04	1.21	0.26	0.55	2.02	0.96	0.50	0.24	19.46	9.24
12年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4564	102.8	9.67	3.00	4.16	16.83	7.68	1.20	0.26	0.54	2.00	0.91	0.50	0.23	19.33	8.82
13年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4388	102.8	9.60	2.96	4.16	16.72	7.34	1.19	0.26	0.54	1.99	0.87	0.49	0.22	19.20	8.43
14年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4220	102.8	9.52	2.93	4.15	16.60	7.01	1.18	0.25	0.54	1.98	0.83	0.49	0.21	19.07	8.05
15年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4057	102.8	9.44	2.90	4.14	16.49	6.69	1.17	0.25	0.54	1.96	0.80	0.48	0.20	18.94	7.68
16年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3901	102.8	9.37	2.87	4.14	16.37	6.39	1.16	0.25	0.54	1.95	0.76	0.48	0.19	18.80	7.34
17年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3751	102.8	9.29	2.84	4.13	16.26	6.10	1.15	0.24	0.54	1.94	0.73	0.48	0.18	18.67	7.00
18年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3607	102.8	9.21	2.80	4.12	16.14	5.82	1.14	0.24	0.54	1.92	0.69	0.47	0.17	18.54	6.69
19年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3468	102.8	9.14	2.77	4.12	16.03	5.56	1.13	0.24	0.54	1.91	0.66	0.47	0.16	18.41	6.38
20年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3335	102.8	9.06	2.74	4.11	15.91	5.31	1.12	0.24	0.54	1.90	0.63	0.47	0.16	18.27	6.09
21年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3207	102.8	8.98	2.71	4.10	15.79	5.06	1.11	0.23	0.54	1.88	0.60	0.46	0.15	18.14	5.82
22年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.3083	102.8	8.91	2.68	4.10	15.68	4.83	1.10	0.23	0.54	1.87	0.58	0.46	0.14	18.01	5.55
23年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2965	102.8	8.83	2.64	4.09	15.56	4.61	1.09	0.23	0.54	1.86	0.55	0.46	0.14	17.88	5.30
24年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2851	102.8	8.75	2.61	4.08	15.45	4.40	1.09	0.22	0.53	1.84	0.53	0.45	0.13	17.75	5.06
25年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2741	102.8	8.68	2.58	4.08	15.33	4.20	1.08	0.22	0.53	1.83	0.50	0.45	0.12	17.61	4.83
26年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2636	102.8	8.60	2.55	4.07	15.22	4.01	1.07	0.22	0.53	1.82	0.48	0.45	0.12	17.48	4.61
27年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2534	102.8	8.52	2.52	4.06	15.10	3.83	1.06	0.22	0.53	1.81	0.46	0.44	0.11	17.35	4.40
28年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2437	102.8	8.45	2.48	4.06	14.99	3.65	1.05	0.21	0.53	1.79	0.44	0.44	0.11	17.22	4.20
29年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2343	102.8	8.37	2.45	4.05	14.88	3.49	1.04	0.21	0.53	1.78	0.42	0.44	0.10	17.09	4.00
30年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2253	102.8	8.29	2.42	4.04	14.76	3.33	1.03	0.21	0.53	1.77	0.40	0.43	0.10	16.96	3.82
31年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2166	102.8	8.22	2.39	4.04	14.65	3.17	1.02	0.21	0.53	1.75	0.38	0.43	0.09	16.83	3.65
32年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2083	102.8	8.14	2.36	4.03	14.53	3.03	1.01	0.20	0.53	1.74	0.36	0.42	0.09	16.70	3.48
33年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.2003	102.8	8.07	2.33	4.02	14.42	2.89	1.00	0.20	0.53	1.73	0.35	0.42	0.08	16.57	3.32
34年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1926	102.8	7.99	2.30	4.02	14.31	2.76	0.99	0.20	0.53	1.71	0.33	0.42	0.08	16.44	3.17
35年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1852	102.8	7.92	2.27	4.01	14.19	2.63	0.98	0.20	0.52	1.70	0.32	0.41	0.08	16.31	3.02
36年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1780	102.8	7.84	2.24	4.00	14.08	2.51	0.97	0.19	0.52	1.69	0.30	0.41	0.07	16.18	2.88
37年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1712	102.8	7.77	2.21	4.00	13.97	2.39	0.96	0.19	0.52	1.68	0.29	0.41	0.07	16.05	2.75
38年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1646	102.8	7.69	2.17	3.99	13.86	2.28	0.95	0.19	0.52	1.66	0.27	0.40	0.07	15.92	2.62
39年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1583	102.8	7.62	2.14	3.98	13.75	2.18	0.94	0.18	0.52	1.65	0.26	0.40	0.06	15.80	2.50
40年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1522	102.8	7.54	2.11	3.98	13.63	2.08	0.94	0.18	0.52	1.64	0.25	0.40	0.06	15.67	2.38
41年目	R 51	0.99009	0.98569	0.99833	0.99121	0.1463	102.8	7.47	2.08	3.97	13.52	1.98	0.93	0.18	0.52	1.63	0.24	0.39	0.06	15.54	2.27
42年目	R 52	0.99003	0.98556	0.99833	0.99116	0.1407	102.8	7.39	2.05	3.96	13.41	1.89	0.92	0.18	0.52	1.61	0.23	0.39	0.05	15.42	2.17
43年目	R 53	0.98996	0.98543	0.99833	0.99110	0.1353	102.8	7.32	2.02	3.96	13.30	1.80	0.91	0.17	0.52	1.60	0.22	0.39	0.05	15.29	2.07
44年目	R 54	0.98989	0.98531	0.99833	0.99105	0.1301	102.8	7.25	2.00	3.95	13.19	1.72	0.90	0.17	0.52	1.59	0.21	0.38	0.05	15.16	1.97
45年目	R 55	0.98982	0.98518	0.99832	0.99099	0.1251	102.8	7.17	1.97	3.94	13.08	1.64	0.89	0.17	0.52	1.58	0.20	0.38	0.05	15.04	1.88
46年目	R 56	0.98976	0.98506	0.99832	0.99094	0.1203	102.8	7.10	1.94	3.94	12.98	1.56	0.88	0.17	0.52	1.56	0.19	0.38	0.05	14.91	1.79
47年目	R 57	0.98969	0.98493	0.99832	0.99088	0.1157	102.8	7.03	1.91	3.93	12.87	1.49	0.87	0.16	0.51	1.55	0.18	0.37	0.04	14.79	1.71
48年目	R 58	0.98962	0.98480	0.99831	0.99083	0.1112															



路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	熊野道路	2	6.7km

## ■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				28,501	
	改良費				5,539	
		土工	m <sup>3</sup>	786,000	1,707	
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	480,000	2,300	
		法面工	m <sup>2</sup>	50,000	110	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1		
		管渠工	m			
		函渠工	m	77	71	
		排水工	m	3,037	141	
		中央分離帯工	m	6,700	74	
		雑工	式	1	1,136	機能補償道路(W=5.0m),工用道路,雑工事等
	橋梁費				8,548	
		100m以上	m	1,192	7,479	
		100m未満	m	99	1,069	
	トンネル費				12,676	
		NATM	m	3,954	12,676	
		シールド	m			
	IC・JCT費				1,174	
		IC	箇所	2	1,174	ダイヤモンドIC
		JCT	箇所			
	舗装費				283	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	28,833	283	
		その他舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費				281	
		交通管理施設工	式	1	281	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				2,615	
	用地費		m <sup>2</sup>	197,000	1,537	
		宅地	m <sup>2</sup>	20,000	300	
		田畑	m <sup>2</sup>	120,000	1,140	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	53,000	50	
		その他	m <sup>2</sup>	4,000	47	
	補償費		式	1	1,078	
③	間接経費		式	1	3,884	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				35,000	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	熊野道路	2	6.7km

### ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				26,096	
	改良費				4,962	
		土工	m <sup>3</sup>	786,000	1,707	
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	480,000	2,300	
		法面工	m <sup>2</sup>	50,000	110	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1		
		管渠工	m			
		函渠工	m	77	71	
		排水工	m	3,037	141	
		中央分離帯工	m	6,700	74	
		雑工	式	1	559	機能補償道路(W=5.0m),工用道路,雑工事等
	橋梁費				6,720	
		100m以上	m	1,192	5,651	
		100m未満	m	99	1,069	
	トンネル費				12,676	
		NATM	m	3,954	12,676	
		シールド	m			
	IC・JCT費				1,174	
		IC	箇所	2	1,174	ダイヤモンドIC
		JCT	箇所			
	舗装費				283	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	28,833	283	
		その他舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費				281	
		交通管理施設工	式	1	281	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				1,522	
	用地費		m <sup>2</sup>	120,357	939	
		宅地	m <sup>2</sup>	12,213	183	
		田畑	m <sup>2</sup>	73,274	696	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	32,436	31	
		その他	m <sup>2</sup>	2,434	29	
	補償費		式	1	583	
③	間接経費		式	1	1,827	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				29,445	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	熊野道路	2	5.3km

■維持管理費内訳(事業全体、残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.3	1,500	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,750	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,250	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道42号（近畿自動車道紀勢線） 紀宝熊野道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局												
起終点	自：三重県熊野市久生屋町 至：三重県南牟婁郡紀宝町神内	延長	15.6 km														
事業概要	<p>一般国道42号紀宝熊野道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となり高速道路ネットワークを形成する道路であり、熊野市久生屋町から南牟婁郡紀宝町神内に至る延長15.6kmの区間である。</p> <p>並行する一般国道42号では、南海トラフ巨大地震等の大規模地震における緊急輸送道路の確保、高次救急医療施設へのアクセス等に課題があり、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援等を目的に整備を進めている。</p>																
H31年度事業化	令和2年度用地買収着手																
全体事業費	849億円	事業進捗率（令和2年3月末時点）	約1%	供用済延長	0.0km												
計画交通量	12,200台/日																
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体) 1.1 (0.97)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 2,943/4,627 億円</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 5,189/5,189 億円</td> <td style="text-align: center;">令和2年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業) 1.8 (0.97)</td> <td style="text-align: center;">事業費：2,579/4,263 億円 維持管理費：364/364 億円</td> <td style="text-align: center;">走行時間短縮便益：4,666/4,666 億円 走行経費減少便益：400/400 億円 交通事故減少便益：123/123 億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 1.1 (0.97)	(残事業)/(事業全体) 2,943/4,627 億円	(残事業)/(事業全体) 5,189/5,189 億円	令和2年	(残事業) 1.8 (0.97)	事業費：2,579/4,263 億円 維持管理費：364/364 億円	走行時間短縮便益：4,666/4,666 億円 走行経費減少便益：400/400 億円 交通事故減少便益：123/123 億円					
B/C	総費用	総便益	基準年														
(事業全体) 1.1 (0.97)	(残事業)/(事業全体) 2,943/4,627 億円	(残事業)/(事業全体) 5,189/5,189 億円	令和2年														
(残事業) 1.8 (0.97)	事業費：2,579/4,263 億円 維持管理費：364/364 億円	走行時間短縮便益：4,666/4,666 億円 走行経費減少便益：400/400 億円 交通事故減少便益：123/123 億円															
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=0.9~1.4（交通量±10%）</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=1.4~2.2（交通量±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.1~1.2（事業費±10%）</td> <td>事業費：B/C=1.6~1.9（事業費±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.03~1.3（事業期間±20%）</td> <td>事業期間：B/C=1.6~2.0（事業期間±20%）</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C=0.9~1.4（交通量±10%）	(残事業) 交通量：B/C=1.4~2.2（交通量±10%）	事業費：B/C=1.1~1.2（事業費±10%）	事業費：B/C=1.6~1.9（事業費±10%）	事業期間：B/C=1.03~1.3（事業期間±20%）	事業期間：B/C=1.6~2.0（事業期間±20%）						
(事業全体) 交通量：B/C=0.9~1.4（交通量±10%）	(残事業) 交通量：B/C=1.4~2.2（交通量±10%）																
事業費：B/C=1.1~1.2（事業費±10%）	事業費：B/C=1.6~1.9（事業費±10%）																
事業期間：B/C=1.03~1.3（事業期間±20%）	事業期間：B/C=1.6~2.0（事業期間±20%）																
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。</li> <li>・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（三重交通名古屋南紀高速線等）が存在する</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる。</li> </ul> <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り。</li> <li>・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡するルートを構成する。</li> <li>・日常都市圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点開発プロジェクト（防災公園（球場等））、大規模イベント（第76回国民体育大会）を支援する。</li> <li>・主要な観光地（世界遺産熊野古道）へのアクセス向上が期待される。</li> </ul> <p>⑤安全で安心できるくらしの確保。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（伊勢赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次緊急輸送道路として位置付けられている</li> <li>・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間（立石南～飯盛西交差点間）の代替路線を形成する。</li> <li>・高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り。</li> </ul> <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減が見込まれる。</li> </ul> <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NO2排出量の削減が見込まれる。</li> <li>・SPM排出量の削減が見込まれる。</li> </ul> <p>⑨他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する大規模道路事業（近畿自動車道紀勢線）と一体的に整備する必要あり。</li> </ul>																

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会、近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）建設促進規制同盟会等より近畿自動車道紀勢線の全線早期完成の要望を受けている。

知事の意見：

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

一般国道42号紀宝熊野道路は、広域的な交流・連携の促進を支えるとともに、近年頻発化・激甚化する台風・豪雨災害や、発生が危惧される南海トラフ地震による津波発生時において、現道（国道42号）とのダブルネットワークを形成し、災害時の救助・救急、医療活動を支える「命の道」となる重要な道路です。

特に、第二次救急医療施設である紀南病院への搬送時間短縮により救急医療活動を支える極めて重要な道路となります。

御浜インターチェンジ（仮称）位置の変更については、紀南病院へのアクセス性が向上し、平時・災害時ともに道路ネットワーク機能の強化が期待されることから、沿線自治体もこれを望んでいます。

よって、対応方針（原案）のとおり事業継続し、一日も早く供用されることを求めます。

なお、当県としても、インターチェンジが接続する道路の整備について、紀宝熊野道路の整備に遅れることなく、御浜町と連携して進めてまいります。

また、事業環境の確保のため、近畿道紀勢線推進プロジェクトチームを設置しており、用地取得や事業調整に取り組みます。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・平成31年度に紀勢線が全線事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・事業進捗率は約1%。用地取得率は0%（令和2年3月末時点）  
 ・調査設計及び用地買収を推進。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・平成31年度より事業着手しており、早期開通に向けて調査設計及び用地買収を推進。

施設の構造や工法の変更等

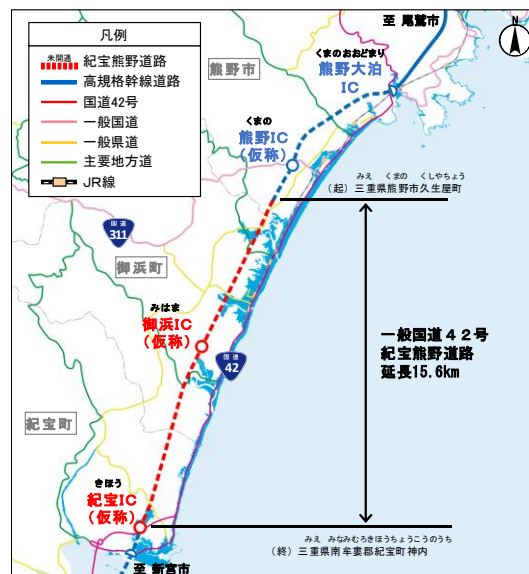
・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道42号 紀宝熊野道路
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全体：費用便益比(B/C)=0.97(経済的純現在価値(B-C)=-20億円、経済的内部収益率(EIRR)=3.8%) 残事業：費用便益比(B/C)=0.97(経済的純現在価値(B-C)=-16億円、経済的内部収益率(EIRR)=3.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
i.活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):484.1万人・時間/年 渋滞損失削減時間:131.6万人・時間/年(484.1万人・時間/年⇒352.5万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:(国道42号) 並行区間の渋滞損失時間:129.6万人・時間/年(立石南～飯盛西交差点間) 並行区間の渋滞損失削減率:約9割削減(立石南～飯盛西交差点間)
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	三重交通：島勝線・尾鷲長島線・南紀特急線 三重交通：名古屋南紀高速線 三重交通・西武バス：高速南紀大宮線(南紀勝浦線)
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	近畿自動車道紀勢線との一体整備により農林水産物の大都市への輸送時間短縮、みかん：中京市場へ60%、県内へ21%、大阪市場へ7%出荷	
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1.活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である		
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	並行する高速道路路線：近畿自動車紀勢線	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	熊野市⇄新宮市	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	熊野市	
		個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
			<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	第76回 国民体育大会(令和3年三重県開催 熊野市：ソフトボール(成年女子)、ラグビー、御浜町：ウォークラリー、紀宝町：ラジオ体操) スポーツ交流施設を兼ねた防災公園(令和2年度までに整備) 世界遺産熊野古道(H31・R1 年間観光客入り込み数 約38万人/年)
			<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車 のための生活空間の形成 <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
			<input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい町並みの形成 <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	2.暮らし	<input checked="" type="checkbox"/> 安全で安心できるくらしの確保 <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	伊勢赤十字病院(第3次救急医療施設)へのアクセスが向上(紀宝町役場、113分 ⇒ 105分)	

3.安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input checked="" type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A路線としての位置づけがある場合)	三重県緊急輸送道路ネットワーク計画:第一次緊急輸送道路 国道42号が通行止め時の代替路(立石南~飯盛西交差点間) 並行する高速道路路線:近畿自動車紀勢線
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4.環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	CO2排出削減量:5.0千t-CO2/年(71.6千t-CO2/年⇒66.6千t-CO2/年) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別:対象地域を含まない(推計結果) 評価対象区間(並行区間):国道42号(立石南~飯盛西交差点間) 排出削減量:約36.9t/年、排出削減率:約8割削減 紀宝熊野道路区間 Nox排出増加量:約29.2t/年 自動車NOx・PM法対策地域指定の別:対象地域を含まない(推計結果) 評価対象区間(並行区間):国道42号(立石南~飯盛西交差点間) 排出削減量:約2.1t/年、排出削減率:約8割削減 紀宝熊野道路区間 SPM排出増加量:約1.5t/年
5.その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	近畿自動車道紀勢線
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	



## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	紀宝熊野道路	L=15.6km	高規格A'	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,200	2	中部地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	775億円	240億円	1,015億円
うち残事業分	771億円	240億円	1,011億円
基準年における 現在価値(C)	540億円	60億円	599億円
うち残事業分	536億円	60億円	595億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和17年度			
単年便益 (初年便益)	45億円	6.4億円	1.6億円	53億円
基準年における 現在価値(B)	493億円	70億円	17億円	580億円
うち残事業分	493億円	70億円	17億円	580億円

③ 結 果

費用便益比(B/C)	0.97
経済的純現在価値(B-C)	-20億円
経済的内部収益率(EIRR)	3.8%
費用便益比(残事業)	0.97
経済的純現在価値(残事業)	-16億円
経済的内部収益率(残事業)	3.8%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	12,200台/日	±10%	0.9~1.1
事業費	775億円	±10%	0.9~1.1
事業期間	16年	±20%	0.9~1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	12,200台/日	±10%	0.9~1.1
事業費	771億円	±10%	0.9~1.1
事業期間	14年	±20%	0.9~1.1

## 交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道42号 紀宝熊野道路（事業全体、残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間：17.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	-	12,200	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	-	15	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	-	33.32	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道42号 ：16.3km	交通量	[台/日]	12,400	3,000
		走行時間	[分]	33	25
		走行時間費用	[億円/年]	74.81	13.62
	（一） 鵜殿熊野線 ：23.1km	交通量	[台/日]	1,900	1,400
		走行時間	[分]	55	54
		走行時間費用	[億円/年]	18.46	13.45
③その他の道路合計 281.7km	走行時間費用	[億円/年]	161.94	148.23	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：338.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	255.21	208.62	46.59

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

【図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



## 費用便益分析の条件

事業名：一般国道42号 紀宝熊野道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他( )	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在 した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を 用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:一般国道42号 紀宝熊野道路

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道42号 紀宝熊野道路  
(事業全体)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.31	17.0	5.29

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-16年目	R 1	1.0400	102.8	0.91	0.95		
基準年	R 2	1.0000	102.8	3.09	3.09		
-14年目	R 3	0.9615	102.8	6.52	6.27		
-13年目	R 4	0.9246	102.8	20.46	18.91		
-12年目	R 5	0.8890	102.8	25.03	22.25		
-11年目	R 6	0.8548	102.8	29.70	25.39		
-10年目	R 7	0.8219	102.8	34.73	28.54		
-9年目	R 8	0.7903	102.8	42.00	33.19		
-8年目	R 9	0.7599	102.8	47.52	36.11		
-7年目	R 10	0.7307	102.8	60.18	43.97		
-6年目	R 11	0.7026	102.8	80.31	56.43		
-5年目	R 12	0.6756	102.8	92.73	62.64		
-4年目	R 13	0.6496	102.8	99.55	64.66		
-3年目	R 14	0.6246	102.8	85.45	53.37		
-2年目	R 15	0.6006	102.8	78.18	46.95		
-1年目	R 16	0.5775	102.8	68.51	39.56		
供用開始年次	R 17	0.5553	102.8			4.81	2.67
1年目	R 18	0.5339	102.8			4.81	2.57
2年目	R 19	0.5134	102.8			4.81	2.47
3年目	R 20	0.4936	102.8			4.81	2.37
4年目	R 21	0.4746	102.8			4.81	2.28
5年目	R 22	0.4564	102.8			4.81	2.19
6年目	R 23	0.4388	102.8			4.81	2.11
7年目	R 24	0.4220	102.8			4.81	2.03
8年目	R 25	0.4057	102.8			4.81	1.95
9年目	R 26	0.3901	102.8			4.81	1.88
10年目	R 27	0.3751	102.8			4.81	1.80
11年目	R 28	0.3607	102.8			4.81	1.73
12年目	R 29	0.3468	102.8			4.81	1.67
13年目	R 30	0.3335	102.8			4.81	1.60
14年目	R 31	0.3207	102.8			4.81	1.54
15年目	R 32	0.3083	102.8			4.81	1.48
16年目	R 33	0.2965	102.8			4.81	1.43
17年目	R 34	0.2851	102.8			4.81	1.37
18年目	R 35	0.2741	102.8			4.81	1.32
19年目	R 36	0.2636	102.8			4.81	1.27
20年目	R 37	0.2534	102.8			4.81	1.22
21年目	R 38	0.2437	102.8			4.81	1.17
22年目	R 39	0.2343	102.8			4.81	1.13
23年目	R 40	0.2253	102.8			4.81	1.08
24年目	R 41	0.2166	102.8			4.81	1.04
25年目	R 42	0.2083	102.8			4.81	1.00
26年目	R 43	0.2003	102.8			4.81	0.96
27年目	R 44	0.1926	102.8			4.81	0.93
28年目	R 45	0.1852	102.8			4.81	0.89
29年目	R 46	0.1780	102.8			4.81	0.86
30年目	R 47	0.1712	102.8			4.81	0.82
31年目	R 48	0.1646	102.8			4.81	0.79
32年目	R 49	0.1583	102.8			4.81	0.76
33年目	R 50	0.1522	102.8			4.81	0.73
34年目	R 51	0.1463	102.8			4.81	0.70
35年目	R 52	0.1407	102.8			4.81	0.68
36年目	R 53	0.1353	102.8			4.81	0.65
37年目	R 54	0.1301	102.8			4.81	0.63
38年目	R 55	0.1251	102.8			4.81	0.60
39年目	R 56	0.1203	102.8			4.81	0.58
40年目	R 57	0.1157	102.8			4.81	0.56
41年目	R 58	0.1112	102.8			4.81	0.53
42年目	R 59	0.1069	102.8			4.81	0.51
43年目	R 60	0.1028	102.8			4.81	0.49
44年目	R 61	0.0989	102.8			4.81	0.48
45年目	R 62	0.0951	102.8			4.81	0.46
46年目	R 63	0.0914	102.8			4.81	0.44
47年目	R 64	0.0879	102.8			4.81	0.42
48年目	R 65	0.0845	102.8			4.81	0.41
49年目	R 66	0.0813	102.8	-33.61	-2.73	4.81	0.39
合計				741.26	539.57	240.45	59.64
単純事業費計				774.87		240.45	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道42号 紀宝熊野道路  
(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.31	17.0	5.29

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
基準年	R 2	1.0000	102.8				
-14年目	R 3	0.9615	102.8	6.52	6.27		
-13年目	R 4	0.9246	102.8	20.46	18.91		
-12年目	R 5	0.8890	102.8	25.03	22.25		
-11年目	R 6	0.8548	102.8	29.70	25.39		
-10年目	R 7	0.8219	102.8	34.73	28.54		
-9年目	R 8	0.7903	102.8	42.00	33.19		
-8年目	R 9	0.7599	102.8	47.52	36.11		
-7年目	R 10	0.7307	102.8	60.18	43.97		
-6年目	R 11	0.7026	102.8	80.31	56.43		
-5年目	R 12	0.6756	102.8	92.73	62.64		
-4年目	R 13	0.6496	102.8	99.55	64.66		
-3年目	R 14	0.6246	102.8	85.45	53.37		
-2年目	R 15	0.6006	102.8	78.18	46.95		
-1年目	R 16	0.5775	102.8	68.51	39.56		
供用開始年次	R 17	0.5553	102.8			4.81	2.67
1年目	R 18	0.5339	102.8			4.81	2.57
2年目	R 19	0.5134	102.8			4.81	2.47
3年目	R 20	0.4936	102.8			4.81	2.37
4年目	R 21	0.4746	102.8			4.81	2.28
5年目	R 22	0.4564	102.8			4.81	2.19
6年目	R 23	0.4388	102.8			4.81	2.11
7年目	R 24	0.4220	102.8			4.81	2.03
8年目	R 25	0.4057	102.8			4.81	1.95
9年目	R 26	0.3901	102.8			4.81	1.88
10年目	R 27	0.3751	102.8			4.81	1.80
11年目	R 28	0.3607	102.8			4.81	1.73
12年目	R 29	0.3468	102.8			4.81	1.67
13年目	R 30	0.3335	102.8			4.81	1.60
14年目	R 31	0.3207	102.8			4.81	1.54
15年目	R 32	0.3083	102.8			4.81	1.48
16年目	R 33	0.2965	102.8			4.81	1.43
17年目	R 34	0.2851	102.8			4.81	1.37
18年目	R 35	0.2741	102.8			4.81	1.32
19年目	R 36	0.2636	102.8			4.81	1.27
20年目	R 37	0.2534	102.8			4.81	1.22
21年目	R 38	0.2437	102.8			4.81	1.17
22年目	R 39	0.2343	102.8			4.81	1.13
23年目	R 40	0.2253	102.8			4.81	1.08
24年目	R 41	0.2166	102.8			4.81	1.04
25年目	R 42	0.2083	102.8			4.81	1.00
26年目	R 43	0.2003	102.8			4.81	0.96
27年目	R 44	0.1926	102.8			4.81	0.93
28年目	R 45	0.1852	102.8			4.81	0.89
29年目	R 46	0.1780	102.8			4.81	0.86
30年目	R 47	0.1712	102.8			4.81	0.82
31年目	R 48	0.1646	102.8			4.81	0.79
32年目	R 49	0.1583	102.8			4.81	0.76
33年目	R 50	0.1522	102.8			4.81	0.73
34年目	R 51	0.1463	102.8			4.81	0.70
35年目	R 52	0.1407	102.8			4.81	0.68
36年目	R 53	0.1353	102.8			4.81	0.65
37年目	R 54	0.1301	102.8			4.81	0.63
38年目	R 55	0.1251	102.8			4.81	0.60
39年目	R 56	0.1203	102.8			4.81	0.58
40年目	R 57	0.1157	102.8			4.81	0.56
41年目	R 58	0.1112	102.8			4.81	0.53
42年目	R 59	0.1069	102.8			4.81	0.51
43年目	R 60	0.1028	102.8			4.81	0.49
44年目	R 61	0.0989	102.8			4.81	0.48
45年目	R 62	0.0951	102.8			4.81	0.46
46年目	R 63	0.0914	102.8			4.81	0.44
47年目	R 64	0.0879	102.8			4.81	0.42
48年目	R 65	0.0845	102.8			4.81	0.41
49年目	R 66	0.0813	102.8	-33.61	-2.73	4.81	0.39
合計				737.26	535.54	240.45	59.64
単純事業費計				770.87		240.45	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道42号 紀宝熊野道路（事業全体、残事業）

年次	年度	総走行台数の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5553	102.8	26.60	10.40	8.08	45.08	25.03	4.20	1.04	1.11	6.36	3.53	1.56	0.87	53.00	29.43
1年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5339	102.8	26.40	10.30	8.07	44.76	23.90	4.17	1.03	1.11	6.31	3.37	1.55	0.83	52.62	28.10
2年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5134	102.8	26.19	10.19	8.05	44.44	22.81	4.13	1.02	1.11	6.27	3.22	1.54	0.79	52.25	26.82
3年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4936	102.8	25.99	10.09	8.04	44.12	21.78	4.10	1.01	1.11	6.22	3.07	1.53	0.76	51.87	25.60
4年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4746	102.8	25.79	9.98	8.03	43.79	20.79	4.07	1.00	1.11	6.18	2.93	1.52	0.72	51.49	24.44
5年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4564	102.8	25.58	9.87	8.01	43.47	19.84	4.04	0.99	1.11	6.13	2.80	1.51	0.69	51.12	23.33
6年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4388	102.8	25.38	9.77	8.00	43.15	18.94	4.01	0.98	1.10	6.09	2.67	1.50	0.66	50.74	22.27
7年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4220	102.8	25.18	9.66	7.99	42.83	18.07	3.97	0.97	1.10	6.05	2.55	1.49	0.63	50.36	21.25
8年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4057	102.8	24.97	9.56	7.98	42.51	17.25	3.94	0.96	1.10	6.00	2.43	1.48	0.60	49.99	20.28
9年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3901	102.8	24.77	9.45	7.96	42.19	16.46	3.91	0.95	1.10	5.96	2.32	1.47	0.57	49.61	19.35
10年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3751	102.8	24.57	9.35	7.95	41.87	15.70	3.88	0.94	1.10	5.91	2.22	1.46	0.55	49.23	18.47
11年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3607	102.8	24.36	9.24	7.94	41.54	14.98	3.85	0.93	1.10	5.87	2.12	1.44	0.52	48.86	17.62
12年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3468	102.8	24.16	9.14	7.93	41.22	14.30	3.81	0.92	1.09	5.82	2.02	1.43	0.50	48.48	16.81
13年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3335	102.8	23.96	9.03	7.91	40.90	13.64	3.78	0.91	1.09	5.78	1.93	1.42	0.47	48.10	16.04
14年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3207	102.8	23.75	8.93	7.90	40.58	13.01	3.75	0.90	1.09	5.73	1.84	1.41	0.45	47.73	15.30
15年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.3083	102.8	23.55	8.82	7.89	40.26	12.41	3.72	0.89	1.09	5.69	1.75	1.40	0.43	47.35	14.60
16年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2965	102.8	23.35	8.72	7.87	39.94	11.84	3.68	0.88	1.09	5.65	1.67	1.39	0.41	46.97	13.93
17年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2851	102.8	23.15	8.61	7.86	39.62	11.29	3.65	0.86	1.08	5.60	1.60	1.38	0.39	46.60	13.28
18年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2741	102.8	22.94	8.51	7.85	39.30	10.77	3.62	0.85	1.08	5.56	1.52	1.37	0.38	46.22	12.67
19年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2636	102.8	22.74	8.40	7.84	38.98	10.27	3.59	0.84	1.08	5.51	1.45	1.36	0.36	45.85	12.08
20年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2534	102.8	22.54	8.30	7.82	38.66	9.80	3.56	0.83	1.08	5.47	1.39	1.35	0.34	45.47	11.52
21年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2437	102.8	22.34	8.19	7.81	38.34	9.34	3.53	0.82	1.08	5.43	1.32	1.34	0.33	45.10	10.99
22年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2343	102.8	22.14	8.09	7.80	38.02	8.91	3.49	0.81	1.08	5.38	1.26	1.33	0.31	44.73	10.48
23年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2253	102.8	21.93	7.99	7.79	37.70	8.49	3.46	0.80	1.07	5.34	1.20	1.31	0.30	44.36	9.99
24年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2166	102.8	21.73	7.88	7.77	37.39	8.10	3.43	0.79	1.07	5.29	1.15	1.30	0.28	43.98	9.53
25年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2083	102.8	21.53	7.78	7.76	37.07	7.72	3.40	0.78	1.07	5.25	1.09	1.29	0.27	43.61	9.08
26年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.2003	102.8	21.33	7.68	7.75	36.76	7.36	3.37	0.77	1.07	5.21	1.04	1.28	0.26	43.24	8.66
27年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1926	102.8	21.13	7.57	7.73	36.44	7.02	3.34	0.76	1.07	5.16	0.99	1.27	0.24	42.88	8.26
28年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1852	102.8	20.93	7.47	7.72	36.13	6.69	3.30	0.75	1.07	5.12	0.95	1.26	0.23	42.51	7.87
29年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1780	102.8	20.73	7.37	7.71	35.81	6.38	3.27	0.74	1.06	5.08	0.90	1.25	0.22	42.14	7.50
30年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1712	102.8	20.54	7.27	7.70	35.50	6.08	3.24	0.73	1.06	5.03	0.86	1.24	0.21	41.78	7.15
31年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1646	102.8	20.34	7.17	7.68	35.19	5.79	3.21	0.72	1.06	4.99	0.82	1.23	0.20	41.41	6.82
32年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1583	102.8	20.14	7.07	7.67	34.88	5.52	3.18	0.71	1.06	4.95	0.78	1.22	0.19	41.05	6.50
33年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1522	102.8	19.94	6.97	7.66	34.57	5.26	3.15	0.70	1.06	4.90	0.75	1.21	0.18	40.68	6.19
34年目	R 51	0.99009	0.98569	0.99833	0.99121	0.1463	102.8	19.75	6.87	7.64	34.26	5.01	3.12	0.69	1.05	4.86	0.71	1.20	0.18	40.32	5.90
35年目	R 52	0.99003	0.98556	0.99833	0.99116	0.1407	102.8	19.55	6.77	7.63	33.96	4.78	3.09	0.68	1.05	4.82	0.68	1.19	0.17	39.96	5.62
36年目	R 53	0.98996	0.98543	0.99833	0.99110	0.1353	102.8	19.36	6.68	7.62	33.65	4.55	3.06	0.67	1.05	4.78	0.65	1.18	0.16	39.61	5.36
37年目	R 54	0.98989	0.98531	0.99833	0.99105	0.1301	102.8	19.16	6.58	7.61	33.35	4.34	3.02	0.66	1.05	4.73	0.62	1.17	0.15	39.25	5.11
38年目	R 55	0.98982	0.98518	0.99832	0.99099	0.1251	102.8	18.97	6.48	7.59	33.05	4.13	2.99	0.65	1.05	4.69	0.59	1.16	0.14	38.89	4.87
39年目	R 56	0.98976	0.98506	0.99832	0.99094	0.1203	102.8	18.78	6.39	7.58	32.74	3.94	2.96	0.64	1.05	4.65	0.56	1.15	0.14	38.54	4.64
40年目	R 57	0.98969	0.98493	0.99832	0.99088	0.1157	102.8	18.58	6.29	7.57	32.44	3.75	2.93	0.63	1.04	4.61	0.53	1.13	0.13	38.19	4.42
41年目	R 58	0.98962	0.98480	0.99831	0.99083	0.1112	102.8	18.39	6.20	7.56	32.14	3.57	2.90	0.62	1.04	4.57	0.51	1.12	0.13	37.84	4.21
42年目	R 59	0.98973	0.98501	0.99832	0.99078	0.1069	102.8	18.20	6.10	7.54	31.85	3.41	2.87	0.61	1.04	4.53	0.48	1.11	0.12	37.49	4.01
43年目	R 60	0.98967	0.98490	0.99832	0.99072	0.1028	102.8	18.01	6.01	7.53	31.55	3.24	2.84	0.60	1.04	4.49	0.46	1.10	0.11	37.14	3.82
44年目	R 61	0.98961	0.98478	0.99831	0.99067	0.0989	102.8	17.83	5.92	7.52	31.27	3.09	2.81	0.59	1.04	4.45	0.44	1.09	0.11	36.80	3.64
45年目	R 62	0.98955	0.98467	0.99831	0.99061	0.0951	102.8	17.64	5.83	7.50	30.98	2.94	2.78	0.59	1.04	4.41	0.42	1.08	0.10	36.47	3.47
46年目	R 63	0.98949	0.98456	0.99831	0.99056	0.0914	102.8	17.46	5.74	7.49	30.69	2.81	2.76	0.58	1.03	4.37	0.40	1.07	0.10	36.13	3.30
47年目	R 64	0.98943	0.98444	0.99831	0.99050	0.0879	102.8	17.28	5.65	7.48	30.41	2.67	2.73	0.57							

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	紀宝熊野道路	2	15.6km

### ■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				68,446	
	改良費				10,074	
		土工	m <sup>3</sup>	1,617,000	7,324	
		法面工	m <sup>2</sup>	145,000	556	切土法面、盛土法面
		管渠工	m			
		函渠工	m	194	156	
		排水工	m	4,913	803	
		中央分離帯工	m	15,600	280	
		雑工	式	1	955	
	橋梁費				32,339	
		100m以上	m	4,865	32,283	
		100m未満	m		56	
	トンネル費				21,028	
		NATM	m	4,190	21,028	
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,513	
		IC	箇所	2	2,513	紀宝ICハーフ、御浜IC
		JCT	箇所			
	舗装費				1,517	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	119,805	1,517	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費				976	
		交通管理施設工	式	1	976	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				4,252	
	用地費		m <sup>2</sup>		3,361	
		宅地	m <sup>2</sup>	20,000	519	
		田畑	m <sup>2</sup>	351,000	2,808	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	69,100	35	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	891	
③	間接経費		式	1	12,201	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				84,900	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	紀宝熊野道路	2	15.6km

### ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				68,446	
	改良費				10,074	
		土工	m <sup>3</sup>	1,617,000	7,324	
		法面工	m <sup>2</sup>	145,000	556	切土法面、盛土法面
		管渠工	m			
		函渠工	m	194	156	
		排水工	m	4,913	803	
		中央分離帯工	m	15,600	280	
		雑工	式	1	955	
	橋梁費				32,339	
		100m以上	m	4,865	32,283	
		100m未満	m		56	
	トンネル費				21,028	
		NATM	m	4,190	21,028	
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,513	
		IC	箇所	2	2,513	紀宝ICハーフ、御浜IC
		JCT	箇所			
	舗装費				1,517	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	119,805	1,517	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費				976	
		交通管理施設工	式	1	976	防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				4,252	
	用地費		m <sup>2</sup>		3,361	
		宅地	m <sup>2</sup>	20,000	519	
		田畑	m <sup>2</sup>	351,000	2,808	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	69,100	35	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	891	
③	間接経費		式	1	11,761	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				84,460	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	紀宝熊野道路	2	17.0km

■維持管理費内訳(事業全体、残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	17.0	4,800	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	21,650	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			26,450	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

担当課：  
担当課長名：

事業名	一般国道41号 石浦バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局		
起終点	白：岐阜県高山市久々野町久々野 至：岐阜県高山市千島町	延長	9.2 km				
事業概要							
<p>一般国道41号石浦バイパスは、岐阜県高山市久々野町久々野から同市千島町に至る延長9.2kmの道路である。</p> <p>石浦バイパスは、地域高規格道路高山下呂連絡道路の一部を構成し、急カーブや急勾配区間を回避することによる冬期交通の安全性・信頼性の向上、交通事故の削減、救急医療活動の支援を主な目的としたバイパス事業である。</p>							
H12・H15年度事業化	H12年度都市計画決定	H16年度用地着手	H27年度工事着手				
全体事業費	425億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	約42%	供用済延長	0.0km		
計画交通量	15,400台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.3	総費用 (事業)/ (事業全体)	245/464億円	総便益 (事業)/ (事業全体)	591/591億円	基準年 令和2年
	(残事業)	2.4	事業費：182/402億円 維持管理費：62/62億円	走行時間短縮便益：547/547億円 走行経費減少便益：39/39億円 交通事故減少便益：5.2/5.2億円			
感度分析の結果							
(事業全体)	交通量	: B/C=1.1~1.4 (交通量 ±10%)		(残事業)	交通量	: B/C=2.2~2.7 (交通量 ±10%)	
	事業費	: B/C=1.2~1.3 (事業費 ±10%)			事業費	: B/C=2.2~2.6 (事業費 ±10%)	
	事業期間	: B/C=1.2~1.3 (事業期間±20%)			事業期間	: B/C=2.4~2.4 (事業期間±20%)	
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）の削減が見込まれる</li> <li>・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（濃飛バス 高山・下呂線）が存在する</li> </ul>							
②物流効率化の支援							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる</li> </ul>							
③国土・地域ネットワークの構築							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高規格道路「高山下呂連絡道路」の一部として、全区間が指定されている</li> <li>・日常活動圏の中心都市（高山市）へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>							
④個性ある地域の形成							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な観光地（高山市等）へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>							
⑤安全で安心できるくらしの確保							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（高山赤十字病院）へのアクセス性向上が見込まれる</li> </ul>							
⑥災害への備え							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次緊急輸送道路（岐阜県地域防災計画より）に位置づけられている</li> <li>・緊急輸送道路（国道41号）が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成</li> <li>・現道等の防災点検箇所における通行規制等の解消が見込まれる</li> </ul>							
⑦地球環境の保全							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減が見込まれる</li> </ul>							
⑧生活環境の改善・保全							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NO2排出量の削減が見込まれる</li> <li>・SPM排出量の削減が見込まれる</li> </ul>							

関係する地方公共団体等の意見	
地域から頂いた主な意見等： 県知事の意見：対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。 なお、今後の事業の実施にあたっては、以下の内容についてご配慮願います。 ・本バイパスは、飛騨地域の連携強化、活性化に寄与する重要な道路と認識していることから、速やかに整備を進めるべき事業であり、引き続き早期供用に向けた事業の推進をお願いします。 ・事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いいたします。	
事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道41号現道は、平面・縦断ともに道路線形が厳しいため、積雪時には大型車のスタックの危険性が高い。</li> <li>・国道41号現道は、急勾配・急カーブが連続しており、特にヘアピンカーブを中心に事故が多発。</li> <li>・一之宮地区から高山市街地への主要幹線道路は、国道41号しか無く、国道361号へ迂回する場合、約8分の遅れが発生する。</li> </ul>	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業進捗率約42%（令和2年3月末時点）、用地取得率約64%（令和2年3月末時点）。</li> <li>・高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間（延長4.7km）が令和2年度開通予定。</li> </ul>	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市久々野町久々野～同市一之宮町間（延長4.7km）は、令和2年度開通予定である。</li> <li>・高山市一之宮町～同市千島町間（延長4.5km）は、令和2年度より工事に着手し、早期開通に向け、用地取得や改良工事、関係機関協議を推進する。</li> </ul>	
施設の構造や工法の変更等	
・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。	
対応方針（原案）	事業継続
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。
事業概要図	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道41号 石浦バイパス
事業主体	中部地方整備局

●事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(B/C)=1.3(経済的純現在価値(B-C)=127億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.4%) 既 業:費用便益比(B/C)=2.4(経済的純現在価値(B-C)=346億円、経済的内部収益率(EIRR)=16.4%)

●事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1.活力 モビリティの 確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):865万人・時間/年 渋滞損失削減時間:81万人・時間/年(865万人・時間/年⇒784万人・時間/年)	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上で踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	区間b(当該区間/並行区間)について: 並行区間等(該当区間)の渋滞損失時間:101万人・時間/年(国道41号現道) 並行区間等(該当区間)の渋滞損失削減率:約5割削減(国道41号現道)	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	濃飛バス 高山・下呂線	
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
		物流効率化 の支援	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高会場コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	農林水産業を主体とする地域名:高山市、主な出荷先:名古屋、岐阜 トマト出荷量全国第2位(+30作物統計調査)			
□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である				
都市の再生	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する			
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			
	□ 中心市街地内で行う事業である			
	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km <sup>2</sup> 以下である市街地内での事業である			
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する			
	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる			
	国土・地域 ネットワーク の構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)の位置づけあり		
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	高山下呂連絡道路	
□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A路線としての位置づけがある場合)				
□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する				
□ 現道等における交通不能区間を解消する				
□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する				
■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	久々野町から高山中心部へのアクセス向上(久々野町～高山市:23分～17分)			



	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	高山市⇄下呂市間(主要観光地)の連絡性が向上し、広域観光周遊ルートが期待(高山市～下呂市:63分→55分)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい街並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が無線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
3安全	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	高山赤十字病院(第三次医療施設)へのアクセス性向上(久々野町～高山赤十字病院:24分→16分)
		<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/総台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量が100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
		<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	岐阜県地域防災計画:第一次緊急輸送道路の位置づけ
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	並行する現道国道41号代替路を形成
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A路線としての位置づけがある場合)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	要対策箇所1箇所(R2.3時点)
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
4環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 2,935t/年(474,424t/年⇒471,489t/年)
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況)自動車NOx-PM法対策地域指定の別:対象地域指定(推計結果)評価対象区間(現道):(国道41号)排出削減量:約21.4t/年、排出削減率:約8割削減石浦ハイバス区間 Nox排出増加量:25.3t/年
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況)自動車NOx-PM法対策地域指定の別:対象地域指定(推計結果)評価対象区間(現道):(国道41号)排出削減量:約1.2t/年、排出削減率:約8割削減石浦ハイバス区間 SPM排出増加量:1.5t/年	
	<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある		
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される		
5その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道４１号	石浦バイパス	L=9.2km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
15,400	２～４	中部地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和２年度		
単純合計	393億円	155億円	549億円
うち残事業分	198億円	155億円	353億円
基準年における 現在価値 (C)	402億円	62億円	464億円
うち残事業分	182億円	62億円	245億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和２年度			
供用年	令和３年度、令和６年度、令和９年度			
単年便益 (初年便益)	10億円	1.2億円	0.09億円	12億円
基準年における 現在価値 (B)	547億円	39億円	5.2億円	591億円
うち残事業分	547億円	39億円	5.2億円	591億円

### ③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	127億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.4%
費用便益比（残事業）	2.4
経済的純現在価値（残事業）	346億円
経済的内部収益率（残事業）	16.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

#### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	15,400台/日	±10%	1.1~1.4
事業費	393億円	±10%	1.2~1.3
事業期間	28年	±20%	1.2~1.3

#### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	15,400台/日	±10%	2.2~2.7
事業費	198億円	±10%	2.2~2.6
事業期間	6年	±20%	2.4~2.4

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道41号 石浦バイパス（事業全体、残事業）

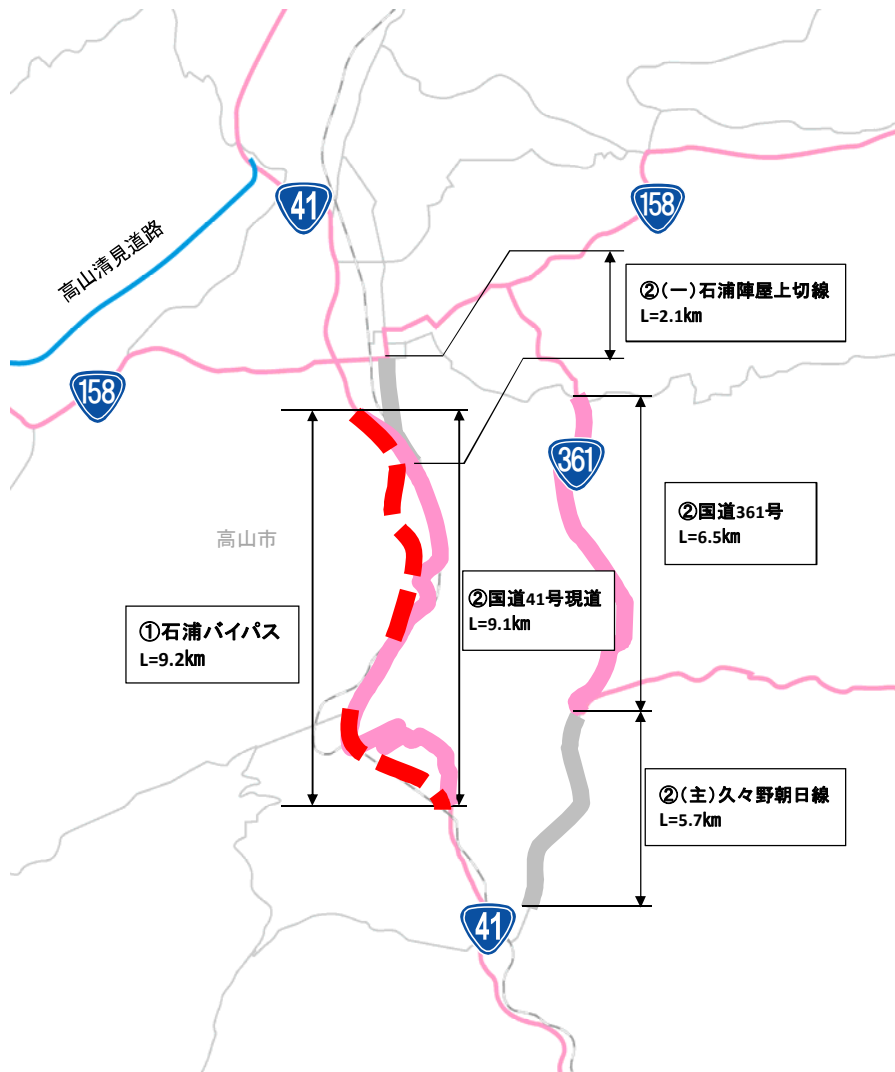
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路:9.2km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	-	15,400	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	-	10.5	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	-	30.44	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道41号現道:9.1km	交通量	[台/日]	12,100	2,100
		走行時間	[分]	18.6	13.8
		走行時間費用	[億円/年]	42.80	6.19
	国道361号:6.5km	交通量	[台/日]	4,900	1,900
		走行時間	[分]	13.9	13.0
		走行時間費用	[億円/年]	12.81	4.56
	(主)久々野朝日線:5.7km	交通量	[台/日]	3,400	1,200
		走行時間	[分]	9.9	9.8
		走行時間費用	[億円/年]	6.56	2.28
	(一)石浦陣屋上切線:2.1km	交通量	[台/日]	7,100	4,900
		走行時間	[分]	5.7	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	6.96	4.57
③その他道路合計 : 1316.0km	走行時間費用	[億円/年]	1,209.51	1,200.40	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1348.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,278.65	1,248.43	30.22

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 費用便益分析の条件

事業名:一般国道41号 石浦バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他( )		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				



## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道41号 石浦バイパス  
(事業全体)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.39	9.2	3.63

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-22年目	H 11	2.2788	115.2	0.57	1.16		
-21年目	H 12	2.1911	113.8	0.48	0.94		
-20年目	H 13	2.1068	112.4	0.71	1.38		
-19年目	H 14	2.0258	110.5	1.43	2.69		
-18年目	H 15	1.9479	109.0	1.19	2.19		
-17年目	H 16	1.8730	107.9	0.19	0.34		
-16年目	H 17	1.8009	106.7	4.19	7.27		
-15年目	H 18	1.7317	105.9	4.21	7.07		
-14年目	H 19	1.6651	105.0	3.10	5.06		
-13年目	H 20	1.6010	104.4	7.99	12.60		
-12年目	H 21	1.5395	103.0	9.06	13.93		
-11年目	H 22	1.4802	101.3	2.35	3.53		
-10年目	H 23	1.4233	99.8	1.82	2.67		
-9年目	H 24	1.3686	99.0	4.91	6.98		
-8年目	H 25	1.3159	99.0	1.83	2.51		
-7年目	H 26	1.2653	101.5	3.08	3.94		
-6年目	H 27	1.2167	103.0	11.48	13.94		
-5年目	H 28	1.1699	102.8	30.44	35.61		
-4年目	H 29	1.1249	102.9	29.02	32.61		
-3年目	H 30	1.0816	102.8	21.57	23.33		
-2年目	R 1	1.0400	102.8	25.21	26.22		
基準年	R 2	1.0000	102.8	18.81	18.81		
部分供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	42.26	40.64	1.00	0.96
1年目	R 4	0.9246	102.8	34.54	31.93	1.00	0.92
2年目	R 5	0.8890	102.8	35.15	31.25	1.00	0.89
暫定供用開始年次	R 6	0.8548	102.8	31.45	26.88	2.35	2.01
4年目	R 7	0.8219	102.8	30.62	25.17	2.35	1.94
5年目	R 8	0.7903	102.8	35.78	28.28	2.35	1.86
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			3.30	2.51
7年目	R 10	0.7307	102.8			3.30	2.41
8年目	R 11	0.7026	102.8			3.30	2.32
9年目	R 12	0.6756	102.8			3.30	2.23
10年目	R 13	0.6496	102.8			3.30	2.14
11年目	R 14	0.6246	102.8			3.30	2.06
12年目	R 15	0.6006	102.8			3.30	1.98
13年目	R 16	0.5775	102.8			3.30	1.91
14年目	R 17	0.5553	102.8			3.30	1.83
15年目	R 18	0.5339	102.8			3.30	1.76
16年目	R 19	0.5134	102.8			3.30	1.69
17年目	R 20	0.4936	102.8			3.30	1.63
18年目	R 21	0.4746	102.8			3.30	1.57
19年目	R 22	0.4564	102.8			3.30	1.51
20年目	R 23	0.4388	102.8			3.30	1.45
21年目	R 24	0.4220	102.8			3.30	1.39
22年目	R 25	0.4057	102.8			3.30	1.34
23年目	R 26	0.3901	102.8			3.30	1.29
24年目	R 27	0.3751	102.8			3.30	1.24
25年目	R 28	0.3607	102.8			3.30	1.19
26年目	R 29	0.3468	102.8			3.30	1.14
27年目	R 30	0.3335	102.8			3.30	1.10
28年目	R 31	0.3207	102.8			3.30	1.06
29年目	R 32	0.3083	102.8			3.30	1.02
30年目	R 33	0.2965	102.8			3.30	0.98
31年目	R 34	0.2851	102.8			3.30	0.94
32年目	R 35	0.2741	102.8			3.30	0.90
33年目	R 36	0.2636	102.8			3.30	0.87
34年目	R 37	0.2534	102.8			3.30	0.84
35年目	R 38	0.2437	102.8			3.30	0.80
36年目	R 39	0.2343	102.8			3.30	0.77
37年目	R 40	0.2253	102.8			3.30	0.74
38年目	R 41	0.2166	102.8			3.30	0.71
39年目	R 42	0.2083	102.8			3.30	0.69
40年目	R 43	0.2003	102.8			3.30	0.66
41年目	R 44	0.1926	102.8			3.30	0.64
42年目	R 45	0.1852	102.8			3.30	0.61
43年目	R 46	0.1780	102.8			3.30	0.59
44年目	R 47	0.1712	102.8			3.30	0.56
45年目	R 48	0.1646	102.8			3.30	0.54
46年目	R 49	0.1583	102.8			3.30	0.52
47年目	R 50	0.1522	102.8			3.30	0.50
48年目	R 51	0.1463	102.8			3.30	0.48
49年目	R 52	0.1407	102.8	-48.01	-6.76	3.30	0.46
合計				345.44	402.17	155.26	62.18
単純事業費計				393.45		155.26	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道41号 石浦バイパス  
(残事業)

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単価単価(億円)
0.39	9.2	3.63

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-22年目	H 11	2.2788	115.2				
-21年目	H 12	2.1911	113.8				
-20年目	H 13	2.1068	112.4				
-19年目	H 14	2.0258	110.5				
-18年目	H 15	1.9479	109.0				
-17年目	H 16	1.8730	107.9				
-16年目	H 17	1.8009	106.7				
-15年目	H 18	1.7317	105.9				
-14年目	H 19	1.6651	105.0				
-13年目	H 20	1.6010	104.4				
-12年目	H 21	1.5395	103.0				
-11年目	H 22	1.4802	101.3				
-10年目	H 23	1.4233	99.8				
-9年目	H 24	1.3686	99.0				
-8年目	H 25	1.3159	99.0				
-7年目	H 26	1.2653	101.5				
-6年目	H 27	1.2167	103.0				
-5年目	H 28	1.1699	102.8				
-4年目	H 29	1.1249	102.9				
-3年目	H 30	1.0816	102.8				
-2年目	R 1	1.0400	102.8				
基準年	R 2	1.0000	102.8				
部分供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	42.26	40.64	1.00	0.96
1年目	R 4	0.9246	102.8	34.54	31.93	1.00	0.92
2年目	R 5	0.8890	102.8	35.15	31.25	1.00	0.89
暫定供用開始年次	R 6	0.8548	102.8	31.45	26.88	2.35	2.01
4年目	R 7	0.8219	102.8	30.62	25.17	2.35	1.94
5年目	R 8	0.7903	102.8	35.78	28.28	2.35	1.86
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			3.30	2.51
7年目	R 10	0.7307	102.8			3.30	2.41
8年目	R 11	0.7026	102.8			3.30	2.32
9年目	R 12	0.6756	102.8			3.30	2.23
10年目	R 13	0.6496	102.8			3.30	2.14
11年目	R 14	0.6246	102.8			3.30	2.06
12年目	R 15	0.6006	102.8			3.30	1.98
13年目	R 16	0.5775	102.8			3.30	1.91
14年目	R 17	0.5553	102.8			3.30	1.83
15年目	R 18	0.5339	102.8			3.30	1.76
16年目	R 19	0.5134	102.8			3.30	1.69
17年目	R 20	0.4936	102.8			3.30	1.63
18年目	R 21	0.4746	102.8			3.30	1.57
19年目	R 22	0.4564	102.8			3.30	1.51
20年目	R 23	0.4388	102.8			3.30	1.45
21年目	R 24	0.4220	102.8			3.30	1.39
22年目	R 25	0.4057	102.8			3.30	1.34
23年目	R 26	0.3901	102.8			3.30	1.29
24年目	R 27	0.3751	102.8			3.30	1.24
25年目	R 28	0.3607	102.8			3.30	1.19
26年目	R 29	0.3468	102.8			3.30	1.14
27年目	R 30	0.3335	102.8			3.30	1.10
28年目	R 31	0.3207	102.8			3.30	1.06
29年目	R 32	0.3083	102.8			3.30	1.02
30年目	R 33	0.2965	102.8			3.30	0.98
31年目	R 34	0.2851	102.8			3.30	0.94
32年目	R 35	0.2741	102.8			3.30	0.90
33年目	R 36	0.2636	102.8			3.30	0.87
34年目	R 37	0.2534	102.8			3.30	0.84
35年目	R 38	0.2437	102.8			3.30	0.80
36年目	R 39	0.2343	102.8			3.30	0.77
37年目	R 40	0.2253	102.8			3.30	0.74
38年目	R 41	0.2166	102.8			3.30	0.71
39年目	R 42	0.2083	102.8			3.30	0.69
40年目	R 43	0.2003	102.8			3.30	0.66
41年目	R 44	0.1926	102.8			3.30	0.64
42年目	R 45	0.1852	102.8			3.30	0.61
43年目	R 46	0.1780	102.8			3.30	0.59
44年目	R 47	0.1712	102.8			3.30	0.56
45年目	R 48	0.1646	102.8			3.30	0.54
46年目	R 49	0.1583	102.8			3.30	0.52
47年目	R 50	0.1522	102.8			3.30	0.50
48年目	R 51	0.1463	102.8			3.30	0.48
49年目	R 52	0.1407	102.8			3.30	0.46
合計				198.03	182.49	155.26	62.18
単純事業費計				198.03		155.26	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道4 1号 石浦バイパス（事業全体、残事業）

年次	年度 (基準年)	総走行台枠の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
部分供用開始年次	R 3	0.99967	0.98657	1.00855	0.99911	0.9615	102.8	4.26	2.36	3.68	10.30	9.90	0.37	0.23	0.61	1.21	1.16	0.09	0.08	11.59	11.15
1年目	R 4	0.99967	0.98639	1.00847	0.99911	0.9246	102.8	4.26	2.33	3.71	10.29	9.52	0.37	0.23	0.61	1.21	1.12	0.09	0.08	11.59	10.72
2年目	R 5	0.99967	0.98620	1.00840	0.99911	0.8890	102.8	4.26	2.29	3.74	10.29	9.15	0.37	0.23	0.62	1.21	1.08	0.09	0.08	11.59	10.31
暫定供用開始年次	R 6	0.99967	0.98601	1.00833	0.99911	0.8548	102.8	11.61	5.49	8.78	25.88	22.13	0.81	0.35	0.98	2.13	1.82	0.22	0.19	28.24	24.14
4年目	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.8219	102.8	11.61	5.42	8.85	25.88	21.27	0.81	0.34	0.99	2.14	1.76	0.22	0.18	28.23	23.20
5年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7903	102.8	11.60	5.34	8.93	25.87	20.44	0.81	0.34	1.00	2.14	1.69	0.22	0.17	28.23	22.31
供用開始年次	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7599	102.8	13.80	6.24	10.22	30.26	23.00	0.81	0.33	0.84	1.98	1.51	0.30	0.23	32.54	24.73
7年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7307	102.8	13.80	6.15	10.30	30.25	22.10	0.81	0.33	0.84	1.98	1.45	0.30	0.22	32.53	23.77
8年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.7026	102.8	13.79	6.06	10.39	30.24	21.24	0.81	0.33	0.85	1.99	1.40	0.30	0.21	32.52	22.85
9年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6756	102.8	13.79	5.97	10.47	30.22	20.42	0.81	0.32	0.86	1.99	1.34	0.30	0.20	32.51	21.96
10年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6496	102.8	13.69	5.91	10.45	30.05	19.52	0.80	0.32	0.85	1.98	1.28	0.29	0.19	32.32	20.99
11年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6246	102.8	13.58	5.85	10.44	29.87	18.66	0.80	0.31	0.85	1.97	1.23	0.29	0.18	32.13	20.07
12年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.6006	102.8	13.48	5.79	10.42	29.70	17.84	0.79	0.31	0.85	1.96	1.17	0.29	0.17	31.95	19.19
13年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5775	102.8	13.38	5.74	10.41	29.52	17.05	0.79	0.31	0.85	1.95	1.12	0.29	0.17	31.76	18.34
14年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5553	102.8	13.28	5.68	10.39	29.35	16.30	0.78	0.30	0.85	1.94	1.07	0.29	0.16	31.57	17.53
15年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5339	102.8	13.18	5.62	10.37	29.17	15.58	0.78	0.30	0.85	1.92	1.03	0.28	0.15	31.38	16.75
16年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5134	102.8	13.08	5.56	10.36	29.00	14.89	0.77	0.30	0.85	1.91	0.98	0.28	0.15	31.19	16.01
17年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4936	102.8	12.98	5.51	10.34	28.82	14.23	0.76	0.30	0.85	1.90	0.94	0.28	0.14	31.01	15.31
18年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4746	102.8	12.87	5.45	10.32	28.65	13.60	0.76	0.29	0.84	1.89	0.90	0.28	0.13	30.82	14.63
19年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4564	102.8	12.77	5.39	10.31	28.47	12.99	0.75	0.29	0.84	1.88	0.86	0.28	0.13	30.63	13.98
20年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4388	102.8	12.67	5.33	10.29	28.29	12.42	0.75	0.29	0.84	1.87	0.82	0.27	0.12	30.44	13.36
21年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4220	102.8	12.57	5.28	10.27	28.12	11.87	0.74	0.28	0.84	1.86	0.79	0.27	0.12	30.25	12.77
22年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4057	102.8	12.47	5.22	10.26	27.94	11.34	0.73	0.28	0.84	1.85	0.75	0.27	0.11	30.07	12.20
23年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3901	102.8	12.37	5.16	10.24	27.77	10.83	0.73	0.28	0.84	1.84	0.72	0.27	0.10	29.88	11.66
24年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3751	102.8	12.26	5.10	10.22	27.59	10.35	0.72	0.27	0.84	1.83	0.69	0.27	0.10	29.69	11.14
25年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3607	102.8	12.16	5.05	10.21	27.42	9.89	0.72	0.27	0.83	1.82	0.66	0.26	0.10	29.50	10.64
26年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3468	102.8	12.06	4.99	10.19	27.24	9.45	0.71	0.27	0.83	1.81	0.63	0.26	0.09	29.32	10.17
27年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3335	102.8	11.96	4.93	10.18	27.07	9.03	0.70	0.26	0.83	1.80	0.60	0.26	0.09	29.13	9.71
28年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3207	102.8	11.86	4.87	10.16	26.89	8.62	0.70	0.26	0.83	1.79	0.57	0.26	0.08	28.94	9.28
29年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.3083	102.8	11.76	4.82	10.14	26.72	8.24	0.69	0.26	0.83	1.78	0.55	0.26	0.08	28.75	8.86
30年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.2965	102.8	11.66	4.76	10.13	26.54	7.87	0.69	0.26	0.83	1.77	0.52	0.25	0.08	28.56	8.47
31年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.2851	102.8	11.56	4.70	10.11	26.37	7.52	0.68	0.25	0.83	1.76	0.50	0.25	0.07	28.38	8.09
32年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2741	102.8	11.45	4.64	10.09	26.19	7.18	0.67	0.25	0.83	1.75	0.48	0.25	0.07	28.19	7.73
33年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2636	102.8	11.35	4.59	10.08	26.02	6.86	0.67	0.25	0.82	1.74	0.46	0.25	0.07	28.00	7.38
34年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2534	102.8	11.25	4.53	10.06	25.84	6.55	0.66	0.24	0.82	1.73	0.44	0.25	0.06	27.82	7.05
35年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2437	102.8	11.15	4.47	10.04	25.67	6.25	0.66	0.24	0.82	1.72	0.42	0.25	0.06	27.63	6.73
36年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2343	102.8	11.05	4.42	10.03	25.49	5.97	0.65	0.24	0.82	1.71	0.40	0.24	0.06	27.44	6.43
37年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2253	102.8	10.95	4.36	10.01	25.32	5.70	0.64	0.23	0.82	1.70	0.38	0.24	0.05	27.26	6.14
38年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2166	102.8	10.85	4.30	10.00	25.15	5.45	0.64	0.23	0.82	1.69	0.37	0.24	0.05	27.07	5.86
39年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2083	102.8	10.75	4.25	9.98	24.97	5.20	0.63	0.23	0.82	1.68	0.35	0.24	0.05	26.89	5.60
40年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.2003	102.8	10.65	4.19	9.96	24.80	4.97	0.63	0.22	0.81	1.67	0.33	0.24	0.05	26.70	5.35
41年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1926	102.8	10.55	4.13	9.95	24.63	4.74	0.62	0.22	0.81	1.66	0.32	0.23	0.04	26.52	5.11
42年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1852	102.8	10.45	4.08	9.93	24.46	4.53	0.61	0.22	0.81	1.65	0.30	0.23	0.04	26.33	4.88
43年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1780	102.8	10.35	4.02	9.91	24.29	4.32	0.61	0.22	0.81	1.64	0.29	0.23	0.04	26.15	4.66
44年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1712	102.8	10.25	3.97	9.90	24.12	4.13	0.60	0.21	0.81	1.63	0.28	0.23	0.04	25.97	4.45
45年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1646	102.8	10.15	3.91	9.88	23.95	3.94	0.60	0.21	0.81	1.61	0.27	0.23	0.04	25.79	4.24
46年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1583	102.8	10.05	3.86	9.86	23.78	3.76	0.59	0.21	0.81	1.60	0.25	0.22	0.04	25.61	4.05
47年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1522	102.8	9.96	3.80	9.85	23.61	3.59	0.59	0							

路線名	箇所名	車線数	延長
国道41号	石浦バイパス	2~4	9.2km

## ■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				32,179	
	改良費				9,071	
		土工	m <sup>3</sup>	1,817,900	4,727	切土(1,262,590m <sup>3</sup> )、盛土(555,310m <sup>3</sup> )、残土(767,400m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	103,780	529	切土法面(整形+厚層基材吹付 t=3cm)・盛土法面(整形)
		擁壁工	式	2	1,242	補強土壁工・ブロック積擁壁工・L型擁壁工・重力式擁壁工・大型ブロック積・もたれ式
		管渠工	m	2,161	89	
		函渠工	m	488	625	現場打ち函渠・プレキャストアーチカルバート
		排水工	m	17,059	520	
		中央分離帯工	m	1,394	86	
		雑工	式	2	1,253	仮設工,床固工
	橋梁費				5,334	
		100m以上	m	349	2,105	鋼3径間連続非合成細幅箱桁橋等 2橋
		100m未満	m	429	3,229	単純鋼桁橋 1橋 2径間連続非合成桁橋等 8橋
	トンネル費				15,691	
		NATM	m	3,289	15,681	3本 電気機械設備込 補助工法・湧水対策は予備費へ計上
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,532	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	111,156	1,500	本線・側道含む(本線N6)
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	10,290	32	
	付帯施設費				551	
		交通管理施設工	式	2	551	ガードレール、区画線工、電気設備(照明等)
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				6,029	
	用地費		m <sup>2</sup>	277,000	4,801	
		宅地	m <sup>2</sup>	36,700	2,751	
		田畑	m <sup>2</sup>	88,500	1,824	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	151,800	226	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	1,228	
③	間接経費		式		4,292	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				42,500	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
国道41号	石浦バイパス	4	4.5km

### ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				20,830	
	改良費				7,634	
		土工	m <sup>3</sup>	1,817,900	5,154	切土(1,262,590m <sup>3</sup> )、盛土(555,310m <sup>3</sup> )、残土(767,400m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	103,780	302	切土法面(整形+厚層基材吹付 t=3cm)・盛土法面(整形)
		擁壁工	式	2	709	補強土壁工・ブロック積擁壁工・L型擁壁工・重力式擁壁工・大型ブロック積・もたれ式
		管渠工	m	2,161	51	
		函渠工	m	488	357	現場打ち函渠・プレキャストアーチカルバート
		排水工	m	17,059	297	
		中央分離帯工	m	1,394	49	
		雑工	式	2	715	仮設工,床固工
	橋梁費				3,046	
		100m以上	m	349	1,203	鋼3径間連続非合成細幅箱桁橋等 2橋
		100m未満	m	429	1,843	単純鋼鉄桁橋 1橋 2径間連続非合成鉄桁等 8橋
	トンネル費				8,960	
		NATM	m	3,289	8,960	3本 電気機械設備込 補助工法・湧水対策は予備費へ計上
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				875	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	88,756	856	本線・側道含む(本線N6)
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	10,290	19	
	付帯施設費				315	
		交通管理施設工	式	2	315	ガードレール、区画線工、電気設備(照明等)
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				1,440	
	用地費		m <sup>2</sup>	120,495	1,177	
		宅地	m <sup>2</sup>	15,965	674	
		田畑	m <sup>2</sup>	23,900	447	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	80,630	56	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	263	
③	間接経費		式		690	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				22,960	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
国道41号	石浦バイパス	2~4	9.2km

■維持管理費内訳(事業全体、残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	9.2	3,485	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	13,594	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式	1		
維持管理費合計			17,079	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局		
起終点	自：岐阜県高山市清見町夏厩 至：岐阜県高山市丹生川町坊方	延長	24.7 km				
事業概要							
<p>一般国道158号中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点とし、岐阜県高山市の主要都市を経て、福井県福井市に至る延長約160kmの高規格幹線道路である。</p> <p>本事業の一般国道158号中部縦貫自動車道高山清見道路は、岐阜県高山市清見町夏厩から同市丹生川町坊方に至る延長24.7kmの道路であり、高速アクセス性の向上（観光の周遊性向上）、交通渋滞の緩和・救急医療活動の支援を目的に計画された道路である。</p>							
H4年度事業化		H3年度都市計画決定		H6年度用地着手			
H8年度工事着手							
全体事業費	2,298億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	約59%	供用済延長	15.2km		
計画交通量	11,400台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.3	総費用 (事業)/ (事業全体) 915/2,989億円 事業費：749/2,758億円 維持管理費：166/231億円	総便益 (事業)/ (事業全体) 1,798/3,862億円 走行時間短縮便益：1,513/3,216億円 走行経費減少便益：257/597億円 交通事故減少便益：28/49億円	基準年 令和2年		
	(残事業)	2.0					
感度分析の結果							
(事業全体)	交通量	: B/C=1.2~1.4 (交通量 ±10%)		(残事業)	交通量	: B/C=1.8~2.2 (交通量 ±10%)	
	事業費	: B/C=1.3~1.3 (事業費 ±10%)			事業費	: B/C=1.8~2.1 (事業費 ±10%)	
	事業期間	: B/C=1.2~1.4 (事業期間±20%)			事業期間	: B/C=1.9~2.2 (事業期間±20%)	
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）の削減が見込まれる。</li> <li>・並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。</li> <li>・並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（濃飛バス 白川郷線等）が存在する。</li> <li>・第一種空港（中部国際空港）、第三種空港（富山空港・松本空港）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul>							
②物流効率化の支援							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際拠点港湾（名古屋港）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul>							
③国土・地域ネットワークの構築							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常活動圏の中心都市（高山市）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul>							
④個性ある地域の形成							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・IC等からのアクセスが向上する主要な観光地（高山市古い町並み等）が存在する。</li> </ul>							
⑤安全で安心できるくらしの確保							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（高山赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul>							
⑥災害への備え							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次緊急輸送道路として位置づけられている。</li> <li>・緊急輸送道路（国道158号）が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。</li> </ul>							
⑦地球環境の保全							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減が見込まれる。</li> </ul>							
⑧生活環境の改善・保全							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NO2排出量の削減が見込まれる。</li> <li>・SPM排出量の削減が見込まれる。</li> </ul>							

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

飛騨北部道路整備促進協議会、中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会、中部縦貫北関東広域道路建設促進同盟会、飛騨地域基盤整備促進期成同盟会が整備促進を要望。

県知事の意見：対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

なお、今後の事業の実施にあたっては、以下の内容についてご配慮願います。

- ・中部縦貫自動車道は、北陸と関東を最短距離で結ぶ高規格幹線道路であり、当県をはじめ中部内陸地域の一体的な発展を図るうえで極めて重要な役割を果たす道路です。
- ・「（仮称）丹生川IC～高山IC間」については、開通見通しを示したうえで早期開通をお願いします。
- ・事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・高山清見道路は、休日交通量が経年的に増加傾向で主に距離の長い交通が利用している。
- ・高山市街地の国道158号は主要渋滞箇所が3箇所存在し、観光期には慢性的な渋滞が発生している。
- ・高齢化社会の進展により、救急搬送人員が増加している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は約59%（令和2年3月末時点）。用地取得率は約99%（令和2年3月末時点）。
- ・飛騨清見IC～高山西IC間（延長8.7km）は、平成16年度に暫定2車線供用済み。
- ・高山西IC～高山IC間（延長6.5km）は、平成19年度に暫定2車線供用済み。
- ・高山IC～丹生川IC（仮称）間（延長9.5km）について、橋梁上下部工や改良工等の工事を推進する。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・高山IC～丹生川IC（仮称）間（延長9.5km）について、早期暫定2車線供用を目指し、橋梁上下部工や改良工等の工事を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。

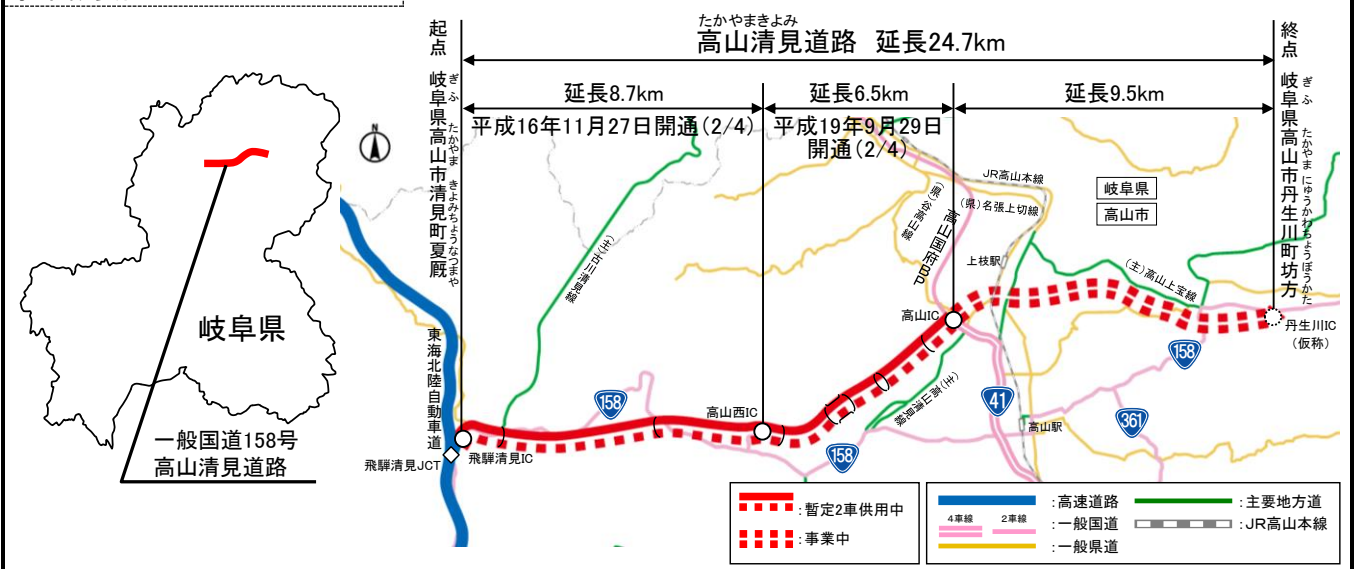
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。



様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路
事業主体	中部地方整備局

●事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)=1.3(経済的純現在価値(B-C)=874億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.9%) 残事業：費用便益比(B/C)=2.0(経済的純現在価値(B-C)=883億円、経済的内部収益率(EIRR)=9.9%)

●事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口に変更)	指標チェックの根拠
1.活力 円滑な モビリティの 確保	■ 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):75,300万人・時間/年 渋滞損失削減時間:306万人・時間/年(75,300万人・時間/年⇒74,993万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について: 並行区間等(該当区間)の渋滞損失時間:26.5万人・時間/年(国道158号現道) 並行区間等(該当区間)の渋滞損失削減時間:17.7万人・時間/年(26.5万人・時間/年⇒8.8万人・時間/年)(国道158号現道) 並行区間等(該当区間)の渋滞損失削減率:約7割削減(国道158号現道)
	■ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	高山IC～丹生川IC間に並行する国道158号(混雑時旅行速度20km/h未満である一部区間、17.7km/h→20.1km/h)
	■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	路線バス(濃飛バス平湯・新穂高線、白川郷線) 高速バス(新宿～飛騨高山線、名古屋～高山線、岐阜～高山線、飛騨高山～京都・大阪線、飛騨高山～白川郷・金沢線)
	□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	中部国際空港(第一種空港)、富山空港(第三種空港)、松本空港(第三種空港) 中部国際空港へのアクセス向上(高山市役所→中部国際空港:175分→164分)
物流効率化 の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	名古屋港(国際拠点港湾) 名古屋港へのアクセス性向上(高山市役所→名古屋港:155分→144分)
	□ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	□ 三大都市圏の環状道路を形成する	
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
国土・地域 ネットワーク の構築	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	高山中心部へのアクセス向上(白川村役場～高山市役所:54分→41分)
個性ある 地域の形成	□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
	■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	高山市古い町並み(345万人)、奥飛騨・平湯温泉郷(61万人)、白川村合掌造り(129万人)等
	□ 新規整備の公共施設へ直結する道路である	

2.暮らし	安全で安心できるくらしの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>	高山赤十字病院へのアクセス性向上(白川村役場～高山赤十字病院:54分→46分)
3.安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 並行区間等に死傷事故率が500件/徳台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり</li> </ul>	高山清見道路及び並行する国道158号(第一次緊急輸送道路)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</li> </ul>	並行する現道国道158号代替路を形成
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		<input type="checkbox"/> 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	
4.環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</li> </ul>	CO2排出削減量：39,062t/年(14,296,562t/年⇒14,257,500t/年)
	生活環境の改善・保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率</li> </ul>	(推計結果) 評価対象区間(並行区間)：(国道158号) 排出削減量：約15.5t/年、排出削減率：約5割削減 高山清見道路区間 Nox排出増加量：127.8t/年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率</li> </ul>	(推計結果) 評価対象区間(並行区間)：(国道158号) 排出削減量：約0.9t/年、排出削減率：約5割削減 高山清見道路区間 SPM排出増加量：8.0t/年
		<input type="checkbox"/> 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
		5.その他	他のプロジェクトとの関係
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道158号	中部縦貫自動車道 高山清見道路	L=24.7km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,400	4	中部地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	2,068億円	660億円	2,728億円
うち残事業分	896億円	479億円	1,375億円
基準年における 現在価値 (C)	2,758億円	231億円	2,989億円
うち残事業分	749億円	166億円	915億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和8年度、令和9年度			
単年便益 (初年便益)	166億円	31億円	2.5億円	200億円
基準年における 現在価値 (B)	3,216億円	597億円	49億円	3,862億円
うち残事業分	1,513億円	257億円	28億円	1,798億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	874億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.9%
費用便益比（残事業）	2.0
経済的純現在価値（残事業）	883億円
経済的内部収益率（残事業）	9.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,400台/日	±10%	1.2～1.4
事業費	2,068億円	±10%	1.3～1.3
事業期間	35年	±20%	1.2～1.4

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,400台/日	±10%	1.8～2.2
事業費	896億円	±10%	1.8～2.1
事業期間	6年	±20%	1.9～2.2

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路（事業全体）

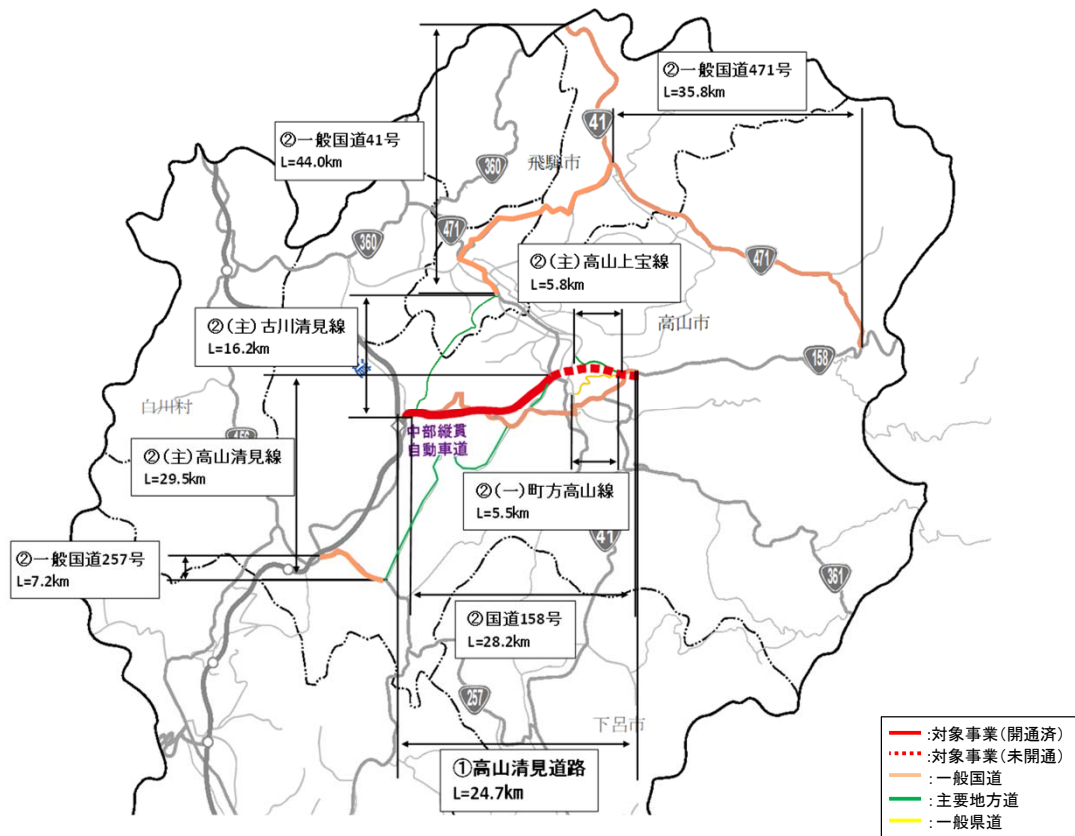
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路改築区間:24.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	11,400	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	18.6	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	41.77	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道158号:28.2km	交通量	[台/日]	8,600	3,400
		走行時間	[分]	57.5	36.3
		走行時間費用	[億円/年]	94.64	37.23
	国道41号:44.0km	交通量	[台/日]	3,800	3,600
		走行時間	[分]	67.0	66.7
		走行時間費用	[億円/年]	50.35	47.13
	国道257号:7.2km	交通量	[台/日]	2,700	600
		走行時間	[分]	12.3	12.3
		走行時間費用	[億円/年]	7.36	1.33
	国道471号:35.8km	交通量	[台/日]	5,000	4,600
		走行時間	[分]	63.5	63.0
		走行時間費用	[億円/年]	60.17	55.45
	(主)古川清見線:16.2km	交通量	[台/日]	1,400	400
		走行時間	[分]	32.4	32.4
		走行時間費用	[億円/年]	8.96	2.69
	(主)高山上宝線:5.8km	交通量	[台/日]	5,100	1,900
		走行時間	[分]	9.2	8.7
		走行時間費用	[億円/年]	8.93	3.03
	(主)高山清見線:29.5km	交通量	[台/日]	4,000	1,600
		走行時間	[分]	51.7	50.7
		走行時間費用	[億円/年]	44.87	16.24
(一)町方高山線:5.5km	交通量	[台/日]	3,900	2,700	
	走行時間	[分]	14.1	14.1	
	走行時間費用	[億円/年]	10.97	7.28	
③その他道路合計 : 12990.6km		走行時間費用	[億円/年]	43,560.69	43,442.02

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 13187.5km	走行時間短縮便益 [億円/年]	43,846.94	43,654.17	192.77

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路（残事業）

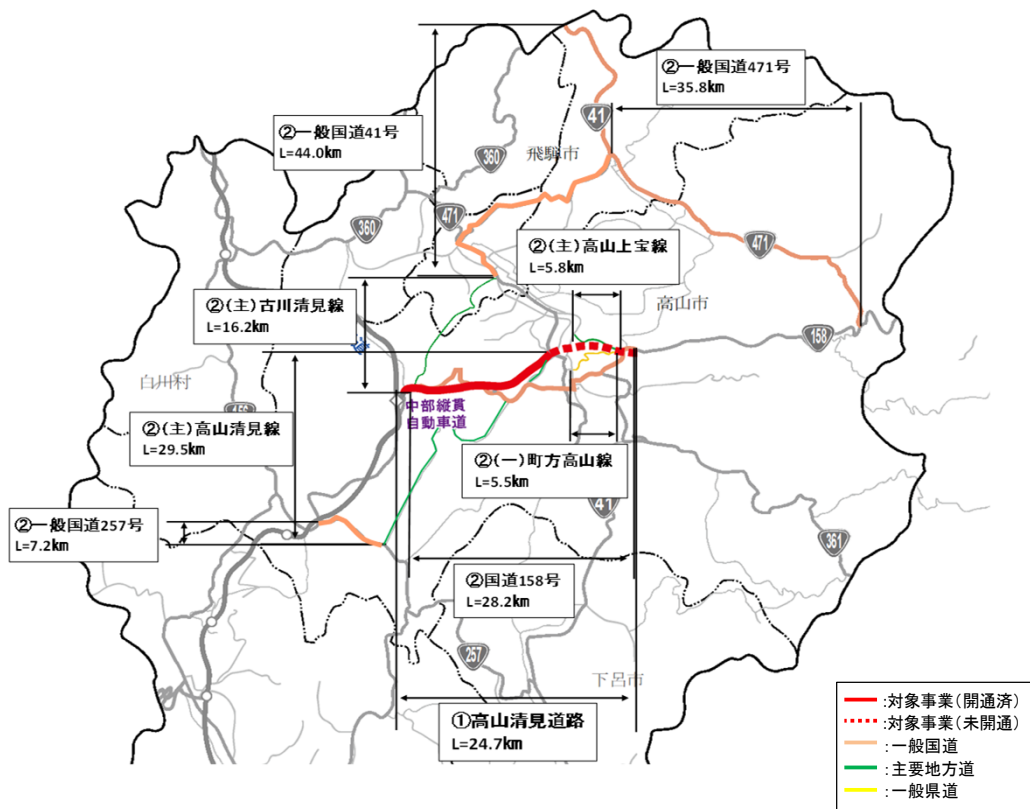
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間:24.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	11,200	11,400	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	14	18.6	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	30.22	41.77	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道158号:28.2km	交通量	[台/日]	4,600	3,400
		走行時間	[分]	37.7	36.3
		走行時間費用	[億円/年]	52.67	37.23
	国道41号:44.0km	交通量	[台/日]	3,700	3,600
		走行時間	[分]	66.9	66.7
		走行時間費用	[億円/年]	48.69	47.13
	国道257号:7.2km	交通量	[台/日]	600	600
		走行時間	[分]	12.3	12.3
		走行時間費用	[億円/年]	1.55	1.33
	国道471号:35.8km	交通量	[台/日]	4,800	4,600
		走行時間	[分]	63.2	63.0
		走行時間費用	[億円/年]	58.39	55.45
	(主)古川清見線:16.2km	交通量	[台/日]	500	400
		走行時間	[分]	32.4	32.4
		走行時間費用	[億円/年]	3.57	2.69
	(主)高山上宝線:5.8km	交通量	[台/日]	5,700	1,900
		走行時間	[分]	9.3	8.7
		走行時間費用	[億円/年]	10.11	3.03
	(主)高山清見線:29.5km	交通量	[台/日]	1,500	1,600
		走行時間	[分]	50.7	50.7
		走行時間費用	[億円/年]	15.48	16.24
	(一)町方高山線:5.5km	交通量	[台/日]	4,100	2,700
		走行時間	[分]	14.2	14.1
		走行時間費用	[億円/年]	11.65	7.28
③その他道路合計 : 12990.6km		走行時間費用	[億円/年]	43,512.88	43,442.02

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 13187.5km	走行時間短縮便益 [億円/年]	43,745.20	43,654.17	91.02

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること





## 費用便益分析の条件

事業名:一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他( )		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路  
(事業全体)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価 (億円)	延長 (km)	単純単価 (億円)
0.59	24.7	14.64

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-34年目	H 4	2.9987	117.6	2.23	5.85		
-33年目	H 5	2.8834	117.9	3.24	8.15		
-32年目	H 6	2.7725	117.8	2.92	7.05		
-31年目	H 7	2.6658	117.1	8.32	19.47		
-30年目	H 8	2.5633	116.6	19.44	43.93		
-29年目	H 9	2.4647	117.5	21.40	46.14		
-28年目	H 10	2.3699	116.9	60.16	125.38		
-27年目	H 11	2.2788	115.2	76.11	154.76		
-26年目	H 12	2.1911	113.8	116.39	230.37		
-25年目	H 13	2.1068	112.4	100.62	193.88		
-24年目	H 14	2.0258	110.5	98.42	185.49		
-23年目	H 15	1.9479	109.0	84.34	154.94		
-22年目	H 16	1.8730	107.9	89.96	160.53		
-21年目	H 17	1.8009	106.7	59.91	103.95		
-20年目	H 18	1.7317	105.9	78.50	131.95		
-19年目	H 19	1.6651	105.0	51.66	84.22		
-18年目	H 20	1.6010	104.4	6.94	10.94		
-17年目	H 21	1.5395	103.0	11.82	18.15		
-16年目	H 22	1.4802	101.3	9.38	14.09		
-15年目	H 23	1.4233	99.8	8.10	11.87		
-14年目	H 24	1.3686	99.0	20.32	28.87		
-13年目	H 25	1.3159	99.0	39.86	54.47		
-12年目	H 26	1.2653	101.5	29.58	37.91		
-11年目	H 27	1.2167	103.0	28.20	34.25		
-10年目	H 28	1.1699	102.8	30.21	35.34		
-9年目	H 29	1.1249	102.9	25.90	29.11		
-8年目	H 30	1.0816	102.8	22.20	24.01		
-7年目	R 1	1.0400	102.8	37.82	39.33		
基準年	R 2	1.0000	102.8	27.88	27.88		
-5年目	R 3	0.9615	102.8	24.58	23.63		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	39.08	36.13		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	64.92	57.72		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	245.83	210.14		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	263.09	216.24		
暫定供用開始年次	R 8	0.7903	102.8	258.97	204.67	7.99	6.32
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			13.31	10.11
2年目	R 10	0.7307	102.8			13.31	9.72
3年目	R 11	0.7026	102.8			13.31	9.35
4年目	R 12	0.6756	102.8			13.31	8.99
5年目	R 13	0.6496	102.8			13.31	8.65
6年目	R 14	0.6246	102.8			13.31	8.31
7年目	R 15	0.6006	102.8			13.31	7.99
8年目	R 16	0.5775	102.8			13.31	7.69
9年目	R 17	0.5553	102.8			13.31	7.39
10年目	R 18	0.5339	102.8			13.31	7.11
11年目	R 19	0.5134	102.8			13.31	6.83
12年目	R 20	0.4936	102.8			13.31	6.57
13年目	R 21	0.4746	102.8			13.31	6.32
14年目	R 22	0.4564	102.8			13.31	6.07
15年目	R 23	0.4388	102.8			13.31	5.84
16年目	R 24	0.4220	102.8			13.31	5.62
17年目	R 25	0.4057	102.8			13.31	5.40
18年目	R 26	0.3901	102.8			13.31	5.19
19年目	R 27	0.3751	102.8			13.31	4.99
20年目	R 28	0.3607	102.8			13.31	4.80
21年目	R 29	0.3468	102.8			13.31	4.62
22年目	R 30	0.3335	102.8			13.31	4.44
23年目	R 31	0.3207	102.8			13.31	4.27
24年目	R 32	0.3083	102.8			13.31	4.10
25年目	R 33	0.2965	102.8			13.31	3.95
26年目	R 34	0.2851	102.8			13.31	3.79
27年目	R 35	0.2741	102.8			13.31	3.65
28年目	R 36	0.2636	102.8			13.31	3.51
29年目	R 37	0.2534	102.8			13.31	3.37
30年目	R 38	0.2437	102.8			13.31	3.24
31年目	R 39	0.2343	102.8			13.31	3.12
32年目	R 40	0.2253	102.8			13.31	3.00
33年目	R 41	0.2166	102.8			13.31	2.88
34年目	R 42	0.2083	102.8			13.31	2.77
35年目	R 43	0.2003	102.8			13.31	2.67
36年目	R 44	0.1926	102.8			13.31	2.56
37年目	R 45	0.1852	102.8			13.31	2.46
38年目	R 46	0.1780	102.8			13.31	2.37
39年目	R 47	0.1712	102.8			13.31	2.28
40年目	R 48	0.1646	102.8			13.31	2.19
41年目	R 49	0.1583	102.8			13.31	2.11
42年目	R 50	0.1522	102.8			13.31	2.03
43年目	R 51	0.1463	102.8			13.31	1.95
44年目	R 52	0.1407	102.8			13.31	1.87
45年目	R 53	0.1353	102.8			13.31	1.80
46年目	R 54	0.1301	102.8			13.31	1.73
47年目	R 55	0.1251	102.8			13.31	1.66
48年目	R 56	0.1203	102.8			13.31	1.60
49年目	R 57	0.1157	102.8	-110.05	-12.73	13.31	1.54
合計				1958.22	2758.09	660.14	230.79
単純事業費計				2068.28		660.14	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。  
注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路  
(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.43	24.7	10.68

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-31年目	H 7	2.6658	117.1				
-30年目	H 8	2.5633	116.6				
-29年目	H 9	2.4647	117.5				
-28年目	H 10	2.3699	116.9				
-27年目	H 11	2.2788	115.2				
-26年目	H 12	2.1911	113.8				
-25年目	H 13	2.1068	112.4				
-24年目	H 14	2.0258	110.5				
-23年目	H 15	1.9479	109.0				
-22年目	H 16	1.8730	107.9				
-21年目	H 17	1.8009	106.7				
-20年目	H 18	1.7317	105.9				
-19年目	H 19	1.6651	105.0				
-18年目	H 20	1.6010	104.4				
-17年目	H 21	1.5395	103.0				
-16年目	H 22	1.4802	101.3				
-15年目	H 23	1.4233	99.8				
-14年目	H 24	1.3686	99.0				
-13年目	H 25	1.3159	99.0				
-12年目	H 26	1.2653	101.5				
-11年目	H 27	1.2167	103.0				
-10年目	H 28	1.1699	102.8				
-9年目	H 29	1.1249	102.9				
-8年目	H 30	1.0816	102.8				
-7年目	R 1	1.0400	102.8				
基準年	R 2	1.0000	102.8				
-5年目	R 3	0.9615	102.8	24.58	23.63		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	39.08	36.13		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	64.92	57.72		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	245.83	210.14		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	263.09	216.24		
暫定供用開始年次	R 8	0.7903	102.8	258.97	204.67	3.07	2.43
供用開始年次	R 9	0.7599	102.8			9.71	7.38
2年目	R 10	0.7307	102.8			9.71	7.09
3年目	R 11	0.7026	102.8			9.71	6.82
4年目	R 12	0.6756	102.8			9.71	6.56
5年目	R 13	0.6496	102.8			9.71	6.31
6年目	R 14	0.6246	102.8			9.71	6.06
7年目	R 15	0.6006	102.8			9.71	5.83
8年目	R 16	0.5775	102.8			9.71	5.61
9年目	R 17	0.5553	102.8			9.71	5.39
10年目	R 18	0.5339	102.8			9.71	5.18
11年目	R 19	0.5134	102.8			9.71	4.98
12年目	R 20	0.4936	102.8			9.71	4.79
13年目	R 21	0.4746	102.8			9.71	4.61
14年目	R 22	0.4564	102.8			9.71	4.43
15年目	R 23	0.4388	102.8			9.71	4.26
16年目	R 24	0.4220	102.8			9.71	4.10
17年目	R 25	0.4057	102.8			9.71	3.94
18年目	R 26	0.3901	102.8			9.71	3.79
19年目	R 27	0.3751	102.8			9.71	3.64
20年目	R 28	0.3607	102.8			9.71	3.50
21年目	R 29	0.3468	102.8			9.71	3.37
22年目	R 30	0.3335	102.8			9.71	3.24
23年目	R 31	0.3207	102.8			9.71	3.11
24年目	R 32	0.3083	102.8			9.71	2.99
25年目	R 33	0.2965	102.8			9.71	2.88
26年目	R 34	0.2851	102.8			9.71	2.77
27年目	R 35	0.2741	102.8			9.71	2.66
28年目	R 36	0.2636	102.8			9.71	2.56
29年目	R 37	0.2534	102.8			9.71	2.46
30年目	R 38	0.2437	102.8			9.71	2.37
31年目	R 39	0.2343	102.8			9.71	2.27
32年目	R 40	0.2253	102.8			9.71	2.19
33年目	R 41	0.2166	102.8			9.71	2.10
34年目	R 42	0.2083	102.8			9.71	2.02
35年目	R 43	0.2003	102.8			9.71	1.94
36年目	R 44	0.1926	102.8			9.71	1.87
37年目	R 45	0.1852	102.8			9.71	1.80
38年目	R 46	0.1780	102.8			9.71	1.73
39年目	R 47	0.1712	102.8			9.71	1.66
40年目	R 48	0.1646	102.8			9.71	1.60
41年目	R 49	0.1583	102.8			9.71	1.54
42年目	R 50	0.1522	102.8			9.71	1.48
43年目	R 51	0.1463	102.8			9.71	1.42
44年目	R 52	0.1407	102.8			9.71	1.37
45年目	R 53	0.1353	102.8			9.71	1.31
46年目	R 54	0.1301	102.8			9.71	1.26
47年目	R 55	0.1251	102.8			9.71	1.21
48年目	R 56	0.1203	102.8			9.71	1.17
49年目	R 57	0.1157	102.8	-0.09	-0.01	9.71	1.12
合計				896.38	748.51	478.82	166.19
単純事業費計				896.47		478.82	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路（事業全体）

年次	年度 (基準年) R 2	総走行台別の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレート	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7903	102.8	45.33	11.38	109.52	166.23	131.38	3.33	0.68	27.25	31.25	24.70	2.52	1.99	200.01	158.07
供用開始年次	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7599	102.8	51.61	12.82	125.88	190.31	144.62	3.34	0.69	30.38	34.41	26.15	3.11	2.36	227.82	173.13
2年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7307	102.8	51.60	12.63	126.90	191.13	139.66	3.34	0.68	30.63	34.64	25.31	3.10	2.27	228.87	167.24
3年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.7026	102.8	51.58	12.44	127.92	191.95	134.86	3.34	0.67	30.88	34.88	24.50	3.10	2.18	229.93	161.54
4年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6756	102.8	51.56	12.26	128.95	192.77	130.23	3.33	0.66	31.12	35.11	23.72	3.10	2.09	230.98	156.04
5年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6496	102.8	51.18	12.14	128.74	192.07	124.76	3.31	0.65	31.07	35.03	22.76	3.08	2.00	230.18	149.52
6年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6246	102.8	50.80	12.02	128.54	191.37	119.53	3.29	0.64	31.03	34.95	21.83	3.06	1.91	229.38	143.27
7年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.6006	102.8	50.42	11.90	128.34	190.67	114.51	3.26	0.64	30.98	34.87	20.94	3.04	1.82	228.58	137.28
8年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5775	102.8	50.05	11.78	128.14	189.97	109.70	3.24	0.63	30.93	34.80	20.09	3.01	1.74	227.78	131.54
9年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5553	102.8	49.67	11.67	127.94	189.27	105.09	3.21	0.62	30.88	34.72	19.28	2.99	1.66	226.98	126.03
10年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5339	102.8	49.29	11.55	127.73	188.57	100.68	3.19	0.62	30.83	34.64	18.49	2.97	1.59	226.18	120.76
11年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5134	102.8	48.91	11.43	127.53	187.87	96.45	3.16	0.61	30.78	34.56	17.74	2.95	1.52	225.38	115.70
12年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4936	102.8	48.53	11.31	127.33	187.17	92.39	3.14	0.60	30.73	34.48	17.02	2.93	1.45	224.58	110.86
13年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4746	102.8	48.15	11.19	127.13	186.47	88.51	3.11	0.60	30.68	34.40	16.33	2.91	1.38	223.78	106.21
14年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4564	102.8	47.77	11.07	126.92	185.77	84.78	3.09	0.59	30.64	34.32	15.66	2.89	1.32	222.98	101.76
15年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4388	102.8	47.39	10.96	126.72	185.07	81.21	3.07	0.59	30.59	34.24	15.02	2.87	1.26	222.18	97.50
16年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4220	102.8	47.01	10.84	126.52	184.37	77.80	3.04	0.58	30.54	34.16	14.41	2.85	1.20	221.38	93.41
17年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4057	102.8	46.63	10.72	126.32	183.67	74.52	3.02	0.57	30.49	34.08	13.83	2.83	1.15	220.58	89.49
18年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3901	102.8	46.25	10.60	126.12	182.97	71.38	2.99	0.57	30.44	34.00	13.26	2.81	1.10	219.78	85.74
19年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3751	102.8	45.87	10.48	125.91	182.27	68.37	2.97	0.56	30.39	33.92	12.72	2.79	1.05	218.98	82.14
20年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3607	102.8	45.49	10.37	125.71	181.57	65.49	2.94	0.55	30.34	33.84	12.21	2.77	1.00	218.17	78.69
21年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3468	102.8	45.11	10.25	125.51	180.87	62.73	2.92	0.55	30.29	33.76	11.71	2.74	0.95	217.37	75.39
22年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3335	102.8	44.73	10.13	125.31	180.17	60.08	2.89	0.54	30.25	33.68	11.23	2.72	0.91	216.57	72.22
23年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3207	102.8	44.35	10.01	125.11	179.47	57.55	2.87	0.54	30.20	33.60	10.77	2.70	0.87	215.77	69.19
24年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.3083	102.8	43.98	9.89	124.90	178.77	55.12	2.84	0.53	30.15	33.52	10.34	2.68	0.83	214.97	66.28
25年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.2965	102.8	43.60	9.77	124.70	178.07	52.79	2.82	0.52	30.10	33.44	9.91	2.66	0.79	214.17	63.49
26年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.2851	102.8	43.22	9.66	124.50	177.37	50.56	2.80	0.52	30.05	33.36	9.51	2.64	0.75	213.37	60.82
27年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2741	102.8	42.84	9.54	124.30	176.67	48.43	2.77	0.51	30.00	33.28	9.12	2.62	0.72	212.58	58.27
28年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2636	102.8	42.46	9.42	124.09	175.98	46.38	2.75	0.50	29.95	33.20	8.75	2.60	0.69	211.78	55.81
29年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2534	102.8	42.08	9.30	123.89	175.28	44.42	2.72	0.50	29.90	33.12	8.39	2.58	0.65	210.98	53.47
30年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2437	102.8	41.71	9.19	123.69	174.58	42.54	2.70	0.49	29.85	33.04	8.05	2.56	0.62	210.19	51.22
31年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2343	102.8	41.33	9.07	123.49	173.89	40.74	2.67	0.48	29.81	32.96	7.72	2.54	0.59	209.39	49.06
32年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2253	102.8	40.95	8.95	123.29	173.19	39.02	2.65	0.48	29.76	32.88	7.41	2.52	0.57	208.60	46.99
33年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2166	102.8	40.58	8.84	123.08	172.50	37.37	2.62	0.47	29.71	32.81	7.11	2.50	0.54	207.80	45.01
34年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2083	102.8	40.20	8.72	122.88	171.81	35.79	2.60	0.47	29.66	32.73	6.82	2.48	0.52	207.01	43.12
35年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.2003	102.8	39.83	8.61	122.68	171.12	34.27	2.58	0.46	29.61	32.65	6.54	2.46	0.49	206.22	41.30
36年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1926	102.8	39.46	8.49	122.48	170.43	32.82	2.55	0.45	29.56	32.57	6.27	2.43	0.47	205.43	39.56
37年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1852	102.8	39.08	8.38	122.28	169.74	31.43	2.53	0.45	29.51	32.49	6.02	2.41	0.45	204.64	37.89
38年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1780	102.8	38.71	8.26	122.07	169.05	30.10	2.50	0.44	29.46	32.41	5.77	2.39	0.43	203.86	36.30
39年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1712	102.8	38.34	8.15	121.87	168.37	28.82	2.48	0.44	29.42	32.33	5.54	2.37	0.41	203.07	34.77
40年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1646	102.8	37.97	8.04	121.67	167.68	27.60	2.46	0.43	29.37	32.25	5.31	2.35	0.39	202.29	33.30
41年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1583	102.8	37.60	7.93	121.47	167.00	26.43	2.43	0.42	29.32	32.17	5.09	2.33	0.37	201.51	31.89
42年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1522	102.8	37.24	7.82	121.27	166.32	25.31	2.41	0.42	29.27	32.10	4.88	2.31	0.35	200.73	30.55
43年目	R 51	0.99009	0.98567	0.99833	0.99121	0.1463	102.8	36.87	7.70	121.06	165.64	24.24	2.38	0.41	29.22	32.02	4.69	2.29	0.34	199.95	29.26
44年目	R 52	0.99002	0.98554	0.99833	0.99115	0.1407	102.8	36.50	7.59	120.86	164.96	23.21	2.36	0.41	29.17	31.94	4.49	2.27	0.32	199.17	28.03
45年目	R 53	0.98995	0.98541	0.99833	0.99110	0.1353	102.8	36.14	7.48	120.66	164.28	22.23	2.34	0.40	29.12	31.86	4.31	2.25	0.30	198.40	26.84
46年目	R 54	0.98988	0.98529	0.99832	0.99104	0.1301	102.8	35.78	7.37	120.46	163.61	21.29	2.31	0.39	29.08	31.78	4.13	2.23	0.29	197.63	25.71
47年目	R 55	0.98982	0.98516	0.99832	0.99099	0.1251	102.8	35.41	7.27	120.26	162.94	20.38	2.29	0.39	29.03	31.71	3.97	2.21	0.28	196.86	24.63
48年目	R 56	0.98975	0.98504	0.99832	0.99093	0.1203	102.8	35.05	7.16	120.06	162.27	19.52	2.27	0.38	28.98	31.63	3.80	2.19	0.26	196.09	23.59
49年目	R 57	0.98968	0.98491	0.99832	0.99088	0.1157	102.8	34.69	7.05	119.85	161.60	18.69	2.24	0.38	28.93	31.55	3.65	2.17	0.25	195.32	22.59
合 計								2,180.92	491.62	6,212.55	8,885.10	3,215.76	141.45	26.35	1,500.33	1,668.13	597.30	132.91	49.41	10,686.14	3,862.46

## 便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路（残事業）

年次	年度 (基準年) R 2	総走行台別の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレート	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7903	102.8	14.14	4.84	47.13	66.12	52.25	0.98	0.30	10.53	11.81	9.33	1.17	0.93	79.10	62.51
供用開始年次	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7599	102.8	20.44	6.38	62.98	89.79	68.23	0.99	0.31	13.52	14.83	11.27	1.76	1.34	106.38	80.84
2年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7307	102.8	20.43	6.28	63.49	90.20	65.91	0.99	0.31	13.63	14.94	10.91	1.76	1.29	106.90	78.11
3年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.7026	102.8	20.42	6.19	64.00	90.61	63.66	0.99	0.31	13.74	15.04	10.57	1.76	1.23	107.41	75.47
4年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6756	102.8	20.42	6.10	64.51	91.02	61.49	0.99	0.30	13.85	15.15	10.23	1.76	1.19	107.93	72.91
5年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6496	102.8	20.27	6.04	64.41	90.71	58.93	0.98	0.30	13.83	15.11	9.82	1.74	1.13	107.57	69.88
6年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6246	102.8	20.12	5.98	64.31	90.40	56.47	0.98	0.30	13.81	15.08	9.42	1.73	1.08	107.22	66.97
7年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.6006	102.8	19.97	5.92	64.21	90.09	54.11	0.97	0.29	13.79	15.05	9.04	1.72	1.03	106.86	64.18
8年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5775	102.8	19.82	5.86	64.11	89.78	51.85	0.96	0.29	13.77	15.02	8.67	1.71	0.99	106.51	61.51
9年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5553	102.8	19.67	5.80	64.01	89.47	49.68	0.96	0.29	13.74	14.99	8.32	1.70	0.94	106.16	58.95
10年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5339	102.8	19.52	5.74	63.90	89.16	47.61	0.95	0.28	13.72	14.95	7.98	1.69	0.90	105.80	56.49
11年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5134	102.8	19.37	5.68	63.80	88.85	45.62	0.94	0.28	13.70	14.92	7.66	1.67	0.86	105.45	54.13
12年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4936	102.8	19.22	5.63	63.70	88.54	43.71	0.93	0.28	13.68	14.89	7.35	1.66	0.82	105.10	51.88
13年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4746	102.8	19.06	5.57	63.60	88.23	41.88	0.93	0.27	13.66	14.86	7.05	1.65	0.78	104.74	49.71
14年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4564	102.8	18.91	5.51	63.50	87.92	40.13	0.92	0.27	13.64	14.83	6.77	1.64	0.75	104.39	47.64
15年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4388	102.8	18.76	5.45	63.40	87.61	38.45	0.91	0.27	13.61	14.79	6.49	1.63	0.71	104.03	45.65
16年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4220	102.8	18.61	5.39	63.30	87.30	36.84	0.90	0.27	13.59	14.76	6.23	1.61	0.68	103.68	43.75
17年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4057	102.8	18.46	5.33	63.20	86.99	35.30	0.90	0.26	13.57	14.73	5.98	1.60	0.65	103.33	41.92
18年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3901	102.8	18.31	5.27	63.10	86.68	33.82	0.89	0.26	13.55	14.70	5.73	1.59	0.62	102.97	40.17
19年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3751	102.8	18.16	5.21	62.99	86.37	32.40	0.88	0.26	13.53	14.67	5.50	1.58	0.59	102.62	38.49
20年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3607	102.8	18.01	5.16	62.89	86.06	31.04	0.88	0.25	13.51	14.63	5.28	1.57	0.57	102.26	36.89
21年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3468	102.8	17.86	5.10	62.79	85.75	29.74	0.87	0.25	13.48	14.60	5.06	1.56	0.54	101.91	35.34
22年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3335	102.8	17.71	5.04	62.69	85.44	28.49	0.86	0.25	13.46	14.57	4.86	1.54	0.51	101.56	33.87
23年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3207	102.8	17.56	4.98	62.59	85.13	27.30	0.85	0.25	13.44	14.54	4.66	1.53	0.49	101.20	32.45
24年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.3083	102.8	17.41	4.92	62.49	84.82	26.15	0.85	0.24	13.42	14.51	4.47	1.52	0.47	100.85	31.09
25年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.2965	102.8	17.26	4.86	62.39	84.51	25.05	0.84	0.24	13.40	14.48	4.29	1.51	0.45	100.50	29.79
26年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.2851	102.8	17.11	4.80	62.29	84.20	24.00	0.83	0.24	13.37	14.44	4.12	1.50	0.43	100.14	28.55
27年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2741	102.8	16.96	4.74	62.19	83.89	22.99	0.82	0.23	13.35	14.41	3.95	1.49	0.41	99.79	27.35
28年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2636	102.8	16.81	4.69	62.08	83.58	22.03	0.82	0.23	13.33	14.38	3.79	1.47	0.39	99.44	26.21
29年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2534	102.8	16.66	4.63	61.98	83.27	21.10	0.81	0.23	13.31	14.35	3.64	1.46	0.37	99.08	25.11
30年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2437	102.8	16.51	4.57	61.88	82.97	20.22	0.80	0.23	13.29	14.32	3.49	1.45	0.35	98.73	24.06
31年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2343	102.8	16.36	4.51	61.78	82.66	19.37	0.80	0.22	13.27	14.28	3.35	1.44	0.34	98.38	23.05
32年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2253	102.8	16.22	4.45	61.68	82.35	18.55	0.79	0.22	13.24	14.25	3.21	1.43	0.32	98.03	22.08
33年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2166	102.8	16.07	4.40	61.58	82.04	17.77	0.78	0.22	13.22	14.22	3.08	1.42	0.31	97.68	21.16
34年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2083	102.8	15.92	4.34	61.48	81.73	17.02	0.77	0.21	13.20	14.19	2.96	1.40	0.29	97.33	20.27
35年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.2003	102.8	15.77	4.28	61.38	81.43	16.31	0.77	0.21	13.18	14.16	2.84	1.39	0.28	96.98	19.42
36年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1926	102.8	15.62	4.22	61.28	81.12	15.62	0.76	0.21	13.16	14.13	2.72	1.38	0.27	96.63	18.61
37年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1852	102.8	15.48	4.17	61.17	80.82	14.96	0.75	0.21	13.14	14.09	2.61	1.37	0.25	96.28	17.83
38年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1780	102.8	15.33	4.11	61.07	80.51	14.33	0.74	0.20	13.11	14.06	2.50	1.36	0.24	95.93	17.08
39年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1712	102.8	15.18	4.05	60.97	80.21	13.73	0.74	0.20	13.09	14.03	2.40	1.35	0.23	95.58	16.36
40年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1646	102.8	15.04	4.00	60.87	79.91	13.15	0.73	0.20	13.07	14.00	2.30	1.33	0.22	95.24	15.68
41年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1583	102.8	14.89	3.94	60.77	79.60	12.60	0.72	0.19	13.05	13.97	2.21	1.32	0.21	94.89	15.02
42年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1522	102.8	14.74	3.89	60.67	79.30	12.07	0.72	0.19	13.03	13.94	2.12	1.31	0.20	94.55	14.39
43年目	R 51	0.99009	0.98567	0.99833	0.99121	0.1463	102.8	14.60	3.83	60.57	79.00	11.56	0.71	0.19	13.01	13.90	2.03	1.30	0.19	94.20	13.79
44年目	R 52	0.99002	0.98554	0.99833	0.99115	0.1407	102.8	14.45	3.78	60.47	78.70	11.07	0.70	0.19	12.98	13.87	1.95	1.29	0.18	93.86	13.21
45年目	R 53	0.98995	0.98541	0.99833	0.99110	0.1353	102.8	14.31	3.72	60.37	78.40	10.61	0.70	0.18	12.96	13.84	1.87	1.28	0.17	93.52	12.65
46年目	R 54	0.98988	0.98529	0.99832	0.99104	0.1301	102.8	14.17	3.67	60.27	78.10	10.16	0.69	0.18	12.94	13.81	1.80	1.27	0.16	93.17	12.12
47年目	R 55	0.98982	0.98516	0.99832	0.99099	0.1251	102.8	14.02	3.61	60.16	77.80	9.73	0.68	0.18	12.92	13.78	1.72	1.25	0.16	92.83	11.61
48年目	R 56	0.98975	0.98504	0.99832	0.99093	0.1203	102.8	13.88	3.56	60.06	77.50	9.32	0.67	0.18	12.90	13.75	1.65	1.24	0.15	92.49	11.13
49年目	R 57	0.98968	0.98491	0.99832	0.99088	0.1157	102.8	13.74	3.51	59.96	77.21	8.93	0.67	0.17	12.88	13.72	1.59	1.23	0.14	92.15	10.66
合 計								859.75	243.71	3,100.46	4,203.92	1,513.32	42.06	12.09	666.17	720.32	256.86	75.08	27.81	4,999.32	1,797.99

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道158号	中部縦貫自動車道 高山清見道路	4	24.7km

### ■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				182,899	
	改良費				30,869	
		土工	m <sup>3</sup>	4,730,000	18,458	切土、盛土、残土処理
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	414,100	569	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式		2,327	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,650	349	
		函渠工	m	1,600	2,836	ボックスカルバート等
		排水工	m	48,800	1,810	
		中央分離帯工	m	5,700	426	
		雑工	式		4,094	仮設工、準備工等
	橋梁費				32,101	
		100m以上	m	4,676	29,919	15橋
		100m未満	m	276	2,182	6橋
	トンネル費				86,500	
		NATM	m	20,864	86,500	14本
	IC・JCT費				24,455	
		JCT	箇所	4	24,455	
	舗装費				6,401	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	330,000	6,401	
	付帯施設費				2,573	
		交通管理施設工	式		2,573	防護柵、標識、通信施設など
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				15,013	
	用地費		m <sup>2</sup>	1,405,442	11,005	
		宅地	m <sup>2</sup>	36,606	1,211	
		田畑	m <sup>2</sup>	438,054	7,331	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	926,583	2,434	
		その他	m <sup>2</sup>	4,199	29	
	補償費		式		4,008	
③	間接経費		式	1	31,888	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				229,800	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道158号	中部縦貫自動車道高山清見道路	4	24.7km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	24.7	10,112	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	40,365	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			50,477	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道158号	中部縦貫自動車道 高山清見道路	4	24.7km

### ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					89,624	
改良費					21,527	
		土工	m <sup>3</sup>	2,049,545	15,968	切土、盛土、残土処理
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	185,581	255	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式		1,042	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	738	156	
		函渠工	m	717	1,270	ボックスカルバート等
		排水工	m	21,866	811	
		中央分離帯工	m	2,556	191	
		雑工	式		1,834	仮設工、準備工等
橋梁費					14,379	
		100m以上	m	2,095	13,402	15橋
		100m未満	m	124	977	6橋
トンネル費					38,744	
		NATM	m	9,345	38,744	14本
IC・JCT費					10,954	
		JCT	箇所	2	10,954	
舗装費					2,867	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	147,807	2,867	
付帯施設費					1,153	
		交通管理施設工	式		1,153	防護柵、標識、通信施設など
		遮音壁	m			
②用地及補償費					16	
用地費					9	
		宅地	m <sup>2</sup>	2,333	9	
		田畑	m <sup>2</sup>	94	3	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	2,239	6	
		その他	m <sup>2</sup>			
補償費					7	
③間接経費					8,971	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					98,611	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道158号	中部縦貫自動車道高山清見道路	4	24.7km

### ■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	24.7	10,112	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	40,365	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			50,477	

#### 【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上